○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況表）

参考資料1

赤文字：重点実施取組

★：5年の目標の達成（継続実施項目）　☆：5年の目標の達成（継続しない項目）　○：未達成

大項目 / 中項目 / No.	主な取組（見直し集約）	目標時期	継続的な取組	実施する機関																						進捗率	進捗率の変化	「取組機関」（市町数等）
				韮崎市	甲斐市	南アルプス市	昭和町	中央市	市川三郷町	富士川町	甲州市	山梨市	笛吹市	甲府市	身延町	南部町	富士宮市	富士市	静岡市	JR東日本	JR貨物	山梨県	静岡県	気象庁	国土交通省			
避難：円滑かつ迅速な避難のための取組																												
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等																												
1	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及びタイムラインに基づく訓練の実施	引き続き実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★			★	★	○	★	95.0%	0%	20
2	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	順次実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★			★			★	100.0%	13%	18
3	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	令和元年度から順次実施		★	★	○		★	○	★	★	★	★	★	★										★	84.6%	15%	13
4	**・多機関連携型タイムラインの拡充**	令和元年度から順次実施		★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★		★	★	★	★	★	100.0%	11%	21
5	・洪水対応情報伝達演習の実施	順次実施	継続	★	★	★	★	★	★		★	★	★	★	★	★	★		★			★	★	★	★	100.0%	13%	18
~~6~~	・「避難判断基準等検討支援システム」の更新・活用	順次実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★					★		★	100.0%	13%	17
7	・ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供	実施済み	継続	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★			★	★		★	100.0%	12%	19
8	・適切な土地利用の促進	順次実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★		★			★	★		★	100.0%	13%	18
9	**・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進**	平成28年度から順次実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	○	★	★	★	○	○	★	★	★			★	★		★	84.2%	10%	19
10	・災害リスクの現地表示	平成28年度から順次実施		★	★	★	★	★	★	★	○	★	★	★		★	★	★	★		★	★	★		★	94.7%	11%	19
11	**・広域避難体制の構築**	令和元年度から順次実施		★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★				★	★	★	★		★	100.0%	13%	18
12	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	引き続き実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	○	★	★	★	★	★	★	★	★			★	★	○	★	90.0%	10%	20
◆防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等																												
13	・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断のための富士川水系情報提供システムの活用	引き続き実施	継続		○	○	★	★	★	★	○		★		★	★	★						★		★	76.9%	14%	13
14	・防災情報の充実や表現の工夫	実施済み	継続	★			★		★	★		★				★		★	★			★	★	★	★	100.0%	20%	12
15	・防災・気象情報等の配信方法の充実	平成29年度	継続	★	★	★	★	★	★	★	○	★	★	★	★	★	★	★	★		★	★	★	★	★	95.2%	10%	21
16	・観測体制の充実や予測技術の高度化	令和元年度から順次実施	継続	★	★	○	★		★	★			★	★		○	★					★	★		★	84.6%	15%	13
17	**・洪水予測や河川水位の状況に関する解説**	順次実施	継続	★	○	○	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★		★			★	★		★	88.9%	11%	18
18	・防災施設の機能に関する情報提供の充実	令和元年度から順次実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	○	★	★	★	★	★	★	★	★		★	★			★	94.7%	11%	19
◆セミナー・防災教育・訓練、計画策定等																												
19	・緊急行動トップセミナーの開催	引き続き実施	継続	○	○	★	○	★	★	○	○	○	★	★	○	★	★		○							46.7%	7%	15
20	・防災教育の促進	令和元年度から順次実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★			★	★	★	★	100.0%	11%	20
21	**・災害の伝承**	順次実施	継続	★	○	★	★	○	★	★	○	★	★		★		★	★	★						★	80.0%	12%	15
22	・共助の仕組みの強化	令和元年度から順次実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★		★	★	★			100.0%	12%	19
23	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	順次実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★				★				★	100.0%	14%	16
24	・業務継続計画の策定	令和元年度から順次実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	○	★	★		★	★	★	★	★		★	★			★	94.4%	12%	18
25	・総合的な土砂管理	令和元年度から順次実施	継続																						★	100.0%	-200%	1

★：5年の目標の達成（継続実施項目）　☆：5年の目標の達成（継続しない項目）　○：未達成

大項目 / 中項目 / No.	主な取組（見直し集約）	目標時期	継続的な取組	実施する機関																						進捗率	進捗率の変化	「取組機関」（市町数等）
				韮崎市	甲斐市	南アルプス市	昭和町	中央市	市川三郷町	富士川町	甲州市	山梨市	笛吹市	甲府市	身延町	南部町	富士宮市	富士市	静岡市	JR東日本	JR貨物	山梨県	静岡県	気象庁	国土交通省			
水防：的確な水防活動のための取組																												
◆点検強化																												
26	・重要水防箇所の見直し	引き続き実施	継続													★						★	★		★	100.0%	100%	4
27	・防災計画に基づく水防資機材の配備	順次実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★		★		★	★			★	100.0%	13%	18
28	・共同点検・合同巡視の実施	順次実施	継続	★	★	○	★	★	★	★	○	★	★	★	★	★	★	★	★			★	★		★	89.5%	11%	19
29	**・関係機関が連携した実動水防訓練の実施**	順次実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	○	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★		★	95.2%	10%	21
◆体制確保																												
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	順次実施	継続	○	★	★	★	★	★	★	★	★	★		★	○	★									84.6%	15%	13
31	・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	順次実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★			★				100.0%	13%	17
32	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	令和元年度から順次実施	継続	★	○	○	★	★	★	○	○	★	★	★	★	○	★	★	★	○	★	★			★	70.0%	8%	20
33	・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	順次実施	継続	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★			★	★			100.0%	13%	18
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減**等**に関する取組																												
◆実践強化																												
34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	順次実施	継続	★		★	★	★	★	★	○		★	★	○	★	★					★	★		★	86.7%	13%	15
35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	令和元年度から順次実施	継続																			★			★	100.0%	-100%	2
36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	令和元年度から順次実施	継続			★	★	★	★	★	○		○		○	★	★	★	★			★	★		★	80.0%	12%	15
◆機能保全																												
37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	引き続き実施																				☆			☆	0.0%	0%	2
38	・排水設備の機能保全	令和元年度から順次実施											☆			★						☆			☆	25.0%	25%	4
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																												
◆堤防及び諸施設の整備・機能確保等																												
39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	引き続き実施																				☆			☆	0.0%	0%	2
40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	引き続き実施																							☆	0.0%	0%	1
41	・本川と支川の合流部等の対策	令和元年度から順次実施										☆		☆					★			☆			☆	20.0%	13%	5
42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	令和元年度から順次実施										☆		☆								☆			☆	0.0%	0%	4
43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	平成29年度																								0.0%	0%	0
44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	平成32年度																								0.0%	0%	0
45	・避難場所として活用できる堤防整備（宇坪地区、富士川地区）	平成29年度																							☆	0.0%	0%	1
46	・応急的な退避場所の確保	令和元年度から順次実施		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	○	☆	☆	☆	☆	☆	☆		★			☆			☆	5.9%	1%	17
47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	平成32年度																							☆	0.0%	0%	1
48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	順次実施		☆	☆		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		○	☆	☆				★					7.7%	1%	13
◆情報伝達等に係る機器等の整備																												
49	・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	順次実施	継続																			☆			☆	0.0%	0%	2

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**韮崎市**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実施を確定し、事務局案として評価マークを変更したなど、要確認箇所

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標 実施内容	令和3年度 予定	令和3年度 実績	令和4年度 予定	令和4年度 実施	令和5年度 予定	令和5年度 実施	令和6年度 予定	令和6年度 実施	令和7年度 予定	令和7年度 実施	実施時期 R3	R4	R5	R6	R7	ALL	5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
避難：円滑かつ迅速な避難のための取組																					
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等																					
1		・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及びタイムラインに基づく訓練の実施	・タイムラインを用いた定期的な防災訓練の実施と訓練結果による見直し	・水害に特化した防災訓練の実施	・R3.6.20に訓練を予定していたが、コロナのため中止。	・R4.6.19に水害に特化した訓練の実施	実施：参加者3,901人	R5.6　水害に特化した防災訓練の実施	R5.6に水害を想定した総合防災訓練を実施	R6.6　水害に特化した防災訓練の実施	・水害を想定した総合防災訓練を実施	・水害に特化した防災訓練の実施	・水害を想定した総合防災訓練を実施	○	●	●	●	★		レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
2		・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	・訓練や実災害、地域防災計画改定に併せて確認	・水害に特化した防災訓練計画に合わせて確認	・R3.6.20に訓練を予定していたが、コロナのため中止。 R3.5からの避難情報変更に伴い、本市地域防災計画を改定予定（3月）	・水害に特化した防災訓練計画に合わせて確認	・水害に特化した防災訓練時に合わせて確認	・水害に特化した防災訓練時に合わせて確認	・水害に特化した防災訓練に合わせて確認した	・水害に特化した防災訓練に合わせて確認	・水害に特化した防災訓練に合わせて確認	・水害に特化した防災訓練に合わせて確認した	▲	●	●	●	★	★	レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
3		・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	・ダム管理者と放流による浸水想定区域を共有し、避難地域の確認	・水害に特化した防災訓練計画に合わせて確認	・R3.6.20に訓練を予定していたが、コロナのため中止。	・水害に特化した防災訓練計画に合わせて確認	・水害に特化した防災訓練時に合わせて確認	・水害に特化した防災訓練時に合わせて確認	・水害に特化した防災訓練に合わせて確認した	・水害に特化した防災訓練時に合わせて確認	・水害に特化した防災訓練時に合わせて確認	・水害に特化した防災訓練時に合わせて確認した。	○	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
4		・多機関連携型タイムラインの拡充	・富士川流域における水害リスク（災害の想定）の把握 ・多機関タイムライン検討会へ参加して、タイムラインを見直す	・流域治水に関する会議へ参加による情報共有	・狐立する恐れのある箇所を把握	・狐立する恐れのある箇所を把握	・流域治水に関する会議へ参加による情報共有	・流域治水に関する会議へ参加による情報共有	・甲府河川事務所の検討会のホットライン訓練に参加し情報共有した	・流域治水に関する会議へ参加による情報共有	・流域治水に関する会議へ参加による情報共有	・水害に特化した防災訓練時に甲府地方気象台及び中北建設事務所統北支所等と情報共有した。	・流域治水に関する会議へ参加による情報共有	・防災訓練において、想定浸水箇所内要配慮者施設について連絡を行う訓練を実施した。	●	●	●	●	★		レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
5		・浜水対応情報伝達演習の実施	・防災訓練の中で実施	・防災アプリを利用した避難者情報の収集	・にらさき防災・行政ナビ（防災アプリ）を通じて情報収集を模擬的に実施した。	・にらさき防災・行政ナビ（防災アプリ）を通じて情報収集を模擬的に実施した。	・防災アプリを利用した避難者情報の収集	・防災アプリを利用した避難者情報の収集	・防災アプリを利用した避難者情報の収集	・防災アプリを利用した避難者情報の収集	・防災アプリを利用した避難者情報の収集	・防災アプリを使用した自主防災組織や避難所職員と災対本部の間で、避難者情報を収集した	●	●	●	●	★	★	レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
6		・「避難判断基準検討支援システム」の更新・活用	・「避難判断基準検討支援システム」の活用	・システムを利用した緊急避難場所となる施設検討	未実施	・システムを利用した緊急避難場所となる施設検討	未実施	・システムを利用した緊急避難場所となる施設検討	・システムの活用方法を研究した。	・システムを利用した緊急避難場所となる施設検討	未実施	・システムを利用した訓練の検討	未実施	○	○	★	★	★		レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
7		・ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供	・ハザードマップポータルサイトの活用 ・住民へのハザードマップポータルサイトの周知	・地区（自治会）へ出向きハザードマップの説明	コロナのため説明会開催自粛	・WEB版ハザードマップの作成及び周知	R4.11：WEB版ハザードマップの作成し、周知した。	システムの充実	・ハザードマップポータルサイトについて、ホームページ、防災アプリで周知した。	地震を想定したWeb版ハザードマップの公表と周知	・地震や液状化のハザードマップ掲載 ・出前塾による活用方法の周知	・地震や液状化のハザードマップ掲載 ・出前塾や防災イベントでの活用方法の周知	○	●	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
8		・適切な土地利用の促進	・不動産業者に対しハザードマップを配布（窓口来庁時）	・不動産業者にハザードマップを配布（窓口来庁時）	不動産業者等に配布している（窓口来庁時）。	・不動産業者にハザードマップを配布（窓口来庁時）	不動産業者等に配布している（窓口来庁時）。	・WEB版の周知	不動産会社を通じてハザードマップを周知	・WEB版の周知	・WEB版の周知	・WEB版の周知	▲	●	●	●	★	★	レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
9		・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進	・マイタイムラインの普及 ・地域減災マップの作成促進	・ホームページに掲載したひな型の周知と作成支援	広報、ホームページなどで周知。住民から問い合わせによる作成支援	・ホームページに掲載したひな型の周知と作成支援	市内小学校２校で国交省職員を招聘し、授業を実施した。	・ホームページに掲載したひな型の周知と作成支援	水害を想定した訓練時に逐タイムラインの周知を行い、自主防災組織において地減災マップを作成した。	・ホームページに掲載したひな型の周知と作成支援	出前塾でマイタイムラインの周知を行い、自主防災組織において地減災マップを作成した。	・ホームページに掲載したひな型の周知と作成支援 ・金融における マップ作成支援制度周知	出前塾でマイタイムラインの周知を行い、自主防災組織において地減災マップを作成した。	▲	●	●	●	★		レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
10		・災害リスクの現地表示	・浸水想定区域内の指定避難所及び電柱等への標識設置	・浸水想定区域内の指定避難所及び電柱等への標識設置	9箇所設置（67箇所は市与設置物への追記）	・浸水想定区域内の指定避難所及び電柱等への標識設置	175箇所設置（67箇所は市与設置物への追記）	・浸水想定区域内の指定避難所及び電柱等への標識設置	・浸水想定区域内のして避難所及び電柱等へ標識を設置した	・浸水想定区域内の指定避難所及び電柱等への標識設置	・浸水想定区域内の指定避難所及び電柱等への標識設置	・浸水想定区域内の指定避難所及び電柱等へ標識設置した。	・浸水想定区域内の指定避難所及び電柱等へ標識設置した。	▲	▲	●	●	★		レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
11		・広域避難体制の構築	・県内自治体間の情報共有	・県主催の広域避難検討会への出席	・県主催の広域避難検討会への出席	・県主催の広域避難検討会への出席	・県主催の広域避難検討会へ出席 ・広域避難協定の締結	・県主催の広域避難検討会への出席	市町村間での連携を強化していく	・県内連携都市圏に参画し自治体間での連携を図った。	県央連携都市圏に参画し自治体間での連携を図った。	市町村間での連携を強化していく	・県央連携都市圏に参画し自治体間での連携を図った。	●	●	●	●	★		レベル2：課題を解消中	完了：目標達成	
12		・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・避難確保計画の作成率100％ ・計画に基づく訓練促進	・未作成施設への作成指導	ほとんどの施設で作成済	・未作成施設への作成指導	作成率100％	訓練の促進	訓練の実施及び報告について周知を行った。	訓練の促進	・訓練結果報告書未提出施設に対し、訓練実施と提出を促す。	・訓練結果報告書未提出施設に対し、訓練実施と提出を促す。	▲	●	●	●	★		レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
◆防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等																					
13		・各施度の的確な把握及び自治体の避難判断のための富士川水系情報提供システムの活用	…																		
14		・防災情報の充実や表現の工夫	・正確かつ簡潔な情報配信	・緊急速報メールの配信ひな型の作成	・緊急速報メールの配信ひな型の作成	・緊急速報メールの配信テストや配信訓練の実施	防災訓練時に実際に緊急速報メールを発信した。	・緊急速報メールの配信テストや配信訓練の実施	・緊急速報配信訓練に参加し、緊急速報メールの配信テストを実施した。	・緊急速報メールの配信テストや配信訓練の実施	・水害を想定した総合防災訓練で緊急速報メールの配信訓練を実施	・緊急速報メールの配信テストや配信訓練の実施	訓練時に緊急速報メールやエリアメールを配信した。	●	●	●	●	★		レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
15		・防災・気象情報等の配信方法の充実	・逐やかな情報の多重配信 ・受信側住民登録者の増加	・防災アプリ、メルマガ、ＨＰなど操作訓練 ・会議やイベント等での登録勧奨説明	・防災アプリ、メルマガ、ＨＰなど操作訓練 ・会議やイベント等での登録勧奨説明	・防災アプリ、メルマガ、ＨＰなど操作訓練 ・会議やイベント等での登録勧奨説明	・防災アプリ、メルマガ、ＨＰなど操作訓練 ・会議やイベント等での登録勧奨説明	・防災アプリ、メルマガ、ＨＰなど操作訓練 ・会議やイベント等での登録勧奨説明・防災アプリ、メルマガ、ＨＰなど操作訓練	・防災アプリ、メルマガ、ＨＰなど操作訓練 ・会議やイベント等での登録勧奨説明・防災アプリ、メルマガ、ＨＰなど操作訓練 ・介護保険・後期高齢者医療保険証交付説明会等を利用し、防災アプリやメルマガの登録勧奨を行った。	・防災アプリ、メルマガ、ＨＰなど操作訓練 ・会議やイベント等での登録勧奨説明・防災アプリ、メルマガ、ＨＰなど操作訓練	・防災アプリ、メルマガ、ＨＰなど操作訓練 ・会議やイベント等での登録勧奨説明・防災アプリ、メルマガ、ＨＰなど操作訓練 ・後期高齢者医療保険証交付説明会等を利用し、防災アプリやメルマガの登録勧奨を行った。	・防災アプリ、メルマガ、ＨＰなど操作訓練を行った。 ・会議やイベント等での登録勧奨説明・防災アプリ、メルマガ、ＨＰなど操作訓練	あらゆる機会を通じて防災アプリの登録を促し、訓練時に自主防災会役員や市職員から報告を行わせた。	▲	●	●	●	★	★	レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
16		・観測体制の充実や予測技術の高度化	・河川の水位や雨量計情報の配信方法の周知	・市公式ホームページへのリンク掲載とチラシ作成	リンク掲載、チラシ作成済み	さらに充実した周知の検討	リンク掲載、チラシ作成済み	さらに充実した周知の検討	ホームページで周知した	さらに充実した周知の検討	ホームページで周知した	さらに充実した周知の検討	水害を想定した防災訓練時に周知を行った。	▲	●	●	●	★		レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
17		・浜水予測や河川水位の状況に関する解説	・情報提供システムを活用と避難行動への紐づけ	・取得情報の判断の仕方を周知	全戸配布による周知	全戸配布による周知	地区長への説明や、自主防災組織へ説明を行った。	さらに充実した周知の検討	ホームページで周知した	さらに充実した周知の検討	ホームページで周知した	さらに充実した周知の検討	さらに充実した周知の検討	▲	●	●	●	★		レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
18		・防災施設の機能に関する情報提供の充実	・ハード整備の限界と誰でも出来る減災ソフト整備の普及	・住民向け講座等での周知 ・ハザードマップのハンドブック活用	減災フォーラムで実施予定であったが、コロナにより中止した	・住民向け講座等での周知 ・ハザードマップのハンドブック活用	R5.2.25減災フォーラムの中で周知予定	・住民向け講座等での周知 ・ハザードマップのハンドブック活用	・減災の考え方については、地区長連合会総会や自主防災組織連絡協議会の減災研修で周知した。 ・家庭でできる備蓄対策や家具固定等を回覧し周知した。	・減災ハンドブックを作成する ・広報誌に減災に関するコーナーを毎月掲載する ・ホームページや防災アプリで減災の情報を充実させる	・減災ハンドブックを作成した。 ・広報誌に減災に関するコーナーを5回（5か月）掲載した。	・フォーラムを開催し、情報提供を行う。 ・ホームページや防災アプリで減災の情報を充実させる	減災ハンドブックを全世帯に配布した。	○	○	▲	▲	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
◆セミナー・防災教育・訓練、計画策定等																					
19		・緊急行動トップセミナーの開催	・トップセミナーへの参加	・トップセミナーへの参加	未実施	・トップセミナーへの参加	未実施	トップセミナーへの参加				・国が実施するセミナー等への参加	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル1：課題を把握	1：他と比べて低い	
20		・防災教育の促進	・市内小中学校での防災教育の実施 ・地域減災リーダーの若年層登録者の増加	・包括的連携協定による講師の小中学校派遣 ・市内高校への認定講座開催の呼びかけ	・各小中学校において、学期に１度防災訓練を実施している。 ・防災教育については、市内小学校２校で２月に富士川砂防事務所による出前講座を活用し学習した。	・包括的連携協定による講師の小中学校派遣 ・市内高校への認定講座開催の呼びかけ	・各小中学校において、学期に１度防災訓練を実施している。 ・防災教育については、市内小学校２校で２月に富士川砂防事務所による出前講座を活用し学習した。	・各小中学校において、学期に１度防災訓練を実施している。 ・防災教育については、市内小学校２校で２月に富士川砂防事務所による出前講座を活用し学習した。	・各小中学校において、学期に１度防災訓練を実施している。 ・地域の防い手である消防団員と地域減災リーダー研修を行がかけ若年層の登録が増加した。	・各小中学校において、学期に２度防災訓練を行う。 ・男女共同参画の視点から女性登録者数の増加を目指す。	・各小中学校を会場に防災訓練を実施した。 ・女性向け地域減災リーダー研修を開催し、開催であったが女性の登録者が増加した。	・小中学校において国と連携したマイタイムライン等の周知。 ・継続した女性減災リーダー研修による女性登録者の増加・	市内３校での防災出前塾、２校でのタイムライン研修の実施、女性減災リーダーは３名増加した。	▲	●	●	●	★	★	レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
21		・災害の伝承	・昭和34年災害の被災60周年祈念碑を活用した周知	・新採用職員研修にて若手職員への周知	・新採用職員研修にて若手職員への周知 ・新たに国土地理院に記念碑の情報提供（２箇所）	・新採用職員研修にて若手職員への周知	・新採用職員研修にて若手職員への周知	・新採用職員研修にて若手職員への周知	・新採用職員研修にて若手職員へ研修を行った。	・新採用職員研修にて若手職員への周知	・新採用職員研修にて若手職員へ研修を行った。	・新採用職員研修にて若手職員への周知 ・新採用職員研修にて若手職員へ研修を行った。	・新採用職員研修にて若手職員への周知を行った。	●	●	●	●	★	★	レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
22		・共助の仕組みの強化	・機能する自主防災組織づくり	・地域減災リーダーを活用した既存組織の再編	全地区に再編に係るアンケートを実施	各地区と詳細について協議を重ねる	約1/3の地区で再編方針を決定	・再編方針を決定 ・決定した地区は具体的な再編に着手	・９９地区のうち７５地区から再編方針の提出を受けた。	・再編方針未提出地区への方針決定の勧奨と支援 ・方針決定地区の具体的な再編着手	・再編方針未提出地区への方針決定の勧奨と支援 ・再編による新規の提出	・再編ができない地区の支援	・自主防災組織の自発性を促すための避難所訓練やマニュアルの充実を防災訓練等の実施の機会により図った。	▲	▲	▲	▲	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
23		・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	・オンラインでの情報共有体制の確立	・災害対策本部と福祉施設関係者との情報伝達	災害拠点病院と指定福祉避難所にwi-fiを整備した。	・災害対策本部と福祉施設関係者との情報伝達訓練の実施	未実施	・災害対策本部と福祉施設関係者との情報伝達訓練の実施	・総合防災訓練において災害対策本部と市立病院をオンラインでつなぎ情報伝達訓練を実施した	・病院、福祉関係施設との情報連絡訓練の継続	・病院、福祉関係施設との情報連絡訓練の継続	・防災訓練において、想定浸水箇所内要配慮者施設について連絡を行う訓練を実施した。	・病院、福祉関係施設との情報連絡訓練の継続	▲	○	▲	▲	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
24		・業務継続計画の策定	・機能する業務継続計画への改定	・有識者協力による既存計画の精査	防災計画の改定に併せ、検討中。	・有識者協力による既存計画の精査	防災計画の改定に併せ、検討中。	・有識者協力による既存計画の精査	・防災会議において既存計画の検討を行った。	・有識者協力のによる既存計画の精査	・防災会議において既存計画の検討を行った。	・有識者協力のによる既存計画の精査	昨下の情勢を反映し、有識者の協力を得ながら計画の見直しを行った。	▲	▲	▲	▲	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
25		・総合的な土砂管理	…																		
水防：的確な水防活動のための取組																					
◆点検強化																					
26		・重要水防箇所の見直し	…																		
27		・防災計画に基づく水防資機材の配備	・既存資機材の適正管理	・資機材の点検と劣化したものの入れ替え	・資機材の点検と劣化したものの入れ替え	・資機材の点検と劣化したものの入れ替え	・資機材の点検と劣化したものの入れ替え	・資機材の点検と劣化したものの入れ替え	・資機材の点検と劣化したものの入れ替え	・建設課により資機材の点検及び入替を実施した。	・資機材の点検と劣化したものの入れ替え	・資機材の点検と劣化したものの入れ替え	・資機材の点検及び入替を実施した。	・資機材の点検と劣化したものの入れ替え	備蓄目標計画を策定し、新たな水防箇所の資機材も入替を行った。	▲	▲	▲	▲	★		レベル2：課題を解消中	2：どちらでもよい	
28		・共同点検・合同巡視の実施	・水防関係者と河川管理者の合同巡視	・国、県河川管理者との合同巡視	・山梨県との重要水防区域合同パトロール実施	・山梨県との重要水防区域合同パトロール実施	・山梨県との重要水防区域合同パトロール実施	・山梨県との重要水防区域合同パトロール実施	・山梨県との重要水防区域合同パトロール実施	・山梨県と重要水防地区の合同パトロールを実施した。	・山梨県との重要水防区域合同パトロール実施	・未実施	・山梨県との重要水防区域合同パトロール実施した。	●	●	●	●	▲	★	レベル1：課題を把握	2：どちらでもよい	
29		・関係機関が連携した実動水防訓練の実施	・多様な関係機関が参加する水防訓練の実施	・消防協会峡北支部の水防訓練への水防団参加	未実施	・消防協会峡北支部の水防訓練への水防団参加	R4.10実施	生コンクリート組合との連合演習への参加	R5.6の総合防災訓練では複数の関係機関に参加のうえ実施した	生コンクリート組合との連合演習への参加	・消防協会峡北支部の水害対応訓練において、生コンクリート組合との連携した訓練に参加	水害に特化した防災訓練で、災害協定による実動訓練の実施	山梨県水防訓練への視察や峡北支部の訓練に参加した。	○	●	●	●	★	★	レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
◆情報収集																					
30		・災害時巡視システムによる被災情報の共有	・災害時巡視システムの採り入れ	・災害時巡視システムの利用の検討	未検討	・災害時巡視システムの利用の検討	未検討	・災害時巡視システムの利用の検討	利用の検討に至らなかった。	・災害時巡視システムの利用の検討	利用の検討に至らなかった。	・災害時巡視システムの利用の検討	利用の検討に至らなかった	○	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
31		・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保、また、水防協力団体の募集・指定の促進	・水防団（消防団）の支援体勢の充実。	・消防団サポート事業等の事業促進	・消防団サポート事業等の事業促進	・消防団サポート事業等の事業促進	・消防団サポート事業等の事業促進	・消防団サポート事業等の事業促進	・広報誌やHPを利用し消防団サポート事業について周知した。	・再編後の消防団における活動実態の把握 ・出勤報酬の交付による団員のサポート	・活動実態の把握により、出勤報酬の支給を実施	活動実態の把握により出勤報酬の適正化を図った。水防団による水防訓練を計画したが台風のため実施できなかった。	▲	○	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
32		・水防関係者間での連携、協力に関する検討	・河川管理者との連携強化	・顔が見える関係の構築	・顔が見える関係の構築	・顔が見える関係の構築	・顔が見える関係の構築	・顔が見える関係の構築	富士川流域連携連絡会に参画し、演習や連絡会を通じて交流を行った。	・顔が見える関係の構築	・顔が見える関係の構築	・顔が見える関係の構築	水害に特化した防災訓練において中北建設事務所峡北支所様に参加いただきホットラインによる対応確認。	・顔が見える関係の構築	水害に特化した防災訓練において中北建設事務所峡北支所様に参加いただきホットラインによる対応確認。	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
33		・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	・自主防災組織の再編	・地区（自治会）説明会の実施	全地区に再編に係るアンケートを実施	各地区と詳細について協議を重ねる	約1/3の地区で再編方針を決定	・再編方針を決定 ・決定した地区は具体的な再編に着手	・９９地区のうち７５地区から再編方針の提出を受けた。	・再編方針未提出地区への方針決定の勧奨と支援 ・方針決定地区の具体的な再編着手	・再編方針未提出地区への方針決定の勧奨と支援 ・再編による新規の提出	・再編ができない地区の支援	・自主防災組織の自発性を促すための避難所訓練やマニュアルの充実を防災訓練等の実施の機会により図った。	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
排水：公監水の排水、浸水被害軽減等に関する取組																					
◆実践強化																					
34		・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有、内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	・水門操作担当者や管理者との連携強化	・水害に特化した防災訓練の実施	・R3.6.20に訓練を予定していたが、コロナのため中止。	・R4.6.19に水害に特化した訓練の実施	実施：参加者3,901人	R5.6　水害に特化した防災訓練の実施	6月の水害を想定した防災訓練において建設課において関係者と、確認、連携強化の訓練を実施。	R6.6　水害に特化した防災訓練越実施	水害に特化した防災訓練において建設課において関係者と対応確認。	R7.6　水害に特化した防災訓練越実施	水害別練時において各管理者と電話確認を行った。	○	●	●	●	★	★	レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
35		・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	…																		
36		・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	…																		
◆機能保全																					
37		・公監水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	…																		
38		・排水設備の機能保全	…																		
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																					
◆堤防及び諸施設の整備・機能確保等																					
39		・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	…																		
40		・侵食先端対策としての築堤・護岸の整備	…																		
41		・本川と支川の合流部等の対策	…																		
42		・多数の家屋や重要施設等の保全対策	…																		
43		・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	…																		
44		・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	…																		
45		・避難場所として活用できる堤防整備（宇坪地区、富士川地区）	…																		
46		・応急的な退避場所の確保	・浸水想定区域外の緊急避難場所の確保	・民間施設及び敷地の利用に向けた協議	民間アパートと協定を締結	・民間施設及び敷地の利用に向けた協議	民間アパートと協定を締結	・民間施設及び敷地の利用に向けた協議	・民間施設及び敷地の利用に関する協定を整理した。	・R6.6の水害を想定した防災訓練で、連携協定締結した民間施設に働きかけ敷地利用に向けた運用を実証する。	・協定を締結した豊中沿避難を想定した駐車場や民間施設を、水害に特化した防災訓練で使用し、課題を洗い出した。	・R6年度の水害に特化した訓練で避難者が少なかったので、場所の周知を含め民間施設を使用した訓練の実施と新施設の協定締結。	新たな施設の洗い出しを行った。	▲	▲	▲	▲	▲		レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
47		・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	…																		
48		・浜水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	・非常用発電機の管理、備蓄資材の充実	・不足する備蓄資材の確認と検討	すべての避難所に非常用発電機を配備した	・不足する備蓄資材の確認と検討	各指定避難所に防災倉庫を設置予定（R5.3）	倉庫内設備の充実	・人的体制により整理に時間を割くことができず、資機材の配布及び管理が不十分となった。	・備蓄用品、防災資機材の在庫数量の確認と配備を行う。	・備蓄用品、防災資機材の在庫数量の確認と配備を行った。	・避難所の備蓄倉庫の充実と併せて耐統実施。	備蓄目標計画を策定し、緊防区や交付金を活用して充実を図った。	▲	▲	●	●	★	☆	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
◆情報伝達等に係る機器等の整備																					
49		・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	…																		

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

甲斐市

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施　☆：達成（今後も継続）

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したなど、要確認箇所

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

甲斐市

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施　☆：達成（今後も継続）

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したなど、要確認箇所

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

南アルプス市

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したなど、要確認箇所

大項目																									
○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）																									
No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実施時期						5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
		実施内容	予定	実績	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	R3	R4	R5	R6	R7	ALL			
避難：円滑かつ迅速な避難のための取組																					
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等																					
1	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及びタイムラインに基づく訓練の実施	タイムラインの定期的な見直しと修正	タイムライン図上訓練の実施	未実施	図上訓練実施	１０月に訓練実施	タイムラインの見直し・検討	継続して見直し作業の実施	タイムラインの見直し・検討	継続して見直し作業の実施	タイムラインの見直し・検討	継続して見直し作業の実施	○	●	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
2	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	避難指示等発令の対象区域、判断基準を検討し、実情に即した基準へ見直す	実情に即した見直しを実施	地区（避難区域等）ごとの判断基準の見直しを行った。	継続的に見直しを行う	見直し実施（変更なし）	継続的に見直しを行う	継続して見直し作業の実施	継続的に見直しを行う	継続して見直し作業の実施	継続的に見直しを行う	継続して見直し作業の実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
3	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	ダムの放流情報を基にした避難情報の伝達	利水ダムの貯水容量や放流状況等、活用できる情報の把握	災害時に入ってくる情報を確認しながら対応していたが出水はなかった。	災害時に的確な状況判断し情報共有	未実施	ダムの放流情報を基にした避難情報の伝達	未実施	ダムの放流情報を基にした避難情報の伝達	未実施	ダムの放流情報を基にした避難情報の伝達	未実施	●	○	○	○	○	○	レベル1：課題を把握	1：他と比べて低い	
4	**・多機関連携型タイムラインの拡充**	富士川流域における水害リスクを把握し、多機関タイムライン検討会へ参加する	多機関タイムライン検討会への参加	多機関タイムライン勉強会へ参加	多機関タイムライン検討会へ参加	未実施	水害リスクを踏まえた地域の課題を把握	想定浸水深の深い地域での、垂直避難を考慮した、避難場所の検討	水害リスクを踏まえた地域の課題を把握	想定浸水深の深い地域での、垂直避難を考慮した、避難場所の検討	水害リスクを踏まえた地域の課題を把握	想定浸水深の深い地域での、垂直避難を考慮した、避難場所の検討	○	○	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
5	・洪水対応情報伝達演習の実施	洪水対応情報伝達演習の実施	洪水対応伝達演習への参加	不参加	状況により参加（感染収束時）	未実施	演習への参加	建設安全協会の訓練に参加（H5.9.6）	演習への参加	建設安全協会の訓練に参加	演習への参加	建設安全協会の訓練に参加	○	○	●	●	▲	★	レベル2：課題を解消中	2：どちらでもよい	
6	・「避難判断基準等検討支援システム」の更新・活用	避難判断基準等検討支援システムの活用促進	勉強会への参加	不参加	状況により参加（感染収束時）	台風等の参集時にシステムを参考	避難判断基準等検討支援システムの活用促進	未実施	避難判断基準等検討支援システムの活用促進	未実施	避難判断基準等検討支援システムの活用促進	未実施	○	▲	★	★	★	★	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
7	・ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供	・ハザードマップポータルサイトの活用 ・住民へのハザードマップポータルサイトの周知	住民へのハザードマップポータルサイトの勉強会を実施	防災講習会及び防災リーダー講習会にて周知	住民への勉強会を継続的の行う	防災講習会を実施	講習会・勉強会の継続実施	防災講習会等において説明及び周知の実施	講習会・勉強会の継続実施	防災講習会等において説明及び周知の実施	講習会・勉強会の継続実施	防災講習会等において説明及び周知の実施	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	1：他と比べて低い	
8	・適切な土地利用の促進	不動産業者に対しハザードマップを配布	不動産業者に対しハザードマップを配布	窓口に相談に見えられた方への説明マップの配布	不動産業者に対し危険個所等説明しハザードマップの配布を継続的に行う	問い合わせに時に、適宜説明を実施	不動産業者に対し危険個所等説明しハザードマップの配布を継続的に行う	ハザードマップ配布時に、危険個所等の説明の実施	不動産業者に対し危険個所等説明しハザードマップの配布を継続的に行う	ハザードマップ配布時に、危険個所等の説明の実施	ハザードマップ更新に伴い市内全戸に配布、市民への説明会実施	来庁時に配布	▲	▲	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	1：他と比べて低い	
9	**・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進**	国等が実施する体験研修会等へ参加し、作成のノウハウを取得する	モデル地区を選定し、講習会を開催する	特定の地域を決めての講習は行っていないが、防災講習会の中で各地区の避難経路及び危険個所の確認を行うよう説明した。	講習会の中で説明し各地区で危険個所マップを作成	機会あるごとにマイタイムラインの作成について説明を実施	講習会の中で説明し各地区で危険個所マップを作成	H5.6月防災講習会及び防災リーダー講習会にて作成の促進	講習会の中で説明し各地区で危険個所マップを作成	H６.6月防災講習会及び防災リーダー講習会にて作成の促進	講習会の中で説明し各地区で危険個所マップを作成	H７.6月防災講習会及び防災リーダー講習会にて作成の促進	○	▲	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
10	・災害リスクの現地表示	まるごとまちごとハザードマップの作成事例を収集	各種講習会にて作成事例を紹介する	感染拡大のため講習会は行っていないが地区防災計画が上がってきている地域の紹介を兼ね配布する予定	各種講習会にて作成事例を紹介する	防災リーダー講習会にて事例を紹介	各種講習会にて作成事例を紹介する	講習会にて事例の紹介。 想定浸水深を電柱に表示。（１４５ヵ所）	災害リスク現地表示の継続	講習会にて事例の紹介。 想定浸水深を電柱に表示。（１０１ヵ所）	災害リスク現地表示の継続	講習会等にて事例の紹介。	○	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	2：どちらでもよい	
11	**・広域避難体制の構築**	避難経路の検討を行う	避難経路の検討を行う	ハザードマップで各地区の危険個所を確認	講習会等で各地区の避難経路の検討を行う	未実施	講習会等で各地区の避難経路の検討を行う	講習会において、避難経路の確認、再検討の説明 広域避難検討会への参加（R5.12.26）	広域避難検討会への参加 地域防災計画の見直し	講習会において、避難経路の確認、再検討の説明 広域避難検討会への参加	広域避難検討会への参加 地域防災計画の見直し	講習会において、避難経路の確認、再検討の説明 広域避難検討会への参加	▲	○	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	1：他と比べて低い	
12	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の実施	計画の策定及び訓練実施の促進	施設における避難計画のとおり感染対策を行いながら出来ている。未作成の施設もあるので説明をしながら作成を促している	計画の策定及び訓練実施の促進	未作成施設に、説明及び策定の促進	未作成施設の計画作成及び作成済み施設への訓練実施の促進	未作成の施設に、計画作成及び訓練実施依頼の通知を送付	未作成施設の計画作成及び作成済み施設への訓練実施の促進	未作成の施設に、計画作成及び訓練実施依頼の通知を送付	未作成施設の計画作成及び作成済み施設への訓練実施の促進	未作成施設の計画作成及び作成済み施設への訓練実施の促進	○	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
◆防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等																					
13	・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断のための富士川水系情報提供システムの活用	災害情報が一元的に入手できる情報集約サイトとして富士川水系情報提供システムの周知	ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加	未追加	ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加	未実施	ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加	未実施	担当課と調整し、HPの掲載を協議。	未実施	担当課と調整し、HPの掲載を協議。	未実施	○	○	▲	▲	▲	○	レベル2：課題を解消中	1：他と比べて低い	
14	・防災情報の充実や表現の工夫	－																			
15	・防災・気象情報等の配信方法の充実	・緊急速報メールによる洪水情報の提供 ・危険性の認識につながるよう、PC,スマートフォン等で水位情報と共に河川画像のリアルタイム提供 ・SNSを利用した防災・気象情報の配信	・エリアメールのテスト配信を実施（6月、10月） ・ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加し、水位、河川画像のリアルタイム情報提供を実施	感染拡大の影響からかそちらの対応に追われ出来なかった。	配信テストを兼ねた訓練を行いたい。	訓練時に試験を兼ねて実施。また、市ラインを活用した防災情報の配信を開始	継続実施し、問題点を抽出	防災行政無線卓を更新し、防災無線と同時に、緊急速報メールや防災無線内容を配信可能とした。	HP,LINE等で防災情報の配信	HP,LINE等で防災情報の配信	HP,LINE等で防災情報の配信	HP,LINE等で防災情報の配信	○	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	1：他と比べて低い	
16	・観測体制の充実や予測技術の高度化	危険度の的確な把握及び自治体の避難判断に資する簡易水位計/危機管理型水位計の設置	危機管理型水位計の設置箇所を検討	未設置	危機管理型水位計の必要な場所を確認し設置個数等を検討する。	未実施	危機管理型水位計の必要な場所を確認し設置個数等を検討する。	未実施	必要箇所を検討し要望	未実施	必要箇所を検討し要望	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル2：課題を解消中	1：他と比べて低い	
17	・洪水予測や河川水位の状況に関する解説	住民へ水害の切迫性が効果的に伝わるように解説を行う	避難情報と共に河川水位の開設をホームページに掲載	掲載できていない	避難情報と共に河川水位の開設をホームページに掲載	未実施	避難情報と共に河川水位の開設をホームページに掲載	未実施	避難情報発令時には、河川等の情報をHP,LINE等で配信	未実施	必要箇所を検討し要望	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル2：課題を解消中	1：他と比べて低い	
18	・防災施設の機能に関する情報提供の充実	ハザードマップの周知と併せ、住民へ情報提供する	ハザードマップの周知と併せ、住民へ情報提供する	ハザードマップを見る機会を増やして頂くため啓発を行い自分が住んでいる場所の危険状況を確認していただいている。	ハザードマップ等に関心を持つよう啓発（緊急避難場所等の位置確認）	市民に対して説明を行い、催し物の開催時に防災コーナーにてハザードマップ為を配布	ハザードマップ等に関心を持つよう啓発（緊急避難場所等の位置確認）	防災講習会を実施	マンホールトイレや学校備蓄倉庫の説明や講習会の実施	防災講習会を実施	マンホールトイレや学校備蓄倉庫の説明や講習会の実施	防災講習会等	地元自治会への説明会を実施	●	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	1：他と比べて低い	
◆セミナー・防災教育・訓練、計画策定等																					
19	・緊急行動トップセミナーの開催	トップセミナーへの参加	トップセミナーへの参加	参加できていない。	参加予定	都合により不参加	参加予定	市長村長災害対応研修への参加（R5.6.29）	トップセミナーへの参加	未実施	トップセミナーへの参加	未実施	○	○	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
20	・防災教育の促進	小学生を対象とした出前講座の実施	小学生を対象とした出前講座の実施	夏休みを利用し各地区を訪問し実施したが、感染拡大のため全地区での講座は開けなかった。	出前講座は継続的に行う	学童施設にて防災教育の実施	出前講座の継続実施	依頼のあった小学校に出前講座の実施。	講座の活用を促進するとともに、出前講座の継続実施。	依頼のあった小学校に出前講座の実施。	講座の活用を促進するとともに、出前講座の継続実施。	依頼のあった小学校に出前講座の実施。児童館に講座	●	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	1：他と比べて低い	
21	**・災害の伝承**	・過去に発生した自然災害について、災害の模様や被害状況等が記載された「自然災害伝承碑」の設置 ・国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進 ・伝承碑が表示された地理院地図の活用	・ハザードマップの地図に伝承碑が表示された地理院地図の利用	出来ていない。	・過去にあった自然災害の状況や教訓を共有し地理院地図を利用 ・ハザードマップの地図に伝承碑の表示を検討	文化財課にて過去の災害伝承の講習会を実施	過去の災害の伝承	文化財課において、学校授業等で災害の伝承を実施。	過去の災害の伝承	文化財課において、学校授業等で災害の伝承を実施。	過去の災害の伝承	文化財課において、学校授業等で災害の伝承を実施。	○	▲	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	2：どちらでもよい	
22	・共助の仕組みの強化	地区防災計画策定の促進	地区防災計画策定の促進	感染拡大のため説明不足の所はあるが、問い合わせのあった地区に資料を持っていき説明を行った。今後も、説明に行く。	地区防災計画策定の促進	講習会等にて策定の説明及び促進	作成途中の地区の完成（西地区）	西地区（下市之瀬）の地区防災計画の完成。	未策定地区の策定促進及び補助。	年度内２０地区の完成見込み。	未策定地区の策定促進及び補助。	年度内１０地区完成見込み	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	1：他と比べて低い	
23	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	庁内における水防配置及び動員計画の見直し	庁内における水防配置及び動員計画の見直し	人員配置の見直し（担当が変わったところの説明）	庁内における水防配置及び動員計画の見直し	見直しの実施（４月）	庁内における水防配置及び動員計画の見直し	年度当初に配置見直しの実施。	庁内における水防配置及び動員計画の見直し	年度当初に配置見直しの実施。	庁内における水防配置及び動員計画の見直し	年度当初に配置見直しの実施	○	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	1：他と比べて低い	
24	・業務継続計画の策定	見直しの検討	見直しの検討	見直しを実施した。	継続的に見直しを行う	見直しの実施	継続的に見直しを行う	見直しの実施。	継続的な見直し。	見直しの実施。	継続的な見直し。	見直しの実施。	●	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
25	・総合的な土砂管理	－																			
水防：的確な水防活動のための取組																					
◆点検強化																					
26	・重要水防箇所の見直し	－																			
27	・防災計画に基づく水防資機材の配備	配置した機材の定期点検、補充	・土のうの追加配備 ・消防団と連携を図り、整備計画を更新	消防団と連絡を密にし迅速な災害対応（使用資機材の準備）のできる体制	消防団と連携し災害等に対応する資機材点検の徹底	水防資機材の確認実施	配置した機材の定期点検、補充	水防資機材の補充は実施なし。倉庫内の資機材の点検の実施。	必要資機材の補充。	水防資機材の補充は実施なし。倉庫内の資機材の点検の実施。	必要資機材の補充。	水防資機材の補充は実施なし。倉庫内の資機材の点検の実施。	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	2：どちらでもよい	
28	・共同点検・合同巡視の実施	・共同点検の実施・参加 ・河川管理者と連携を図る中、水防危険箇所の巡視を実施	・重要水防箇所の点検時、河川に隣接する自治会役員の参加を促進 ・水防団等による共同点検の実施	防災講習会で危険個所等を説明し（資料等で）各地区の危険個所を確認	・重要水防箇所の点検時、河川に隣接する自治会役員の参加を促進 ・水防団等による共同点検の実施	未実施	水防団等による共同点検の実施	未実施	水防団等による共同点検の実施	未実施	水防団等による共同点検の実施	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
29	・関係機関が連携した実動水防訓練の実施	－																★			
◆体制確保																					
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	災害時巡視システムによる被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有訓練の実施	全体の訓練で使用し、災害発生時に活用出来るよう備えている。	システムを活用した訓練を行う（防災訓練等で）	山梨県総合防災情報システムの活用	山梨県総合防災情報システムの活用 システムを活用した被災情報の共有	山梨県総合防災情報システムの活用	山梨県総合防災情報システムの活用 システムを活用した被災情報の共有	山梨県総合防災情報システムの活用	山梨県総合防災情報システムの活用 システムを活用した被災情報の共有	山梨県総合防災情報システムの活用	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

南アルプス市

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したなど、要確認箇所

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

昭和町

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したなど、要確認箇所

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

昭和町

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したなど、要確認箇所

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**中央市**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したなど、要確認箇所

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

中央市

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、準拠局案として評価マークを変更したなど、要確認箇所

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実施時期							5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
		実施内容	予定	実績	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	R3	R4	R5	R6	R7	ALL				
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	・災害時巡視システムをによる被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有訓練の実施	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・警報が発令された際、山梨県総合防災情報システムへ入力し、情報を共有した。	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	山梨県総合防災情報システムの研修に参加。	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
31	・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	・消防団員確保対策の継続実施	・消防団員サポート事業、自動車等運転免許取得費補助	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報、イベント等で募集した。	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報、イベント等で募集した。	●	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
32	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	・出水期における水防活動等について水防関係者間との役割分担等の確認を実施 ・河川管理者との連携強化	・河川管理者との連携強化	・出水がなかったため未実施	・河川管理者との連携強化	・出水がなかったため、未実施	・河川管理者との連携強化	・出水がなかったため、未実施	・河川管理者との連携強化	・出水がなかったため、未実施	・甲府河川国道事務所及び県との連携確認の実施	・甲府河川国道事務所及び県との連携確認の実施した	○	○	○	○	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
33	・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	・地域防災リーダーの育成と、共助の精神に基づく自主防災活動を推進する	・地域防災リーダー養成講習会の開催	・地域防災リーダー養成講習の開催	・地域防災リーダー養成講習の開催	・地域防災リーダー養成講習の開催	・地域防災リーダー養成講習の開催	・地域防災リーダー養成講習は開催せず、防災アドバイザーによる防災講演会をR5.7に開催	・地域防災リーダー養成講習の開催	・地域防災リーダー養成講習は開催せず、防災アドバイザーによる防災講演会を避難所運営訓練時に開催	・地域防災リーダー養成講習の開催	・地域防災リーダー養成講習は開催せず、防災アドバイザーによる防災講演会を避難所運営訓練時に開催	●	●	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減**等**に関する取組																						
◆実践強化																						
34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	・ウェブカメラの情報を共有し排水ポンプの始動タイミングの適正化 ・市が所管する樋門・樋管の操作情報の共有	・水門の位置、操作法を出水期前に建設担当で確認	・水門の位置、操作法を出水期前に建設担当で確認	・水門の位置、操作法を出水期前に建設担当で確認	・水門の位置、操作法を出水期前に建設担当で確認	・水門の位置、操作法を出水期前に建設担当で確認	・水門の位置、操作法を出水期前に建設担当で確認	・水門の位置、操作法を出水期前に建設担当で確認	・水門の位置、操作法を出水期前に建設担当で確認した。	・水門の位置、操作法を出水期前に建設担当で確認	・水門の位置、操作法を出水期前に建設担当で確認した。	●	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	—																				
36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	・講習会への参加	・国土交通省の操作講習会に参加	・未実施	・関係機関の講習会への参加	・未実施	・関係機関の講習会への参加	・未実施	・関係機関の講習会への参加	・水防講習会へ参加（R6.7.24）	・関係機関の講習会への参加	・甲府河川国道事務所及び県との重要水防箇所巡視の実施した	○	○	○	○	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
◆機能保全																						
37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	—																				
38	・排水設備の機能保全	—																				
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																						
◆堤防及び諸施設の整備・機能確保等																						
39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	—																				
40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	—																				
41	・本川と支川の合流部等の対策	—																				
42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	—																				
43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	—																				
44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	—																				
45	・避難場所として活用できる堤防整備（宇坪地区、富士川地区）	—																				
46	・応急的な退避場所の確保	・浸水リスク、内水を考慮した避難所の確保	・垂直避難が可能な高層建築物の所有者との協定の推進	・垂直避難が可能な高層建築物の所有者との協定の推進	・垂直避難が可能な高層建築物の所有者との協定の推進	・垂直避難が可能な高層建築物の所有者との協定交渉	・垂直避難が可能な高層建築物の所有者との協定の推進	・2つの民間企業と災害協定を締結	・垂直避難が可能な高層建築物の所有者との協定の推進	・本年度は未実施	・垂直避難が可能な高層建築物の所有者との協定の推進	・協定を締結した企業を訪問し、内容の確認をした。	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	—																				
48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	・本庁舎以外の施設での対策を検討	・本庁舎以外の施設での対策を検討	・対策の必要性を検討	・耐水化、非常用電源の確保	・外部給電機購入	・耐水化、非常用電源の確保	・ハイブリッド発電機の配備	・耐水化、非常用電源の確保	・ハイブリッド発電機を追加配備	・耐水化、非常用電源の確保	・ハイブリッド発電機、蓄電池を追加配備	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
◆情報伝達等に係る機器等の整備																						
49	・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	—																				

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

市川三郷町

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

市川三郷町

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**甲州市**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標 実施内容	令和3年度 予定	令和3年度 実績	令和4年度 予定	令和4年度 実施	令和5年度 予定	令和5年度 実施	令和6年度 予定	令和6年度 実施	令和7年度 予定	令和7年度 実施	実施時期 R3	R4	R5	R6	R7	ALL	5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
避難：円滑かつ迅速な避難のための取組																					
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等																					
1	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及びタイムラインに基づく訓練の実施	・ダムの洪水調節機能を踏まえた避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し ・避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインに基づく訓練の実施	・避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及び訓練実施のための支援	・チェックリスト・タイムラインを作成	・チェックリスト・タイムラインの見直し及び訓練実施のための支援	・チェックリスト・タイムラインを作成	・チェックリスト・タイムラインの見直し及び訓練実施のための支援	・チェックリスト・タイムラインの見直し	・チェックリスト・タイムラインの見直し及び訓練実施のための支援	・チェックリスト・タイムラインの見直し	・チェックリスト・タイムラインの見直し及び訓練実施のための支援	・チェックリスト・タイムラインの見直し	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
2	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	・避難指示等発令の対象区域、判断基準の設定	・避難指示等発令の対象区域、判断基準の確認	・避難指示等発令の対象区域、判断基準の設定	・避難指示等発令の対象区域、判断基準の確認	・避難指示等発令の対象区域の調査	・避難指示等発令の対象区域、判断基準の確認	・避難指示等発令の対象区域の調査	・避難指示等発令の対象区域、判断基準の確認	・避難指示等発令の対象区域の調査	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
3	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	・ダムの放流情報を基にした避難情報の伝達	・ダムの貯水容量や放流状況等、活用できる情報の把握	・未実施	・ダムの貯水容量や放流状況等、活用できる情報の把握	未実施	・ダムの貯水容量や放流状況等、活用できる情報の把握	未実施	・ダムの貯水容量や放流状況等、活用できる情報の把握	・ダムの放流情報を基にした伝達訓練を実施	・ダムの貯水容量や放流状況等、活用できる情報の把握	・ダムの放流情報を基にした伝達訓練を実施	○	○	○	○	○	★	レベル0：認識なし	2：どちらでもよい	
4	**・多機関連携型タイムラインの拡充**	・多様な関係機関の連携による情報共有を見える化した多機関連携型タイムラインの作成	・水害リスクを踏まえた市の課題を把握	・水害の恐れのある箇所を把握	・水害リスクを踏まえた市の課題を把握	・水害の恐れのある箇所を把握	・水害リスクを踏まえた市の課題を把握	未実施	・水害リスクを踏まえた市の課題を把握	未実施	・水害リスクを踏まえた市の課題を把握	未実施	▲	▲	○	○	○	★	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
5	・洪水対応情報伝達演習の実施	・洪水対応情報伝達演習の実施	・洪水対応情報伝達演習の実施	・感染症拡大防止のため未実施	・無線による情報伝達訓練の実施	・感染症拡大防止のため未実施	・無線による情報伝達訓練の実施	未実施	・無線による情報伝達訓練の検討	・無線による情報伝達訓練を実施	・無線による情報伝達訓練の検討	・無線による情報伝達訓練を実施	○	○	○	○	○	★	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
6	・「避難判断基準等検討支援システム」の更新・活用	・避難判断基準等検討支援システムの周知 ・避難判断基準等検討支援システムを活用した避難基準の再検討	・避難判断基準等検討支援システムのデータ更新	・避難判断基準等検討支援システムのデータを更新	・避難判断基準等検討支援システムのデータを更新	・避難判断基準等検討支援システムのデータを更新	・避難判断基準等検討支援システムのデータを更新	・避難判断基準等検討支援システムのデータを更新	・避難判断基準等検討支援システムのデータを更新	・避難判断基準等検討支援システムのデータを更新	・避難判断基準等検討支援システムのデータを更新	・避難判断基準等検討支援システムのデータを更新	●	●	★	★	★	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
7	・ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供	・ハザードマップポータルサイトの活用 ・住民へのハザードマップポータルサイトの周知	・住民へのハザードマップポータルサイトの周知	・ハザードマップポータルサイトの活用	・住民へのハザードマップポータルサイトの周知	・ハザードマップポータルサイトの活用	・住民へのハザードマップポータルサイトの周知	・住民へのハザードマップポータルサイトの周知	・住民へのハザードマップポータルサイトの周知	・住民へのハザードマップポータルサイトの周知	・住民へのハザードマップポータルサイトの周知	・住民へのハザードマップポータルサイトの周知	▲	▲	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
8	・適切な土地利用の促進	・不動産業者に対しハザードマップを配布	・不動産業者に対しハザードマップを配布	・希望する不動産業者に対しハザードマップを配布	・希望する不動産業者に対しハザードマップを配布	・希望する不動産業者に対しハザードマップを配布	・希望する不動産業者に対しハザードマップを配布	・希望する不動産業者に対しハザードマップを配布	・希望する不動産業者に対しハザードマップを配布	・希望する不動産業者に対しハザードマップを配布	・希望する不動産業者に対しハザードマップを配布	・希望する不動産業者に対しハザードマップを配布	▲	▲	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
9	**・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進**	・マイハザードマップ、マイタイムラインの作成の手引きの周知、作成支援ツールの普及 ・ワークショップなど住民がマイハザードマップ、マイタイムライン等を作成する場の提供	・自治会で作成支援ツールを用いたマイタイムライン作成講習会の実施	・感染症拡大防止のため未実施	・自治会で作成支援ツールを用いたマイタイムライン作成講習会の実施	・感染症拡大防止のため未実施	・自治会で作成支援ツールを用いたマイタイムライン作成講習会の実施	未実施	・自治会で作成支援ツールを用いたマイタイムライン作成講習会の実施	未実施	・自治会で作成支援ツールを用いたマイタイムライン作成講習会の実施	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
10	・災害リスクの現地表示	・想定浸水深や避難所の情報等を標示する「まるごとまちごとハザードマップ」の推進	・想定浸水深や避難所の情報等を標示する「まるごとまちごとハザードマップ」の作成	・未実施	・想定浸水深や避難所の情報等を標示する「まるごとまちごとハザードマップ」の作成	・未実施	・想定浸水深や避難所の情報等を標示する「まるごとまちごとハザードマップ」の作成	未実施	・想定浸水深や避難所の情報等を標示する「まるごとまちごとハザードマップ」の作成を検討	未実施	・想定浸水深や避難所の情報等を標示する「まるごとまちごとハザードマップ」の作成を検討	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	3：非常に高い	
11	**・広域避難体制の構築**	・広域避難に関する調整、避難経路の検討及び支援 ・隣接市町村における避難場所の設定	・県における広域避難に関する協定締結	・県による広域避難検討会への参加	・県における広域避難に関する協定締結	・県における広域避難検討会への参加	・県における広域避難に関する協定締結	・県における広域避難に関する協定締結	・広域避難に関する調整、検討 ・避難場所の調査、確認	・県による広域避難に関する検討 ・やまなし県央連携中枢都市圏による広域避難に関する検討	・広域避難に関する調整、検討 ・避難場所の調査、確認	・県による広域避難に関する検討 ・やまなし県央連携中枢都市圏による広域避難に関する検討	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル1：課題を把握	2：どちらでもよい	
12	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・要配慮者利用施設の避難計画の作成促進 ・要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練の実施支援	・避難情報、洪水情報、ダム関連情報、土砂災害警戒情報等を活用した要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練の実施支援	・未実施	・要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練の実施支援	・未実施	・要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練の実施支援	未実施	・要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練の実施支援	未実施	・要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練の実施支援	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
◆防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等																					
13	・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断のための富士川水系情報提供システムの活用	・災害情報が一元的に入手できる情報集約サイトとして富士川水系情報提供システムの周知 ・富士川水系情報提供システムを活用した情報提供	・自治体ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加 ・富士川水系情報提供システムを活用した情報提供	・未実施	・自治体ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加 ・富士川水系情報提供システムを活用した情報提供	・未実施	・自治体ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加 ・富士川水系情報提供システムを活用した情報提供	未実施	・自治体ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加 ・富士川水系情報提供システムを活用した情報提供	未実施	・自治体ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加 ・富士川水系情報提供システムを活用した情報提供	未実施	○	○	▲	▲	▲	○	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
14	・防災情報の充実や表現の工夫	—																			
15	・防災・気象情報等の配信方法の充実	・緊急速報メールによる洪水情報の提供 ・危険性の認識につながるよう、PC,スマートフォン等で水位情報と共に河川画像のリアルタイム提供 ・SNSを利用した防災・気象情報の配信	・自治体ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加し、水位、河川画像のリアルタイムの情報提供を実施	・未実施	・自治体ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加し、水位、河川画像のリアルタイムの情報提供を実施	・未実施	・自治体ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加し、水位、河川画像のリアルタイムの情報提供を実施	未実施	・自治体ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加し、水位、河川画像のリアルタイムの情報提供を実施	未実施	・自治体ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加し、水位、河川画像のリアルタイムの情報提供を実施	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
16	・観測体制の充実や予測技術の高度化	—																			
17	・洪水予測や河川水位の状況に関する解説	・住民へ水害の切迫性が効果的に伝わるように解説	・避難情報と共に河川水位の解説をホームページに掲載	・新たな警戒レベル、避難情報をホームページに掲載	・河川水位の解説をホームページに掲載	・警戒レベル、避難情報をホームページに掲載	・河川水位の解説をホームページに掲載	・河川水位の解説をホームページに掲載	・河川水位の解説をホームページに掲載	・河川水位の解説をホームページに掲載	・河川水位の解説をホームページに掲載	・河川水位の解説をホームページに掲載	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル1：課題を把握	2：どちらでもよい	
18	・防災施設の機能に関する情報提供の充実	・堤防やダム等の施設の能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性の周知	・堤防やダム等の施設の能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性について、出前講座を実施	・感染症拡大防止のため未実施	・堤防やダム等の施設の能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性の周知	・感染症拡大防止のため未実施	・堤防やダム等の施設の能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性の周知	未実施	・堤防やダム等の施設の能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性の周知	未実施	・堤防やダム等の施設の能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性の周知	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	2：どちらでもよい	
◆セミナー・防災教育・訓練、計画策定等																					
19	・緊急行動トップセミナーの開催	・トップセミナーへの参加	・トップセミナーへの参加	・感染症拡大防止のため未実施	・トップセミナーへの参加	・感染症拡大防止のため未実施	・トップセミナーへの参加	未実施	・トップセミナーへの参加	未実施	・トップセミナーへの参加	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル1：課題を把握	2：どちらでもよい	
20	・防災教育の促進	・地域防災力の向上のための人材育成 ・出前講座を活用した講習会の実施 ・防災教育に関するシンポジウムへの参加	・出前講座を活用した講習会の実施 ・防災教育に関するシンポジウムへの参加	・感染症拡大防止のため未実施	・出前講座を活用した講習会の実施 ・防災教育に関するシンポジウムへの参加	・感染症拡大防止のため未実施	・出前講座を活用した講習会の実施 ・防災教育に関するシンポジウムへの参加	未実施	・出前講座を活用した講習会の実施 ・防災教育に関するシンポジウムへの参加	・出前講座を活用した講話・講習会を実施	・出前講座を活用した講習会の実施 ・防災教育に関するシンポジウムへの参加	・出前講座を活用した講話・講習会を実施	○	○	○	○	○	★	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
21	**・災害の伝承**	・国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進 ・伝承碑が表示された地理院地図の活用	・伝承碑が表示された地理院地図の活用	・未実施	・伝承碑が表示された地理院地図の活用	・未実施	・伝承碑が表示された地理院地図の活用	未実施	・伝承碑が表示された地理院地図の活用	未実施	・伝承碑が表示された地理院地図の活用	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
22	・共助の仕組みの強化	・避難訓練への地域住民の参加促進 ・地域間の取り組み状況の共有 ・防災リーダーの育成	・避難訓練への地域住民の参加呼び掛け ・地域の取り組み状況等の情報共有 ・防災リーダー養成講座の開催	・避難訓練への地域住民の参加呼び掛け ・地域の取り組み状況等の情報共有 ・防災リーダー養成講座の開催	・避難訓練への地域住民の参加呼び掛け ・地域の取り組み状況等の情報共有 ・防災リーダー養成講座の開催	・避難訓練への地域住民の参加呼び掛け ・地域の取り組み状況等の情報共有 ・防災リーダー養成講座の開催	・避難訓練への地域住民の参加呼び掛け ・地域の取り組み状況等の情報共有 ・防災リーダー養成講座の開催	・避難訓練への地域住民の参加呼び掛け ・地域の取り組み状況等の情報共有 ・防災リーダー養成講座の開催	・避難訓練への地域住民の参加呼び掛け ・地域の取り組み状況等の情報共有 ・防災リーダー養成講座の開催	・避難訓練への地域住民の参加呼び掛け ・地域の取り組み状況等の情報共有 ・防災リーダー養成講座の開催	・避難訓練への地域住民の参加呼び掛け ・地域の取り組み状況等の情報共有 ・防災リーダー養成講座の開催	・避難訓練への地域住民の参加呼び掛け ・地域の取り組み状況等の情報共有 ・防災リーダー養成講座の開催	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
23	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	・浸水する恐れのある施設について、退避場所や退避基準、連絡体制等を検討	・浸水する恐れのある施設の抽出 ・退避場所の候補地の検討	・浸水する恐れのある施設の抽出 ・退避場所の候補地の検討	・退避場所の候補地の見直し、検討	・浸水する恐れのある施設の抽出 ・退避場所の候補地の検討	・退避場所の候補地の見直し、検討	・退避場所の候補地の見直し、検討	・退避場所の候補地の見直し、検討	・退避場所の候補地の見直し、検討	・退避場所の候補地の見直し、検討	・退避場所の候補地の見直し、検討	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
24	・業務継続計画の策定	・業務継続計画の策定	・業務継続計画の策定	・未実施	・業務継続計画の策定	・未実施	・業務継続計画の策定	未実施	・業務継続計画の策定	未実施	・業務継続計画の策定	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
25	・総合的な土砂管理	—																			
水防：的確な水防活動のための取組																					
◆点検強化																					
26	・重要水防箇所の見直し	—																			
27	・防災計画に基づく水防資機材の配備	・配置した機材の定期点検、補充	・土のうの追加配備等	・土のうの追加配備等	・土のうの追加配備等	・土のうの追加配備等	・土のうの追加配備等	・土のうの追加配備等	・土のうの追加配備等	・土のうの追加配備等	・土のうの追加配備等	・土のうの追加配備等	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
28	・共同点検・合同巡視の実施	・共同点検の実施・参加 ・河川管理者と連携を図る中、水防危険箇所の巡視を実施	・水防箇所の点検時、河川に隣接する自治会役員の参加を促進 ・水防団等による共同点検の実施	・感染症拡大防止のため未実施	・水防箇所の点検時、河川に隣接する自治会役員の参加を促進 ・水防団等による共同点検の実施	・感染症拡大防止のため未実施	・水防箇所の点検時、河川に隣接する自治会役員の参加を促進 ・水防団等による共同点検の実施	未実施	・水防箇所の点検時、河川に隣接する自治会役員の参加を促進 ・水防団等による共同点検の実施	未実施	・水防箇所の点検時、河川に隣接する自治会役員の参加を促進 ・水防団等による共同点検の実施	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル1：課題を把握	3：どちらでもよい	
29	・関係機関が連携した実動水防訓練の実施	・多様な関係機関、住民が参加する水防訓練の実施 ・浸水想定区域内の住民へ水防訓練への参加を推進	・自主防災会等による水防活動の実施促進 ・水防訓練への地域住民の参加呼び掛け	・感染症拡大防止のため未実施	・自主防災会等による水防活動の実施促進 ・水防訓練への地域住民の参加呼び掛け	・感染症拡大防止のため未実施	・自主防災会等による水防活動の実施促進 ・水防訓練への地域住民の参加呼び掛け	未実施	・自主防災会等による水防活動の実施促進 ・水防訓練への地域住民の参加呼び掛け ・洪水対応演習のホットラインに参加	未実施	・自主防災会等による水防活動の実施促進 ・水防訓練への地域住民の参加呼び掛け ・洪水対応演習のホットラインに参加	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
◆体制確保																					
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用 ・システムを活用した被災情報の共有	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**甲州市**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目																								
○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）																								
No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実施時期					5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
		実施内容	予定	実績	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	R3	R4	R5	R6	R7			
31	・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	・消防団員確保対策の継続実施	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	・消防団協力員の増員を目指し、広報等で募集	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
32	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	・出水期における水防活動等について水防関係者間で振返りを実施	・水防活動等について水防団と振返りを実施	・未実施	・水防活動等について水防団と振返りを実施	・未実施	・水防活動等について水防団と振返りを実施	未実施	・水防活動等について水防団と振返りを実施	未実施	・水防活動等について水防団と振返りを実施	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
33	・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	・防災リーダーの育成と、共助の精神に基づく自主防災活動の推進	・防災リーダー養成講座の開催	・防災リーダー養成講座の開催	・防災リーダー養成講座の開催	・防災リーダー養成講座の開催	・防災リーダー養成講座の開催	・防災リーダー養成講座の開催	・防災リーダー養成講座の開催	・防災リーダー養成講座の開催	・防災リーダー養成講座の開催	・防災リーダー養成講座の開催	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減等に関する取組																								
◆実践強化																								
34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	・樋門・樋管の操作情報の共有	・樋門・樋管の操作情報を地元水防団（消防団）に対し実施	・未実施	・樋門・樋管の操作情報を地元水防団（消防団）に対し実施	・未実施	・樋門・樋管の操作情報を地元水防団（消防団）に対し実施	未実施	・樋門・樋管の操作情報を地元水防団（消防団）に対し実施	未実施	・樋門・樋管の操作情報を地元水防団（消防団）に対し実施	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	－																						
36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	・災害対応による機器の操作講習会の実施	・始動点検・運用訓練や講習会の実施	・未実施	・始動点検・運用訓練や講習会の実施	・未実施	・始動点検・運用訓練や講習会の実施	未実施	・始動点検・運用訓練や講習会の実施	未実施	・始動点検・運用訓練や講習会の実施	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
◆機能保全																								
37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	－																						
38	・排水設備の機能保全	－																						
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																								
◆堤防及び諸施設の整備・機能確保等																								
39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	－																						
40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	－																						
41	・本川と支川の合流部等の対策	－																						
42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	－																						
43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	－																						
44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	－																						
45	・避難場所として活用できる堤防整備（字坪地区、富士川地区）	－																						
46	・応急的な退避場所の確保	・洪水の浸水想定より高い道路区間を抽出し、地方公共団体のニーズを踏まえて緊急避難場所として活用	・浸水想定より高い道路区間から緊急避難場所候補地を抽出	・未実施	・浸水想定より高い道路区間から緊急避難場所候補地を抽出	・未実施	・浸水想定より高い道路区間から緊急避難場所候補地を抽出	未実施	・浸水想定より高い道路区間から緊急避難場所候補地を抽出	未実施	・浸水想定より高い道路区間から緊急避難場所候補地を抽出	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル1：課題を把握	2：どちらでもよい	
47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	－																						
48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	・防災拠点となる庁舎等の大規模停電に備えた非常用発電設備の整備 ・72時間以上運転可能な非常用発電設備の確保	・非常用発電設備の確保	・非常用発電機、蓄電池の確保	・非常用発電設備の補充	・非常用発電機、蓄電池の確保	・非常用発電設備の補充	・非常用発電設備の補充の検討	・非常用発電設備の補充	・非常用発電設備の補充	・非常用発電設備の補充	・非常用発電設備の補充	●	●	▲	▲	▲	☆	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
◆情報伝達等に係る機器等の整備																								
49	・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	－																						

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

富士川町

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**富士川町**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標 実施内容	令和3年度 予定	令和3年度 実績	令和4年度 予定	令和4年度 実施	令和5年度 予定	令和5年度 実施	令和6年度 予定	令和6年度 実施	令和7年度 予定	令和7年度 実施	実施時期 R3	R4	R5	R6	R7	ALL	5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
水防：的確な水防活動のための取組																					
◆点検強化																					
26	・重要水防箇所の見直し	–																			
27	・防災計画に基づく水防資機材の配備	・資機材の定期点検	・資機材の定期点検	資機材の点検を実施	・資機材の定期点検	資機材の点検を実施	引き続き行う	実施	引き続き行う	引き続き行う	適切な水防資機材の配備	未実施	▲	▲	▲	▲	○	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
28	・共同点検・合同巡視の実施	・共同点検の実施、参加	・土木・河川事務所との合同巡視	感染症拡大防止の為開催中止	・土木・河川事務所との合同巡視	感染症拡大防止の為開催中止	引き続き行う	実施	引き続き行う	引き続き行う	共同点検の実施及び参加	合同巡視参加	▲	▲	▲	▲	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
29	・関係機関が連携した実動水防訓練の実施	・浸水想定区域内の住民への水防訓練参加を促進	・自主防災会との連携及び訓練計画	感染症拡大防止の為開催中止	・自主防災会との連携及び訓練計画	感染症拡大防止の為開催中止	引き続き行う	–	県水防訓練実施 洪水対応演習のホットラインに参加	令和6年山梨県水防訓練への参加	積極的に訓練に参加したい	未実施	▲	▲	○	●	○	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
◆体制確保																					
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	・山梨県総合防災情報システムの活用	研修会へ参加	・山梨県総合防災情報システムの活用	研修会へ参加	引き続き行う	山梨県総合防災情報システムを活用	山梨県総合防災情報システムを活用した被災情報の共有	引き続き行う	山梨県総合防災情報システムを活用した被災情報の共有	災害時に活用した	▲	▲	▲	▲	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
31	・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	・消防団員確保対策の継続実施	・消防団員の増員	増員に向けて報酬の見直しを実施中	・消防団員の増員	増員に向けて報酬の見直しを実施中	引き続き行う	消防団員確保対策の実施	消防団員確保対策の継続実施	引き続き検討していく	消防団員確保対策の継続実施	引き続き検討していく	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
32	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	・出水期における水防活動等についての振り返り実施	・水防活動の振り返り実施	水災害なし	・水防活動の振り返り実施	水災害なし	水防活動がある場合は行う	–	水防活動等について水防団と振返りを実施	引き続き行う	水防活動等について水防団と振返りを実施	未実施	▲	▲	▲	▲	○	○	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
33	・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	・防災リーダーの育成と自主防災活動の促進	・地区防災計画の作成依頼	R3.10　地区に対して説明会を実施	・地区防災計画の作成依頼（未提出地区8地区に引き続き促進していく。）	R3.10　地区に対して説明会を実施	未提出地区7地区に引き続き促進していく。	防災リーダーを継続的に排出	町防災リーダー養成講座の開催	防災リーダー養成講座を開催した	町防災リーダー養成講座の内容の充実	防災リーダー養成講座の内容の見直しを実施	▲	▲	▲	▲	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減**等**に関する取組																					
◆実践強化																					
34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	・町が所管する排水機場・樋門等の操作情報の共有	・年6回の訓練実施	訓練実施済み	・年6回の訓練実施	訓練実施済み	引き続き行う	実施	引き続き行う	引き続き行う	訓練等を行い情報共有をしていく	引き続き実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	–																			
36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	・操作講習会の実施	・保守業者による操作講習会の実施	実施済み	・保守業者による操作講習会の実施	実施済み	引き続き行う	実施	引き続き行う	引き続き行う	操作講習会の開催	未実施	▲	▲	▲	▲	○	★	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
◆機能保全																					
37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	–																			
38	・排水設備の機能保全	–																			
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																					
◆堤防及び諸施設の整備・機能確保等																					
39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	–																			
40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	–																			
41	・本川と支川の合流部等の対策	–																			
42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	–																			
43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	–																			
44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	–																			
45	・避難場所として活用できる堤防整備（宇坪地区、富士川地区）	–																			
46	・応急的な退避場所の確保	・高い道路区間の調査及び避難場所としての活用の可否	・避難場所候補地の抽出	避難場所の見直しを実施	・避難場所候補地の抽出	避難場所の見直しを実施	周知していく	実施	周知していく	引き続き行う	周知をしていく	引き続き検討	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	–																			
48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	・非常用発電機の継続利用及び使用確認	・防災担当者の使用方法・内容の確認	機械点検の実施済み	・防災担当者の使用方法・内容の確認	機械点検の実施済み	引き続き行う	新庁舎開設	必要に応じて検討	引き続き検討していく	必要に応じて対策していく	引き続き実施	▲	▲	★	★	★	☆	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

山梨市

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目																							
○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）																							
No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実施時期					5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
		実施内容	予定	実績	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	R3	R4	R5	R6	R7	ALL		
避難：円滑かつ迅速な避難のための取組																							
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等																							
1	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及びタイムラインに基づく訓練の実施	・水害時のタイムライン、チェックリストとともに毎年確認・更新をする。	チェックリスト・タイムラインの確認・更新	タイムラインの避難情報の名称を改訂。	チェックリスト・タイムラインの確認・更新	水害時のタイムラインを確認。	チェックリスト・タイムラインの確認・更新	チェックリスト・タイムラインに基づく手順確認	市民や関係機関を交えた図上訓練の実施	各行政区から参加者を集め、市主催の自主防災組織指導者講習会にて実施	市民や関係機関を交えた図上訓練の実施	各行政区から参加者を集め、市主催の自主防災組織指導者講習会にて実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
2	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	・避難指示等発令の対象区域、判断基準の見直し	避難勧告等発令の対象区域、判断基準の見直し・検討	未実施。	避難指示等発令の対象区域、判断基準の見直し・検討	避難指示等の発令対象区域の選定。	・避難指示等発令の対象区域、判断基準の見直し	避難指示等発令の対象区域、判断基準の確認	避難指示等発令の対象区域、判断基準の確認を踏まえた訓練実施	防災出前講座による避難行動に関する地域説明会を実施	避難指示等発令の対象区域、判断基準の確認を踏まえた訓練実施	防災出前講座による避難行動に関する地域説明会を実施	○	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
3	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	・ダム放流情報を活用した避難体系の検討、情報伝達訓練への参加	ダム放流情報を活用した避難体系の検討、情報伝達訓練への参加	６/４情報伝達訓練を実施。	ダム放流情報を活用した避難体系の検討、情報伝達訓練への参加	6/8情報伝達訓練を実施。	ダム放流情報を活用した避難体系の検討、情報伝達訓練への参加。	6/2情報伝達訓練に参加	ダムの放水情報を活用した訓練実施	6/3関係機関による情報伝達訓練を実施	ダムの放水情報を活用した訓練実施	関係機関による情報伝達訓練を実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
4	**・多機関連携型タイムラインの拡充**	・富士川流域における水害リスクの把握	タイムラインの拡充・更新	タイムラインの拡充・更新	タイムラインの拡充・更新	タイムラインの拡充・更新。	タイムラインの拡充・更新。	タイムラインの確認、拡充。	タイムラインの拡充・更新。	防災出前講座を通じてタイムラインの必要性を周知	タイムラインの拡充・更新	防災出前講座を通じてタイムラインの必要性を周知	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
5	・洪水対応情報伝達演習の実施	・洪水対応情報伝達演習の実施検討	甲府河国の洪水対応伝達演習に参加予定	６/４甲府河川国道事務所の訓練へ参加。	甲府河国の洪水対応伝達演習に参加予定	6/8甲府河川国道事務所の洪水対応演習に参加。	甲府河国の洪水対応伝達演習に参加予定。	洪水対応情報への対応手順検証	各機関が実施する演習、訓練への参加	6月に実施された県の訓練を通じて関係機関との連携確認	各機関が実施する演習、訓練への参加	6月に実施された県の訓練を通じて関係機関との連携確認	●	●	●	●	●	★	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
6	~~・~~「避難判断基準等検討支援システム」の更新・活用	・緊急時の判断においての「避難判断基準検討支援システム」の活用を検討する。	「避難判断基準検討支援システム」の活用を検討	未実施。	「避難判断基準検討支援システム」の活用を検討	未実施。	「避難判断基準検討支援システム」の活用を検討。	未実施	「避難判断基準検討支援システム」の活用を検討。	関係課におけるシステムの情報を共有し、今後活用を検討	「避難判断基準検討支援システム」の活用を検討	関係課におけるシステムの情報を共有し、今後活用を検討	○	○	★	★	○	★	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
7	・ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供	・SNS・HP等による住民へのハザードマップの周知	SNS・HP等による住民へのハザードマップの周知	既にHPに掲載しており、広報や防災訓練時等での周知を実施。	SNS・HP等による住民へのハザードマップの周知	指定避難所でなくなった施設をHP上のハザードマップ情報から削除。	SNS・HP等による住民へのハザードマップの周知。	防災出前講座によるハザードマップの周知拡大	防災出前講座によるハザードマップの周知拡大	市広報誌、情報誌を通じて、基礎的な活用をPR	防災出前講座によるハザードマップの周知拡大	訓練、ホームページを通じて、基礎的な活用をPR	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
8	・適切な土地利用の促進	・ハザードマップを活用した浸水想定区域等の周知	ハザードマップを活用した浸水想定区域等の周知	令和2年7月に対象地域(更新対象地のみ)へ配布済み。	ハザードマップを活用した浸水想定区域等の周知	令和2年7月に対象地域(更新対象地域のみ)配布し、窓口やHPにてハザードマップを提供。。	ハザードマップを活用した浸水想定区域等の周知	防災出前講座によるハザードマップの周知拡大	防災出前講座によるハザードマップの周知拡大 市窓口での案内資料配布	防災出前講座におけるハザードマップを活用した周知を継続	防災出前講座によるハザードマップの周知拡大 市窓口での案内資料配布	訓練、ホームページを通じて、基礎的な活用をPR	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
9	**・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進**	・マイ・タイムラインの作成促進	出前講座等によるマイ・タイムラインの作成促進	広報掲載や防災訓練実施、ケーブルテレビ放送時に作成の呼びかけを実施。	出前講座等によるマイ・タイムラインの作成促進	広報掲載やテレビ放送による作成の呼びかけを実施。	防災出前講座等によるマイ・タイムラインの作成促進	防災出前講座等によるマイ・タイムラインの周知	防災出前講座等によるマイ・タイムラインの作成促進	防災出前講座にて、ハザードマップと併せて周知を実施	防災出前講座等によるマイ・タイムラインの作成促進	防災出前講座にて、ハザードマップと併せて周知を実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
10	・災害リスクの現地表示	・まるごとまちごとハザードマップの作成、設置検討	まるごとまちごとハザードマップの作成、設置検討	作成や設置に関する情報の収集や設置場所の検討を実施した。	まるごとまちごとハザードマップの作成、設置検討	電柱表示看板設置場所の選定や作成費額の算出等を実施。	電柱表示看板を設置	市内４５カ所に浸水想定深表示看板の設置を完了	電柱等への表示看板の設置	来年度以降の追加設置箇所検討	電柱等への表示看板の設置	来年度以降の追加設置箇所検討	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	1：他と比べて低い	
11	**・広域避難体制の構築**	・広域避難に関する調整等の促進	広域避難に関する検討・調整	山梨県広域避難検討会への参加。	広域避難受入に関する検討・調整	山梨県・27市町村における広域避難等に関する協定書を締結。	広域避難受入に関する検討・調整	広域避難に向けたエリアの確認や地域の意向確認	広域避難に関する近隣自治体との協議、意見交換の実施	県の推進会議を通じ、近隣市と足並みを揃えて推進を検討	広域避難に関する近隣自治体との協議、意見交換の実施	・広域避難検討会へ参加 ・計画の見直しを実施。避難所の収容可能人数を見直し実施	▲	●	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
12	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・各施設の避難確保計画の作成及び避難訓練実施の促進	各施設の避難確保計画の作成及び避難訓練実施の促進	要配慮者利用施設への通知等による作成促進を行った。	各施設の避難確保計画の作成及び避難訓練実施の促進	各施設の避難確保計画の点検を行い、修正や検討を依頼。また、避難訓練実施の促進を実施。	各施設の避難確保計画の作成及び避難訓練実施の促進	各施設が作成した避難行動計画に基づく訓練実施依頼	避難行動計画の定期的な見直しと訓練実施への支援	既策定施設への定期的な見直しの必要性を周知	避難行動計画の定期的な見直しと訓練実施への支援	既策定施設への定期的な見直しの必要性を周知	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
◆防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等																							
13	・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断のための富士川水系情報提供システムの活用	－																					
14	・防災情報の充実や表現の工夫	・警戒レベルに関して住民へ周知 ・警戒レベルに合わせた避難情報の発表文案の確認	出前講座・市HP等を活用した警戒レベルの周知	HPや広報、防災訓練時等で、改訂された警戒レベルを周知した。	出前講座・市HP等を活用した警戒レベルの周知	広報誌、防災訓練時や講座時に警戒レベルの周知を実施。	出前講座・市HP等を活用した警戒レベルの周知	出前講座・地区自主防災組織の訓練にて警戒レベルを周知、広報	継続した出前講座・地区自主防災組織の訓練における警戒レベルの周知、広報	防災出前講座、自主防災組織指導者講習会にて、内容の周知を実施	継続した出前講座・地区自主防災組織の訓練における警戒レベルの周知、広報	防災出前講座、自主防災組織指導者講習会にて、内容の周知を実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
15	・防災・気象情報等の配信方法の充実	・HP上やメール配信による防災・気象情報の提供	HP上やメール配信による防災・気象情報の提供	HPを通じた情報発信。	SNSを利用した防災・気象情報の配信。	HPやメール配信にて情報を発信。	SNSを利用した防災・気象情報の配信。	防災アプリを使ったスマホ等への配信システムの導入	防災アプリの利用拡大に向けたPR	防災アプリの運用開始	防災アプリの利用拡大に向けたPR	防災アプリの運用継続	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
16	・観測体制の充実や予測技術の高度化	－																					
17	・洪水予測や河川水位の状況に関する解説	・住民にわかりやすく効果的に伝達できる周知内容(文案等)の検討・更新	周知内容の検討	新たな警戒レベルや避難情報の名称をHP掲載や庁舎入り口へポスター・チラシ設置、ケーブルテレビにて説明等行った。	周知内容の検討 水防協議会を通じて周知を行う	水防協議会にて河川水位状況等に関して説明をした。	周知内容の検討	ハザードマップを活用した実動訓練や出前講座における学習会の実施	デジタルコンテンツを活用した周知広報の実施	防災行政無線の電子音声による聞き取りやすい放送の実施 防災アプリ、SNS等による情報配信	デジタルコンテンツを活用した周知広報の実施	防災行政無線の電子音声による聞き取りやすい放送の実施 防災アプリ、SNS等による情報配信	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
18	・防災施設の機能に関する情報提供の充実	・堤防等の機能や避難の重要性について住民への説明会等の実施	説明会等の検討・実施	地元消防団へ堤防高不足による水害発生時の危険性を説明。	堤防等の施設能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性を周知	未実施。	指定避難所等の防災施設に関する情報を、住民に対して発信	指定避難所や避難行動要支援者対策で出前講座にて解説	避難行動要支援者対策を踏まえた福祉避難所等の周知	防災出前講座、自主防災組織指導者講習会にて、内容の周知を実施	避難行動要支援者対策を踏まえた福祉避難所等の周知	防災出前講座、自主防災組織指導者講習会にて、内容の周知を実施	▲	○	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
◆セミナー・防災教育・訓練、計画策定等																							
19	・緊急行動トップセミナーの開催	・トップセミナーへの参加検討	トップセミナーへの参加検討	感染症拡大防止の為、未実施。	トップセミナーへの参加	感染症拡大防止の為、未実施。	トップセミナーへの参加検討。	未実施	トップセミナーへの参加検討。	未実施	トップセミナーへの参加検討	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	2：どちらでもよい	
20	・防災教育の促進	・自主防災組織指導者講習会の実施 ・甲斐の国防災リーダー養成講座等への参加促進 ・各区出前講座における防災アドバイザーの派遣	自主防災組織指導者講習会の実施 甲斐の国防災リーダー養成講座等への参加促進	8月5日に自主防災組織指導者講習会を実施。 防災リーダー養成講座や峡東地域防災リーダー養成講座の開催通知を区長等へ送付した。	自主防災組織指導者講習会の実施 甲斐の国防災リーダー養成講座等への参加促進 出前講座による防災アドバイザーの派遣	7/11、12に自主防災組織指導者講習会を実施。また、甲斐の国防災リーダー養成講座等の案内通知を区長等へ送付。出前講座による防災アドバイザーを地域へ派遣。	自主防災組織指導者講習会の実施 甲斐の国防災リーダー養成講座等への参加促進 出前講座による防災アドバイザーの派遣	区長や市内事業所担当者を対象として、自主防災組織指導者講習会を開催 防災出前講座の実施	自主防災組織指導者講習会の開催 防災出前講座の実施	市内法人、各行政区役員向けの自主防災組織指導者講習会を開催、 また、市民からの公募による防災出前講座を各地域に出向いて実施	自主防災組織指導者講習会の開催 防災出前講座の実施	各行政区役員向けの自主防災組織指導者講習会を開催、 また、市民からの公募による防災出前講座を各地域に出向いて実施	●	●	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
21	**・災害の伝承**	・「自然災害伝承碑」の設置検討	過去の災害事例の整理・周知	自然災害伝承碑2カ所の特定。	過去の災害事例の整理・周知	自然災害伝承碑として2基登録し、広報誌やHP上で伝承碑の説明等を周知。	新たな自然災害伝承碑の設置検討	昨年度設置した２カ所の伝承碑を広報、周知	新たな自然災害伝承碑の設置に向けたバックデータの収集	新規、既存の自然災害伝承碑の設置情報の確認	新たな自然災害伝承碑の設置に向けたバックデータの収集	広報による過去の災害情報周知	▲	●	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
22	・共助の仕組みの強化	・住民参加型の避難訓練の実施・継続 ・関係機関と連携した水害からの要支援者避難行動の理解促進に向けた取組の実施	住民参加型の避難訓練の実施・継続	住民参加型の避難訓練の実施。	住民参加型の避難訓練の実施・継続	要支援者避難行動の理解促進に向けた説明会を実施。	住民参加型の避難訓練の実施・継続	実動訓練を通じた共助の確認を目的に自主防災組織と関係機関が連携した避難所開設運営訓練を実施	自主防災組織と関係機関が連携した避難所開設運営訓練の実施	指定避難所となっている小学校体育館を使用し、避難所開設・運営訓練を４日間に渡って実施	自主防災組織と関係機関が連携した避難所開設運営訓練の実施	指定避難所となっている小学校体育館を使用し、避難所開設・運営訓練を４日間に渡って実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
23	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	・機能維持確保のための対策を検討	機能維持確保のための対策を検討	地域防災計画において明記	機能維持確保のための対策を検討	地域防災計画において明記。	機能維持確保のための対策を検討	防災アプリの構築	防災アプリの利用拡大に向けた周知	防災アプリの利用拡大に向けた周知	防災アプリの利用拡大に向けた周知	防災アプリの利用拡大に向けた周知	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
24	・業務継続計画の策定	・必要に応じて見直しを実施	必要に応じて見直しを実施	平成30年5月に策定。	必要に応じて見直しを実施	平成30年5月に策定。	必要に応じて見直しを実施	既存計画の内容確認と課題抽出	業務継続計画（水害編）の策定検討	来年度見直しに向け情報確認	業務継続計画（水害編）の策定検討	見直しに向けた情報確認の実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
25	・総合的な土砂管理	－																					
水防：的確な水防活動のための取組																							
◆点検強化																							
26	・重要水防箇所の見直し	－																					
27	・防災計画に基づく水防資機材の配備	・水防計画に基づき、緊急用資機材の備蓄を行う ・各水防団へ毎年5月～7月に水防用消耗品の配備を行う	水防計画に基づき、緊急用資機材の備蓄を行う 各水防団へ毎年5月～7月に水防用消耗品の配備を行う	令和3年6月に配備。	水防計画に基づき、緊急用資機材の備蓄を行う 各水防団へ毎年5月～7月に水防用消耗品の配備を行う	令和4年6月に配備。	水防計画に基づき、緊急用資機材の備蓄を行う 各水防団へ毎年5月～7月に水防用消耗品の配備を行う	各自主防災組織・水防団からの要望に基づく関連物品を配付	水防資機材の追加配置に向けた要望のとりまとめと現状確認	各水防団への水防用消防品を配布（5～6月） 各自主防災組織に対し、防災資機材購入等の助成を実施	水防資機材の追加配置に向けた要望のとりまとめと現状確認	各水防団への水防用消防品を配布（5～6月） 各自主防災組織に対し、防災資機材購入等の助成を実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**山梨市**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：５年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目																							
○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）																							
No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実施時期					5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
		実施内容	予定	実績	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	R3	R4	R5	R6	R7			
28	・共同点検・合同巡視の実施	・甲府河川国道事務所・山梨県と共に重要水防箇所の合同巡視 ・1年ごとに各水防倉庫備品の点検・補充・更新	各水防倉庫備品の点検・補充・更新	県と地元消防団と危険箇所の合同巡回を実施。 必要物品について、5月に配備。 水防倉庫内資材数の確認を年度末に実施。	各水防倉庫備品の点検・補充・更新	県担当者と危険箇所の巡回を実施。 必要物品を6月に配備。 水防倉庫内資材数の確認を年度末に実施。	各水防倉庫備品の点検・補充・更新	各水倉庫備品の点検を実施	各水防倉庫備品の点検・補充・更新	各水防団による水防倉庫の点検を実施	各水防倉庫備品の点検・補充・更新	各水防団による水防倉庫の点検を実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
29	・関係機関が連携した実動水防訓練の実施	・水防訓練の実施・検討	水防訓練の実施・検討	感染拡大防止の為、未実施。	水防訓練の実施・検討	甲府河川国道事務所が開催する水防講習会への消防団員(水防団員)の参加	水防訓練の実施・検討	市水防団（消防団）と行政区自主防災組織が連携した実動訓練を実施	水防訓練の実施・拡大	関係機関と連携した水防訓練を実施	水防訓練の実施・拡大	関係機関（警察・消防）と連携した水防訓練を実施	○	●	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
◆体制確保																							
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	・災害時巡視システムの利用の検討	災害時巡視システムの利用の検討	山梨県総合情報システムを活用。	災害時巡視システムの利用の検討	・富士川水系情報提供システム、山梨県総合防災情報システムのシステムを活用。	災害時巡視システムの利用の検討	関係機関や団体における富士川水系情報提供システムや山梨県砂防課等が提供する情報システムを周知	災害時巡視システムの利用の検討	関係機関や団体における富士川水系情報提供システムや山梨県砂防課等が提供する情報システムを周知	災害時巡視システムの利用の検討	関係機関や団体における富士川水系情報提供システムや山梨県砂防課等が提供する情報システムを周知	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	2：どちらでもよい	
31	・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	・市の広報に消防団員の募集を掲載	広報に募集の掲載を行う 各消防団（水防団）で適齢期の住民の家を訪問し、勧誘を行う	広報誌にて消防団員募集記事掲載を行った。 訪問勧誘等の実施。	広報に募集の掲載を行う 各消防団（水防団）で適齢期の住民の家を訪問し、勧誘を行う	広報誌にて消防団員募集記事掲載を行った。 団員による訪問勧誘等も実施。	広報に募集の掲載を行う 各消防団（水防団）で適齢期の住民の家を訪問し、勧誘を行う	市水防団（消防団）への入団促進と各行事におけるPRと広報の実施	広報に募集の掲載を行う 各消防団（水防団）で適齢期の住民の家を訪問し、勧誘を行う	市水防団（消防団）への入団促進と各行事におけるPRと広報の実施	広報に募集の掲載を行う 各消防団（水防団）で適齢期の住民の家を訪問し、勧誘を行う	市水防団（消防団）への入団促進と各行事におけるPRと広報の実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
32	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	・水防協議会の開催、出水期における水防活動等について水防関係者間で確認	水防協議会の開催	5月24日に水防協議会を実施。	水防協議会の開催	5月24日に水防協議会を実施。	水防協議会の開催	５月に水防会議を実施し連携強化に向けた訓練実施を協議	水防協議会の開催、図上訓練の実施検討	５月に水防会議を実施し連携強化に向けた訓練実施を協議	水防協議会の開催、図上訓練の実施検討	５月に水防会議を実施し連携強化に向けた訓練実施を協議	●	●	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	1：他と比べて低い	
33	・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	・地域における防災リーダーの養成、活動の支援	甲斐の国防災リーダー養成講座等への参加促進	甲斐の国防災リーダー養成講座等への案内を積極的に行った。	甲斐の国防災リーダー養成講座等への参加促進	甲斐の国防災リーダー養成講座や出前講座、防災講習会等の案内を実施。	甲斐の国防災リーダー養成講座等への参加促進	県と共同実施している「甲斐の国防災リーダー養成講座」や市が実施する自主防災組織指導者講習への参加促進の実施	県と共同実施している「甲斐の国防災リーダー養成講座」や市が実施する自主防災組織指導者講習の開催	県と共同実施している「甲斐の国防災リーダー養成講座」や市が実施する自主防災組織指導者講習への参加促進の実施	県と共同実施している「甲斐の国防災リーダー養成講座」や市が実施する自主防災組織指導者講習の開催	県と共同実施している「甲斐の国防災リーダー養成講座」や市が実施する自主防災組織指導者講習への参加促進の実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減等に関する取組																							
◆実践強化																							
34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	－																					
35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	－																					
36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	－																					
◆機能保全																							
37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	－																					
38	・排水設備の機能保全	－																					
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																							
◆堤防及び諸施設の整備・機能確保等																							
39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	－																					
40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	－																					
41	・本川と支川の合流部等の対策	・重川・日川、笛吹川合流部等における水害リスクの確認・情報共有	重川・日川、笛吹川合流部等における水害リスクの確認・情報共有	ハザードマップによる重川・日川、笛吹川合流部等における水害リスクの可視化。	重川・日川、笛吹川合流部等における水害リスクの確認・情報共有	ハザードマップによる重川・日川、笛吹川合流部等における水害リスクの可視化。。 テレビ放映による水害リスクを周知した	重川・日川、笛吹川合流部等における水害リスクの確認・情報共有	合流地域住民によるハザードマップを活用した懇談会を開催し、水防意識の高揚を図った。	合流地域を中心とした住民意識に高揚に向けた座談会や訓練実施	防災出前講座におけるハザードマップを活用した周知と注意喚起を継続	合流地域を中心とした住民意識に高揚に向けた座談会や訓練実施	防災出前講座におけるハザードマップを活用した周知と注意喚起を継続。令和７年度更新。	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	・氾濫等による危険性が特に高い区間について関係機関とリスク情報の共有	氾濫等による危険性が特に高い区間について関係機関とリスク情報の共有	ハザードマップによる氾濫等の危険区間について、地域や関係機関とリスク情報を共有。	氾濫等による危険性が特に高い区間について関係機関とリスク情報の共有	ハザードマップによる氾濫等の危険区間について、地域や関係機関とリスク情報の共有。	氾濫等による危険性が特に高い区間について関係機関とリスク情報の共有	ハザードマップによる氾濫等の危険区間について、地域や関係機関とリスク情報の共有。	氾濫等による危険性が特に高い区間について関係機関とリスク情報の共有	ハザードマップによる氾濫等の危険区間について、地域や関係機関とリスク情報の共有	氾濫等による危険性が特に高い区間について関係機関とリスク情報の共有	ハザードマップによる氾濫等の危険区間について、地域や関係機関とリスク情報の共有	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	－																					
44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	－																					
45	・避難場所として活用できる堤防整備（宇坪地区、富士川地区）	－																					
46	・応急的な退避場所の確保	・応急的な避難場所の必要性・場所等の検討	応急的な避難場所の必要性・場所等の検討	未実施。	応急的な避難場所の必要性・場所等の検討	未実施。	応急的な避難場所の必要性・場所等の検討	避難行動の在り方。一時避難スペースの必要性確認と周知	応急的な避難場所の必要性・場所等の検討	避難行動の在り方。一時避難スペースの必要性確認と周知	応急的な避難場所の必要性・場所等の検討	応急的な避難場所の必要性・場所等の検討中	○	○	▲	▲	▲	☆	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	－																					
48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	・庁舎機能確保のための対策を検討する	庁舎機能確保のための対策を検討する	燃料式の非常用発電機の追加整備。	庁舎機能確保のための対策を検討する	非常用発電機の追加配備。	庁舎機能確保のための対策を検討する	関係課との意見交換、対象となるリソースを確認	庁舎機能確保のための対策を再検討し地域防災計画等に反映させる	庁舎改修に合わせ水害対策を講じた	庁舎機能確保のための対策を再検討し地域防災計画等に反映させる	庁舎改修に合わせ水害対策を講じた	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
◆情報伝達等に係る機器等の整備																							
49	・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	－																					

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

笛吹市

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標 実施内容	令和3年度 予定	令和3年度 実績	令和4年度 予定	令和4年度 実施	令和5年度 予定	令和5年度 実施	令和6年度 予定	令和6年度 実施	令和7年度 予定	令和7年度 実施	実施時期 R3	R4	R5	R6	R7	ALL	5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
避難：円滑かつ迅速な避難のための取組																					
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等																					
1	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及びタイムラインに基づく訓練の実施	・避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインに基づく訓練の実施 ・訓練や災害対応の検証をもとに、チェックリスト・タイムラインの見直し実施	・水害を想定した防災訓練の実施 ・訓練・災害対応の検証を反映した見直しの実施	・水害を想定した防災訓練は未実施 ・他部局と自治体タイムラインの見直しを実施	・水害を想定した防災訓練の実施 ・訓練・災害対応の検証を反映した見直しの実施	・水害を想定した防災訓練は未実施	・水害を想定した防災訓練を実施予定	・地域防災計画の改定に伴い、避難情報発令に着目した発令判断基準の確認を行う。 ・洪水対応演習時、ホットライン伝達訓練に参加	・防災行政無線同報系の機器の更新に伴い、発令判断支援システムを導入する。	・防災行政無線同報系の機器の更新に伴い、発令判断支援システムを導入した。	・水害を想定した防災訓練を実施する。	・水害を想定した防災訓練が実施できていない	▲	○	▲	▲	○	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
2	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	・多機関タイムライン検討会への参加を通して、避難情報発令判断基準等の見直し実施 ・災害対応検証等による、継続的な見直しの実施	・多機関タイムライン検討会への参加（実施された場合） ・災害対応の検証をもとにした、対象地域、判断基準等の見直し	・R3.10 富士川水害タイムライン（多機関連携型タイムライン）の勉強会に参加	・多機関タイムライン検討会への参加（実施された場合） ・災害対応の検証をもとにした、対象地域、判断基準等の見直し	・避難指示等に関する研修に参加し、災害の危険が迫っている中での初動対応や避難指示等の発令のタイミングについて学習した。	・引き続き研修等に参加する。 ・発令判断支援システムを導入予定	・地域防災計画の改定に伴い、避難情報発令に着目した発令判断基準の確認を行った。	・防災行政無線同報系の機器の更新に伴い、発令判断支援システムを導入する。	・防災行政無線同報系の機器の更新に伴い、発令判断支援システムを導入した。	・引き続き研修等に参加する。	・担当課内において、避難情報の発令基準、判断基準を確認した。	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
3	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	・ダム放流情報をもとにした避難情報発令判断基準の見直し	・ダム放流情報をもとにした避難情報発令判断基準の見直し	・本年度は、未実施	・ダム放流情報をもとにした避難情報発令判断基準の見直し	・本年度は未実施	・順次実施する。	・本年度は未実施	・ダム放流情報が既存の市の避難情報発令基準にどのように影響するかを確認する。		・ダム放流情報をもとにした避難情報発令判断基準の見直しを行う。	・甲府地方気象台、広瀬・芦川ダム管理事務所との洪水予報伝達演習に参加し、災害時の対応を確認した。	○	○	○	○	○	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
4	**・多機関連携型タイムラインの拡充**	・関係機関のタイムラインと連携した、チェックリスト・タイムラインの見直し実施 ・公共交通機関の対応を考慮した、帰宅困難者対策等の検討	・多機関タイムライン検討会への参加（実施された場合） ・関係機関との情報共有の実施	・R3.10 富士川水害タイムライン（多機関連携型タイムライン）の勉強会に参加	・多機関タイムライン検討会への参加（実施された場合） ・関係機関との情報共有の実施	・多機関タイムライン検討会が実施されなかった。	・多機関タイムライン検討会への参加（実施された場合） ・関係機関との情報共有の実施	・本年度は未実施	・多機関タイムライン検討会への参加（実施された場合） ・関係機関との情報共有の実施		・多機関タイムライン検討会への参加（実施された場合） ・関係機関との情報共有の実施	・甲府地方気象台、広瀬・芦川ダム管理事務所との洪水予報伝達演習に参加し、災害時の対応を確認した。	▲	▲	○	○	○	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
5	・洪水対応情報伝達演習の実施	・洪水対応情報伝達演習（訓練）の実施	・洪水対応情報伝達演習（訓練）の実施	・R3.9 防災訓練の際に情報伝達手段を確認	・洪水対応情報伝達演習（訓練）の実施	・9月の総合防災訓練で実施	・9月の総合防災訓練で実施予定	・9月の総合防災訓練において情報伝達訓練を実施	・防災行政無線移動系無線機の更新に伴い、操作研修を兼ねて情報伝達訓練を実施する。	・防災行政無線移動系無線機の更新を行った。 ・甲府地方気象台、広瀬・芦川ダム管理事務所との洪水予報伝達演習に参加し、災害時の対応を確認した。	・洪水対応情報伝達演習（訓練）に参加する。 ・笛吹市総合防災訓練において、移動系無線機による情報伝達訓練を実施する。	・甲府地方気象台、広瀬・芦川ダム管理事務所との洪水予報伝達演習に参加し、災害時の対応を確認した。 ・笛吹市総合防災訓練において、移動系無線機による情報伝達訓練を実施した。	●	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
6	・「避難判断基準等検討支援システム」の更新・活用	・避難情報発令の参考に活用 ・避難所データ等の更新	・避難情報発令の参考に活用 ・避難所データ等の更新	・本年度は、未実施	・避難情報発令の参考に活用 ・避難所データ等の更新	・発令判断支援システムの導入について、検討	・発令判断支援システムを導入予定	・発令判断支援システムの導入準備	・発令判断支援システムの導入予定	・防災行政無線同報系の機器の更新に伴い、発令判断支援システムを導入した。	・発令判断支援システムを運用する。	・発令判断支援システムを実際の警報配備体制の中で活用した。	○	▲	★	★	★	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
7	・ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供	・中小河川のデータを反映したハザードマップの作成 ・既成のハザードマップの周知 ・既成のハザードマップを活用した、行政区単位での地区防災計画の作成支援	・既成のハザードマップの周知 ・既成のハザードマップを活用した、行政区単位での地区防災計画の作成支援	・R2 ハザードマップ改訂版を周知 ・5行政区に地区防災計画策定支援	・既成のハザードマップの周知 ・既成のハザードマップを活用した、行政区単位での地区防災計画の作成支援	・4行政区を対象にワークショップを開催し、ハザードマップを活用した地区防災計画作成を支援した。	・引き続き行政区単位での地区防災計画作成を支援する。	・浸水想定区域の指定がある2行政区の地区防災計画の策定を支援した。	・引き続き行政区単位での地区防災計画作成を支援する。	・行政区単位での地区防災計画作成を支援する中で、ハザードマップを活用して、災害リスクの確認を行った。	・引き続き、行政区単位での地区防災計画作成を支援する中で、ハザードマップを活用して、災害リスクの確認を行う。	・行政区単位での地区防災計画作成を支援する中で、ハザードマップを活用して、災害リスクの確認を行った。	▲	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
8	・適切な土地利用の促進	・不動産業者等の開発業者へのハザードマップ提供	・不動産業者等の開発業者へのハザードマップ提供	・問い合わせがあった開発業者にハザードマップを提供	・不動産業者等の開発業者へのハザードマップ提供	・開発業者等から問い合わせがあった際に、ハザードマップを提供した。	・引き続き実施する。	・不動産業者等の開発業者からの電話でのハザードマップ確認への対応や、窓口でのハザードマップの提供を行った。	・引き続き実施する。	・不動産業者等の開発業者からの電話でのハザードマップ確認への対応や、窓口でのハザードマップの提供を行った。	・引き続き実施する。	・不動産業者等の開発業者からの電話でのハザードマップ確認への対応や、窓口でのハザードマップの提供を行った。	▲	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
9	**・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進**	・住民一人一人の避難計画（「わが家の災害時行動計画」）の作成支援 ・地区防災計画の作成支援	・住民一人一人の避難計画（「わが家の災害時行動計画」）の作成支援 ・地区防災計画の作成支援	・住民一人一人の避難計画（「わが家の災害時行動計画」）に着手 ・5行政区に地区防災計画策定支援	・住民一人一人の避難計画（「わが家の災害時行動計画」）の作成支援 ・地区防災計画の作成支援	・マイ・タイムライン（わが家の災害時行動計画）を全戸配布した。 ・4行政区を対象にワークショップを開催し、地区防災計画作成を支援した。	・総合防災訓練、出前学習会等でマイ・タイムラインの作成を周知する。 ・引き続き行政区単位での地区防災計画作成を支援する。	・総合防災訓練、出前学習会等でマイ・タイムラインの作成について周知した。 ・行政区による地区防災計画作成を支援し、浸水想定区域が指定されている2行政区において計画を作成した。	・総合防災訓練、出前学習会等でマイ・タイムラインの作成を周知する。 ・引き続き行政区単位での地区防災計画作成を支援する。	・出前学習会等でマイ・タイムラインの作成について周知した。 ・行政区による地区防災計画作成を支援し、28行政区において計画を作成した。	・総合防災訓練、出前学習会等でマイ・タイムラインの作成を周知する。 ・引き続き行政区単位での地区防災計画作成を支援する。	・総合防災訓練、出前学習会等でマイ・タイムラインの作成を周知した。 ・行政区単位での地区防災計画作成を支援した。	▲	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
10	・災害リスクの現地表示	・「まるごとまちごとハザードマップ」の検討	・「まるごとまちごとハザードマップ」の検討	未実施	・「まるごとまちごとハザードマップ」の検討	・先進事例を参考に検討した。	・引き続き先進事例等の情報を収集する。	・「まるごとまちごとハザードマップ」の実施について検討した。	・浸水想定区域内の60行政区を対象に浸水深さを明示する看板を設置する。	・浸水想定区域内の46行政区を対象に浸水深さを明示する看板を設置した。			○	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
11	**・広域避難体制の構築**	・山梨県の広域避難検討会への参加 ・笛吹市広域避難計画の作成	・山梨県の広域避難検討会への参加 ・笛吹市広域避難計画の作成に必要な資料等の収集及び計画検討	・広域避難検討会へ参加	・山梨県の広域避難検討会への参加 ・笛吹市広域避難計画の作成に必要な資料等の収集及び計画検討	・山梨県の広域避難検討会へ参加した。	・引き続き山梨県の広域避難検討会へ参加する。 ・笛吹市広域避難計画作成に必要な資料等を収集する。	・山梨県からの調査に際し、広域避難の受入れ方法や自市の避難方法について検討した。	・引き続き山梨県の広域避難検討会へ参加する。 ・笛吹市広域避難計画作成に必要な資料等を収集する。	・山梨県からの調査に際し、広域避難の受入れ方法や自市の避難方法について検討した。	・引き続き山梨県の広域避難検討会へ参加する。 ・笛吹市広域避難計画作成に必要な資料等を収集する。	・笛吹市広域避難計画作成に必要な資料等を収集するとともに、広域避難の受入れ方法や自市の避難方法について検討した。	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	完了：目標達成	
12	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・要配慮者利用施設への避難計画作成促進通知の送付及び作成支援 ・要配慮者利用施設の避難計画にもとづく訓練支援	・要配慮者利用施設への避難計画作成促進通知の送付 ・要配慮者利用施設への避難計画の作成及び訓練支援	・要配慮者利用施設へ避難確保計画作成の作成を周知	・要配慮者利用施設への避難計画作成促進通知の送付 ・要配慮者利用施設への避難計画の作成及び訓練支援	・要配慮者利用施設へ避難確保計画作成を依頼する通知を送付した。	・未作成の施設に対して、作成を支援する。	・新規に避難計画を作成した要配慮者利用施設に対して、計画内容についての助言を行った。	・未作成の施設に対して、作成を支援する。	・新規に避難計画を作成した要配慮者利用施設に対して、計画内容についての助言を行った。	・未作成の施設に対して、作成を支援する。	・新規に避難計画を作成した要配慮者利用施設に対して、計画内容についての助言を行った。	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
◆防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等																					
13	・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断のための富士川水系情報提供システムの活用	・災害対応時の避難判断材料として、富士川水系情報提供システムの活用 ・住民に対して、富士川水系情報提供システムの周知	・災害対応時の避難判断材料として、富士川水系情報提供システムの活用 ・住民に対して、富士川水系情報提供システムの周知	・災害対応時、富士川水系情報提供システムの活用済み ・富士川水系情報提供システムのリンクを市HPに掲載し、周知している	・災害対応時の避難判断材料として、富士川水系情報提供システムの活用 ・住民に対して、富士川水系情報提供システムの周知	・災害対応時、富士川水系情報提供システムを活用した。 ・富士川水系情報提供システムのリンクを市HPに掲載し、周知している。	・引き続き実施する。	・大雨警報発表に伴う警報配備の再、避難判断材料として、富士川水系情報提供システムを用いて情報の確認を行った。	・引き続き実施する。	・大雨警報発表に伴う警報配備の際、避難判断材料として、富士川水系情報提供システムを用いて情報の確認を行った。	・引き続き実施する。	・大雨警報発表に伴う警報配備の際、避難判断材料として、富士川水系情報提供システムを用いて情報の確認を行った。	▲	●	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
14	・防災情報の充実や表現の工夫	–																			
15	・防災・気象情報等の配信方法の充実	・防災行政無線、防災無線メール、各種SNSの市公式アカウント、Yahoo!防災アプリ等の各種配信方法を活用 ・新たな情報発信方法について、調査検討の実施	・防災行政無線、防災無線メール、各種SNSの市公式アカウント、Yahoo!防災アプリ等の各種配信方法を活用 ・新たな情報発信方法について、調査検討の実施	・防災行政無線、防災無線メール、LINE、twitter、Yahoo!防災アプリを活用し、災害情報を周知している ・新たな情報配信方法について、防災アプリや発令判断一斉配信システムの導入を検討	・防災行政無線、防災無線メール、各種SNSの市公式アカウント、Yahoo!防災アプリ等の各種配信方法を活用 ・新たな情報発信方法について、調査検討の実施	・防災行政無線、防災無線メール、LINE、twitter、Yahoo!防災アプリを活用し、災害情報を周知した。 ・新たな情報配信方法として、防災アプリや発令判断支援システムの導入を検討した。	・引き続き災害情報を周知するとともに、防災アプリと発令判断システムを導入する。	・防災アプリと発令判断システムを導入する。 ・引き続き災害情報を周知する。	・防災行政無線同報系の一部機器の更新と発令判断システムの導入、防災アプリの導入及び防災行政無線移動系の機器入替えの事業を完了した。	・防災アプリと発令判断システムを導入する。 ・引き続き災害情報を周知する。	・防災行政無線同報系の一部機器の更新と発令判断システムの導入、防災アプリの導入及び防災行政無線移動系の機器入替えの事業を完了した。	・引き続き実施する。	・防災行政無線、防災無線メール、各種SNSの市公式アカウント、Yahoo!防災アプリ等の各種配信方法を活用する。 ・笛吹市防災アプリと発令判断システムを活用する。 ・衛星を使用したインターネット回線の導入について検討する。	▲	▲	▲	▲	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
16	・観測体制の充実や予測技術の高度化	・災害対応時、水位計や気象予報などの情報を、的確に収集・分析できる体制の整備 ・市設置の雨量計等の保守管理	・災害対応時、水位計や気象予報などの情報を、的確に収集・分析できる体制の整備 ・市設置の雨量計等の保守管理	・災害対応時、水位計や気象予報などの情報を、的確に収集・分析できるように、庁内で研修を実施 ・市設置の雨量計等の保守管理を実施	・災害対応時、水位計や気象予報などの情報を、的確に収集・分析できる体制の整備 ・市設置の雨量計等の保守管理	・市設置の雨量計等の保守管理を実施した。	・庁内で研修を実施する。 ・引き続き雨量計等の保守管理を実施する。	・庁内で研修を実施する。 ・引き続き雨量計等の保守管理を実施した。 ・雨量計等の保守管理を実施した。	・引き続き実施する。	・警報配備の際に、水位計や気象予報などの情報を収集・分析できる体制をとり、予測技術の向上に努めた。 ・雨量計等の保守管理を実施した。	・引き続き実施する。	・警報配備の際に、水位計や気象予報などの情報を収集・分析できる体制をとり、予測技術の向上に努めた。 ・雨量計等の保守管理を実施した。	▲	▲	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
17	・洪水予測や河川水位の状況に関する解説	・住民に向け、洪水予測や河川水位情報の収集方法を周知 ・住民に対して、河川水位情報等の読み方を解説	・HP等で、関係機関が配信する河川水位情報等のページリンクを作成	・市HPに関係機関のページリンクを掲載。	・HP等で、関係機関が配信する河川水位情報等のページリンクを作成	・市HPに関係機関のページリンクを掲載している。	・引き続き実施する。	・本年度は未実施	・住民に向け、洪水予測や河川水位情報の収集方法を周知	・本年度は未実施	・住民に向け、洪水予測や河川水位情報の収集方法を周知	・出前学習会において市民に向け、洪水予測や河川水位情報の収集方法を周知した。	▲	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
18	・防災施設の機能に関する情報提供の充実	・指定避難所等の防災施設に関する情報を、住民に対して発信 ・ダム等の防災施設について、その機能や能力を超過した際に発生する災害について、住民向けに発信	・指定避難所等の防災施設に関する情報を、住民に対して発信 ・ダム等の防災施設について、その機能や能力を超過した際に発生する災害について、住民向けに発信	・広報やホームページに掲載し、住民に周知 ・ハザードマップを使用し、住民に周知	・指定避難所等の防災施設に関する情報を、住民に対して発信 ・ダム等の防災施設について、その機能や能力を超過した際に発生する災害について、住民向けに発信	・広報やホームページに掲載し、住民に周知した。 ・ハザードマップを使用し、住民に周知した。	・引き続き実施する。	・年度初めに、災害種別ごとに、各行政区が避難する指定避難所の一覧表を市の広報紙に掲載し、市民に周知した。	・引き続き実施する。 ・ダムにおいて、能力を超過した際に本市に及ぼす影響と、発生する災害の内容について承知していないため、その内容を確認する。	・年度初めに、災害種別ごとに、各行政区が避難する指定避難所の一覧表を市の広報紙に掲載し、市民に周知した。	・引き続き実施する。 ・ダムにおいて、能力を超過した際に本市に及ぼす影響と、発生する災害の内容について承知していないため、その内容を確認する。	・年度初めに、災害種別ごとに、各行政区が避難する指定避難所の一覧表を市の広報紙に掲載し、市民に周知した。	▲	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
◆セミナー・防災教育・訓練、計画策定等																					
19	・緊急行動トップセミナーの開催	・トップセミナーへの市長参加	・トップセミナーへの市長参加	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、未実施	・トップセミナーへの市長参加	・自治体衛星通信機構（LASCOM）による録画放送を視聴した。	・トップセミナーへ参加予定	・本年度は未実施	・トップセミナーへ参加予定	・本年度は未実施	・トップセミナーへ参加予定	・本年度は未実施	○	●	○	○	○	★	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
20	・防災教育の促進	・防災リーダーの養成 ・小中学生を対象とした防災教育への協力 ・出前講座の実施	・防災リーダーの養成 ・小中学生を対象とした防災教育への協力 ・出前講座の実施	・防災リーダー養成講座を実施。 ・小学校や高校等において、出前講座を実施。	・防災リーダーの養成 ・小中学生を対象とした防災教育への協力 ・出前講座の実施	・峡東地域防災リーダー養成講座を実施した。 ・出前講座を実施した。	・峡東地域防災リーダー養成講座を実施する。 ・出前講座を実施する。	・峡東地域防災リーダー養成講座を実施した。 ・県が開催した「甲斐の国防災リーダー養成講座」への参加者を推薦し、受講料を補助した。 ・出前講座を実施した。	・峡東地域防災リーダー養成講座を実施する ・県が開催した「甲斐の国防災リーダー養成講座」への参加者を推薦し、受講料を補助した。 ・出前講座を実施する。	・峡東地域防災リーダー養成講座を実施した。 ・県が開催した「甲斐の国防災リーダー養成講座」への参加者を推薦し、受講料を補助した。 ・出前講座を実施した。	・峡東地域防災リーダー養成講座を実施する ・県が開催した「甲斐の国防災リーダー養成講座」への参加者を推薦し、受講料を補助する。 ・出前講座を実施する。	・峡東地域防災リーダー養成講座を実施した。 ・県が開催した「甲斐の国防災リーダー養成講座」への参加者を推薦し、受講料を補助した。 ・出前講座を実施した。	▲	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
21	**・災害の伝承**	・市内の災害伝承碑の調査 ・国土地理院への登録	・市内の災害伝承碑の調査 ・国土地理院への登録検討	・調査を実施済み ・登録を検討	・市内の災害伝承碑の調査 ・国土地理院への登録検討	・市内の災害伝承碑を調査し、国土地理院へ登録した。		・市内の災害電消費について、国土地理院に登録した。	・新規に把握できたものがあれば登録する。		・新規に把握できたものがあれば登録する。	・地区防災計画の作成過程において、地域住民と地区の災害履歴について、市の風水害誌を基に確認を行った。	▲	★	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	2：どちらでもよい	
22	・共助の仕組みの強化	・自主防災組織の活動支援 ・防災リーダーの育成 ・地区防災計画の作成 ・防災訓練への住民参加の促進	・自主防災組織活動支援の補助金交付 ・「甲斐の国・防災リーダー養成講座」への住民推薦 ・地区防災計画の作成支援	・行政区に自主防災組織活動支援の補助金を交付 ・「甲斐の国・防災リーダー養成講座」への住民推薦を実施 ・5行政区に地区防災計画策定支援	・自主防災組織活動支援の補助金交付 ・「甲斐の国・防災リーダー養成講座」への住民推薦 ・地区防災計画の作成支援	・行政区に自主防災組織活動支援の補助金を交付した。 ・「甲斐の国・防災リーダー養成講座」への住民推薦を実施した。 ・4行政区を対象に、地区防災計画の作成を支援した。	・引き続き実施する。	・自主防災組織が活動に使用する備品や備蓄品等の購入に際し、補助金を交付した。 ・甲斐の国防災リーダー用紙口座への受講生の推薦、峡東地域防災リーダー養成講座を開催し、防災リーダーの養成を推進した。 ・浸水想定区域の指定がある2行政区の地区防災計画の策定を支援した。 ・市総合防災訓練を開催するに当たり、各地区区長会等において訓練説明を行い、区を通じて、防災訓練への市民の参加を促した。	・引き続き実施する。	・自主防災組織が活動に使用する備品や備蓄品等の購入に際し、補助金を交付した。 ・甲斐の国防災リーダー用紙口座への受講生の推薦、峡東地域防災リーダー養成講座を開催し、防災リーダーの養成を推進した。 ・浸水想定区域の指定がある28行政区の地区防災計画の策定を支援した。 ・市総合防災訓練を開催するに当たり、各地区区長会等において訓練説明を行い、区を通じて、防災訓練への市民の参加を促した。	・引き続き実施する。	・自主防災組織が活動に使用する備品や備蓄品等の購入に際し、補助金を交付した。 ・甲斐の国防災リーダー用紙口座への受講生の推薦、峡東地域防災リーダー養成講座を開催し、防災リーダーの養成を推進した。 ・浸水想定区域の指定がある18行政区の地区防災計画の策定を支援した。 ・市総合防災訓練を開催するに当たり、各地区区長会等において訓練説明を行い、区を通じて、防災訓練への市民の参加を促した。	▲	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

笛吹市

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目																							
○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）																							
No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実施時期					5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
		実施内容	予定	実績	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	R3	R4	R5	R6	R7			
23	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	・市庁舎間の情報伝達体制の整備及び訓練の実施 ・地域拠点病院や公共交通機関との情報伝達体制構築の検討	・市庁舎間の情報伝達体制の整備及び訓練の実施 ・地域拠点病院や公共交通機関との情報伝達体制構築の検討	・防災訓練の際に、情報伝達経路を確認 ・地域拠点病院については、EMISを活用し、情報伝達訓練を実施	・市庁舎間の情報伝達体制の整備及び訓練の実施 ・地域拠点病院や公共交通機関との情報伝達体制構築の検討	・総合防災訓練の際に、情報伝達体制を確認する。 ・地域拠点病院との情報伝達訓練は未実施	・総合防災訓練の際に、情報伝達体制を確認する。 ・地域拠点病院とEMISを活用した情報伝達訓練を実施する。	・総合防災訓練の際に、情報伝達体制の確認を行った。	・防災行育無線移動系の機器を更新し、情報伝達機能の強化を図る。	・防災行政無線移動系の機器を更新し、情報伝達機能の強化を図った。	・総合防災訓練の際に、市庁舎間の情報伝達体制を確認する。	・総合防災訓練の際に、防災行政無線移動系の機器を使用し、市庁舎間の情報伝達体制を確認した。	▲	▲	▲	▲	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
24	・業務継続計画の策定	・既存BCPの随時見直しの実施 ・災害種別のBCPの作成	・既存BCPの随時見直しの実施 ・災害種別のBCPの作成	・BCPの随時見直しを実施	・既存BCPの随時見直しの実施 ・災害種別のBCPの作成	・既存BCPの見直しに着手した。	・地震災害及び水害発生時のBCPの見直しを実施する。	・災害発生時のＢＣＰの見直し作業中	・ＢＣＰを完成させる。	・ＢＣＰを見直しを行った。	・ＢＣＰの修正があれば見直しを行う。	・令和7年3月末にＢＣＰの見直しを行い、本年度は修正がなかった。	▲	▲	▲	▲	○	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
25	・総合的な土砂管理	－																					
水防：的確な水防活動のための取組																							
◆点検強化																							
26	・重要水防箇所の見直し	－																					
27	・防災計画に基づく水防資機材の配備	・水防計画の改定 ・計画に基づく水防資機材の購入、配備の実施	・水防計画の改定 ・計画に基づく水防資機材の購入、配備の実施	・本年度は、未実施	・水防計画の改定 ・計画に基づく水防資機材の購入、配備の実施	・水防計画の改訂に着手した。	・水防計画を改定予定	水防計画の改定作業中	・水防計画を完成させる。	・水防計画の見直しを行った。	・水防計画の修正があれば見直しを行う。	・令和7年3月末に水防計画の見直しを行い、本年度は修正がなかった。	▲	▲	▲	▲	○	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
28	・共同点検・合同巡視の実施	・甲府河川国道事務所及び県との、重要水防箇所巡視の実施 ・市水防団との重要水防箇所及び危険個所の巡視の実施	・甲府河川国道事務所及び県との、重要水防箇所巡視の実施 ・市水防団との重要水防箇所及び危険個所の巡視の実施	・本年度は、未実施	・甲府河川国道事務所及び県との、重要水防箇所巡視の実施 ・市水防団との重要水防箇所及び危険個所の巡視の実施	・甲府河川国道事務所及び県と、市内の危険個所パトロールを実施した。	・引き続き実施する。	・県との、水防箇所巡視の実施	・引き続き実施する。	・本年度は未実施	・引き続き実施する。	・県との重要水防箇所巡視を実施した。	○	▲	▲	▲	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
29	・関係機関が連携した実動水防訓練の実施	・関係機関と連携した水防訓練の実施 ・浸水想定区域の住民が参加する水防訓練の実施	・関係機関と連携した水防訓練の実施 ・浸水想定区域の住民が参加する水防訓練の実施	・本年度は、未実施	・関係機関と連携した水防訓練の実施 ・浸水想定区域の住民が参加する水防訓練の実施	・本年度は未実施	・関係機関と連携した水防訓練を実施予定	・本年度は未実施	・水防団と連携して水防訓練を実施する。 ・洪水対応演習のホットラインに参加する。	・甲府地方気象台、広瀬・琴川ダム管理事務所との洪水予報伝達演習に参加し、災害時の対応を確認した。	・水防団と連携して水防訓練を実施する。 ・洪水対応演習に参加する。	・甲府地方気象台、広瀬・琴川ダム管理事務所との洪水予報伝達演習に参加し、災害時の対応を確認した。 ・水防団と連携して水防訓練を実施した。	○	○	○	○	○	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
◆体制確保																							
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	・富士川水系情報提供システム、山梨県総合防災情報システムのシステム研修の実施	・富士川水系情報提供システム、山梨県総合防災情報システムのシステム研修の実施	・庁内において、操作研修を実施	・富士川水系情報提供システム、山梨県総合防災情報システムのシステム研修の実施	・本年度は未実施	・庁内でのシステム研修を実施予定	・本年度は未実施	・庁内でのシステム研修を実施予定 ・警報配備の際に、担当職員への入力説明を実施する。	山梨県総合防災情報システムのシステム研修の実施した。	・庁内でのシステム研修を実施予定 ・警報配備の際に、担当職員への入力説明を実施する。	・庁内でのシステム研修を実施した。 ・警報配備の際に、担当職員への入力説明を実施した。	▲	○	○	○	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
31	・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	・消防団員（水防団員）サポート事業の拡充 ・団員確保策の検討	・消防団員（水防団員）サポート事業の拡充 ・団員確保策の検討	・消防団員（水防団員）サポート事業の拡充 ・団員確保策の検討	・消防団員（水防団員）サポート事業の拡充 ・団員確保策の検討	・消防団員（水防団員）の処遇改善を検討 ・消防団員（水防団員）サポート事業の拡充	・消防団員（水防団員）の処遇改善を実施する。	・消防団員（水防団員）の処遇改善を実施した。	・引き続き実施する。	・消防団員（水防団員）の処遇改善を実施した。	・引き続き実施する。	・消防団員（水防団員）の処遇改善を実施した。	▲	▲	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
32	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	・甲府河川国道事務所及び県との連携確認の実施 ・水防団との連携強化のための訓練実施	・甲府河川国道事務所及び県との連携確認の実施 ・水防団との連携強化のための訓練実施	・関係機関とホットライン等の確認を実施 ・消防団排水機隊を中心とした訓練を実施	・甲府河川国道事務所及び県との連携確認の実施 ・水防団との連携強化のための訓練実施	・関係機関とホットライン等の確認を実施した。 ・消防団排水機隊を中心とした訓練を実施した。	・引き続き実施する。	・甲府河川国道事務所及び県との連携確認の実施	・引き続き実施する。	・県との連携確認の実施 ・水防団との連携強化のための訓練実施	・引き続き実施する。	・県との連携確認の実施 ・水防団との連携強化のための訓練実施	▲	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
33	・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	・「甲斐の国・防災リーダー養成講座」への住民推薦の実施 ・水防活動の啓発、講習会の実施	・「甲斐の国・防災リーダー養成講座」への住民推薦の実施 ・水防活動の啓発、講習会の実施	・「甲斐の国・防災リーダー養成講座」への住民推薦の実施 ・水防活動の啓発、講習会の実施	・「甲斐の国・防災リーダー養成講座」への住民推薦の実施 ・水防活動の啓発、講習会の実施	・「甲斐の国・防災リーダー養成講座」へ住民推薦を実施した。 ・出前講座を通じて、水防活動の啓発を行った。	・引き続き実施する。	・「甲斐の国・防災リーダー養成講座」への住民推薦の実施	・引き続き実施する。	・「甲斐の国・防災リーダー養成講座」への住民推薦の実施	・引き続き実施する。	・「甲斐の国・防災リーダー養成講座」への住民推薦の実施	▲	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減等に関する取組																							
◆実践強化																							
34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	・排水機場の排水ポンプ操作訓練の実施	・排水機場の排水ポンプ操作訓練の実施	・水防団による訓練を実施	・排水機場の排水ポンプ操作訓練の実施	・消防団排水機隊による訓練を実施した。	・引き続き実施する。	・排水機場の排水ポンプ操作訓練の実施	・引き続き実施する。	・排水機場の排水ポンプ操作訓練の実施	・引き続き実施する。	・排水機場の排水ポンプ操作訓練の実施	●	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	・排水機場等排水施設の運用方法の検討	・排水機場等排水施設の運用方法の検討	・排水機場等排水施設の運用方法の検討	・排水機場等排水施設の運用方法の検討	・本年度は未実施	・消防団排水機隊と運用方法について検討する。	・本年度は未実施	・消防団排水機隊と運用方法について検討する。	・本年度は未実施	・消防団排水機隊と運用方法について検討する。	・本年度は未実施	▲	○	○	○	○		レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	・操作講習会が実施された際に参加	・操作講習会が実施された際に参加	・操作講習会が実施された際に参加	・操作講習会が実施された際に参加	・本年度は未実施	・操作講習会が実施された際に参加する。	・本年度は未実施	・操作講習会が実施された際に参加	・本年度は未実施	・操作講習会が実施された際に参加	・本年度は未実施	▲	○	○	○	○	○	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
◆機能保全																							
37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	－																					
38	・排水設備の機能保全	・市庁舎の電気設備の、高所移設	・市庁舎の電気設備の、高所移設	・庁舎非常用発電機の浸水対策を実施	・市庁舎の電気設備の、高所移設		…	・令和3年度に庁舎本館、市民窓口館、保健福祉館の非常用発電装置を高所に移設済み	―				★	★	★	★	★	☆	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																							
◆堤防及び諸施設の整備・機能確保等																							
39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	－																					
40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	－																					
41	・本川と支川の合流部等の対策	－																					
42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	－																					
43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	－																					
44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	－																					
45	・避難場所として活用できる堤防整備（宇坪地区、富士川地区）	－																					
46	・応急的な退避場所の確保	・新規道路への緊急避難場所設置の検討	・新規道路への緊急避難場所設置の検討	・新規道路への緊急避難場所設置の検討	・新規道路への緊急避難場所設置の検討	・新規道路への緊急避難場所設置を検討した。	・引き続き実施する。	・本年度は未実施	・引き続き実施する。	・本年度は未実施	・引き続き実施する。	・本年度は未実施	▲	▲	○	○	○	☆	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	－																					
48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	・市庁舎の電気設備の、高所移設	・市庁舎の電気設備の、高所移設	・庁舎非常用発電機の浸水対策を実施	・市庁舎の電気設備の、高所移設			・令和3年度に庁舎本館、市民窓口館、保健福祉館の非常用発電装置を高所に移設済み	―				★	★	★	★	★	☆	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
◆情報伝達等に係る機器等の整備																							
49	・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	－																					

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**甲府市**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**甲府市**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：５年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

身延町

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：５年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標 実施内容	令和3年度 予定	令和3年度 実績	令和4年度 予定	令和4年度 実績	令和5年度 予定	令和5年度 実績	令和6年度 予定	令和6年度 実績	令和7年度 予定	令和7年度 実績	実施時期 R3	R4	R5	R6	R7	ALL	5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
避難：円滑かつ迅速な避難のための取組																					
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等																					
1	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及びタイムラインに基づく訓練の実施	タイムライン及びチェックリストの見直し及び訓練の実施	タイムライン及びチェックリストの見直し及び訓練の実施	災害対策本部設置訓練実施のため計画したが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	訓練をとおして改善点を修正し、より活用できるものとする	災害対策本部設置訓練実施のため計画したが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	訓練をとおして改善点を修正し、より活用できるものとする	１０月に災害対策本部設置訓練を実施。 チェックリストの見直しを行った。	訓練をとおして改善点を修正し、より活用できるものとする	１１月に災害対策本部設置訓練を実施。	訓練をとおして改善点を修正し、より活用できるものとする	未実施	▲	○	▲	▲	○	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
2	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	出水を踏まえた避難指示等発令の対象区域、判断基準の確認	避難情報の発令等に関する研修会に参加	自主防災組織を対象に説明会を実施する	自治会向けの研修会のなかで説明	自主防災組織を対象に説明会を実施する	自治会向けの研修会のなかで説明	自主防災組織を対象に説明会を実施する	自治会向けの研修会のなかで説明	自主防災組織を対象に説明会を実施する	自治会向けの研修会のなかで説明	●	●	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
3	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	ダムの放流情報をもとにした避難情報の伝達	ダムの貯水容量や放流状況等、活用できる情報の把握	該当する災害はなかったが、平時の放流において防災行政無線を使用し住民へ周知	該当する災害があった場合には速やかに住民へ周知できるよう情報連絡体制を構築する	平時の放流においては防災行政無線を使用し住民へ周知している	該当する災害があった場合には速やかに住民へ周知できるよう情報連絡体制を構築する	平時の放流においては防災行政無線を使用し住民へ周知している	該当する災害があった場合には速やかに住民へ周知できるよう情報連絡体制を構築する	平時の放流においては防災行政無線を使用し住民へ周知している	該当する災害があった場合には速やかに住民へ周知できるよう情報連絡体制を構築する	平時の放流においては防災行政無線を使用し住民へ周知している	○	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
4	**・多機関連携型タイムラインの拡充**	多機関連携タイムラインの勉強会に参加し、各関係機関を考慮する中タイムラインを見直す	水害リスクを踏まえた身延町の課題を把握	多機関連携タイムラインの勉強会に参加	水害リスクを踏まえた課題を把握	未実施	水害リスクを踏まえた課題を把握	未実施	水害リスクを踏まえた課題を把握	未実施	水害リスクを踏まえた課題を把握	未実施	▲	○	○	○	○	★	レベル1：課題を把握	2：どちらでもよい	
5	・洪水対応情報伝達演習の実施	洪水対応情報伝達演習の実施	洪水対応情報伝達演習の実施	整備している情報伝達手段で、操作・伝達訓練を実施	洪水対応情報伝達演習の実施	整備している情報伝達手段で、操作・伝達訓練を実施	洪水対応情報伝達演習の実施	整備している情報伝達手段で、操作・伝達訓練を実施	洪水対応情報伝達演習の実施	整備している情報伝達手段で、操作・伝達訓練を実施	洪水対応情報伝達演習の実施	整備している情報伝達手段で、操作・伝達訓練を実施	●	●	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
~~6~~	・「避難判断基準等検討支援システム」の更新・活用	避難判断基準等検討支援システムの周知及びシステムを活用した避難基準の再検討	避難判断基準等検討支援システムの周知及びシステムを活用した避難基準の再検討	浸水区域や警戒すべきエリアの把握、避難先や避難経路の確認	避難判断基準等検討支援システムの周知及びシステムを活用した避難基準の再検討	浸水区域や警戒すべきエリアの把握、避難先や避難経路の確認	避難判断基準等検討支援システムの周知及びシステムを活用した避難基準の再検討	浸水区域や警戒すべきエリアの把握、避難先や避難経路の確認	避難判断基準等検討支援システムの周知及びシステムを活用した避難基準の再検討	浸水区域や警戒すべきエリアの把握、避難先や避難経路の確認	避難判断基準等検討支援システムの周知及びシステムを活用した避難基準の再検討	浸水区域や警戒すべきエリアの把握、避難先や避難経路の確認	▲	▲	★	★	★	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
7	・ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供	ハザードマップポータルサイトの活用及び住民への周知	ハザードマップポータルサイトの活用と周知	ハザードマップポータルサイトを活用し危険箇所等を把握	ハザードマップポータルサイトを住民へ周知	ハザードマップポータルサイトを活用し危険箇所等を把握	ハザードマップポータルサイトを住民へ周知	ハザードマップポータルサイトを活用し危険箇所等を把握	ハザードマップポータルサイトを住民へ周知	ハザードマップポータルサイトを活用し危険箇所等を把握	ハザードマップポータルサイトを住民へ周知	ハザードマップポータルサイトを活用し危険箇所等を把握	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
8	・適切な土地利用の促進	不動産業者に対しハザードマップを配布	問い合わせがあった不動産業者にハザードマップを配布	問い合わせがあった不動産業者等にハザードマップを配布	問い合わせがあった不動産業者等にハザードマップを配布	問い合わせがあった不動産業者等にハザードマップを配布	問い合わせがあった不動産業者等にハザードマップを配布	問い合わせがあった不動産業者等にハザードマップを配布	問い合わせがあった不動産業者等にハザードマップを配布	問い合わせがあった不動産業者等にハザードマップを配布	問い合わせがあった不動産業者等にハザードマップを配布	問い合わせがあった不動産業者等にハザードマップを配布	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
9	**・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進**	マイハザードマップ及びマイタイムラインの作成の手引きの周知及び作成支援ツールの普及	作成支援ツールを用いたマイタイムライン作成講習会の試行	未実施	作成支援ツールを用いたマイタイムライン作成支援	未実施	作成支援ツールを用いたマイタイムライン作成支援	未実施	作成支援ツールを用いたマイタイムライン作成支援	未実施	作成支援ツールを用いたマイタイムライン作成支援	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
10	・災害リスクの現地表示	—																			
11	**・広域避難体制の構築**	近隣自治体や民間企業などとの災害協定の締結 広域避難に関して地域防災計画の定期的な見直し	広域避難に関する研修会に参加し広域避難計画の作成を検討	広域避難に関する研修会に参加	広域避難に関する研修会に参加し広域避難計画の作成を検討	広域避難に関する研修会に参加	広域避難に関する研修会に参加し広域避難計画の作成を検討	広域避難に関する研修会に参加	広域避難に関する研修会に参加し広域避難計画の作成を検討	広域避難に関する研修会に参加	広域避難に関する研修会に参加し広域避難計画の作成を検討	広域避難に関する研修会に参加	●	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
12	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成促進及び訓練実施の支援	避難確保計画未提出施設を対象とした説明会の実施	避難確保計画の作成及び訓練実施の促進	避難確保計画に基づいて訓練実施の確認	避難確保計画の作成及び訓練実施の促進	避難確保計画に基づいて訓練実施の確認	避難確保計画の作成及び訓練実施の促進	避難確保計画に基づいて訓練実施の確認	避難確保計画の作成及び訓練実施の促進	避難確保計画に基づいて訓練実施の確認	避難確保計画の作成及び訓練実施の促進	●	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
◆防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等																					
13	・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断のための富士川水系情報提供システムの活用	災害情報が一元的に入手できる情報集約サイトとして富士川水系情報提供システムの周知	町ホームページに富士川水系情報提供システムのリンクを追加	富士川水系情報提供システムのリンクを町ホームページに追加		富士川水系情報提供システムのリンクを町ホームページに追加済	—	—	—	—	—	—	●	★	★	★	★	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
14	・防災情報の充実や表現の工夫	—																			
15	・防災・気象情報等の配信方法の充実	緊急速報メールによる洪水情報の提供 ＳＮＳを利用した防災・気象情報の配信	エリアメールのテスト配信の実施 ＳＮＳを利用した防災・気象情報の配信を検討	Yahoo!防災速報を活用して防災・気象情報を配信	エリアメールのテスト配信を検討	Yahoo!防災速報を活用して防災・気象情報を配信しているが、エリアメールのテスト配信は未実施	エリアメールのテスト配信を検討	Yahoo!防災速報を活用して防災・気象情報を配信しているが、エリアメールのテスト配信は未実施	エリアメールのテスト配信を検討	今年度、防災・行政アプリを整備し7年度から配信。情報伝達手段の多重化を図った。	防災・行政アプリの普及促進。	防災・行政アプリの運用を開始し、普及促進を図った。	○	○	○	○	●	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
16	・観測体制の充実や予測技術の高度化	—																			
17	・洪水予測や河川水位の状況に関する解説	住民へ水害の切迫性が効果的に伝わるように解説を行う	住民に避難情報と共に水害の切迫性が効果的に伝わるようホームページ等で主要河川の水位情報を提供する	主要河川の水位情報のリンクを町ホームページに追加	住民へ水害の切迫性がより効果的に伝わる方法を検討	主要河川の水位情報のリンクを町ホームページに追加済	住民へ水害の切迫性がより効果的に伝わる方法を検討	主要河川の水位情報のリンクを町ホームページに追加済	住民へ水害の切迫性がより効果的に伝わる方法を検討	主要河川の水位情報のリンクを町ホームページに追加済。アプリにも入れていく。	住民へ水害の切迫性がより効果的に伝わる方法を検討	主要河川の水位情報のリンクを町ホームページ、防災・行政アプリに追加済。	○	▲	▲	▲	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
18	・防災施設の機能に関する情報提供の充実	堤防等の施設の能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性の周知	堤防等の施設の能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性について周知する	自主防災組織を対象に防災に関する研修会の実施	堤防等の施設の能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性の周知	自主防災組織を対象に防災に関する研修会の実施	堤防等の施設の能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性の周知	自主防災組織を対象に防災に関する研修会の実施	堤防等の施設の能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性の周知	自主防災組織を対象に防災に関する研修会の実施	堤防等の施設の能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性の周知	自主防災組織を対象に防災に関する研修会の実施	○	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
◆セミナー・防災教育・訓練、計画策定等																					
19	・緊急行動トップセミナーの開催	トップセミナーへの参加	トップセミナーへの参加	不参加	必要に応じて参加	不参加	必要に応じて参加	不参加	必要に応じて参加	不参加	必要に応じて参加	不参加	▲	○	○	○	○	○	レベル1：課題を把握	2：どちらでもよい	
20	・防災教育の促進	防災教育に関するシンポジウム等に参加 地域防災力の向上のための人材育成 小中学生等を対象とした水災害教育の実施	防災教育に関するシンポジウム等に参加 小中学生等を対象とした水災害教育の実施 防災教育ポータル等の周知	小学生を対象に防災教育を実施 町内校長会と防災に関する連絡会議	防災教育に関するシンポジウム等に参加 小中学生等を対象とした水災害教育の実施 防災教育ポータル等の周知	小中学生を対象の防災教育は計画されていたがコロナ感染拡大予防により中止 町内教頭会と防災に関する連絡会議	防災教育に関するシンポジウム等に参加 小中学生等を対象とした水災害教育の実施 防災教育ポータル等の周知	社会教育主催のイベントで小学生向けに防災講座を実施。他、高校生向けに１回、地区向けに５回の講座を実施。	防災教育に関するシンポジウム等に参加 小中学生等を対象とした水災害教育の実施 防災教育ポータル等の周知	高校や地域に出向き、防災セミナーを実施。	防災教育に関するシンポジウム等に参加 小中学生等を対象とした水災害教育の実施 防災教育ポータル等の周知	高校や地域に出向き、防災セミナーを実施。	▲	▲	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
21	**・災害の伝承**	国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進	国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進	未実施	国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進	該当1件を登録にむけ調査検討中	国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進	該当1件を登録にむけ調査検討中	国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進	該当1件を登録にむけ調査検討中	国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進	該当1件を登録にむけ調査検討中	○	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	2：どちらでもよい	
22	・共助の仕組みの強化	避難訓練への住民の参加促進 防災リーダーの育成	避難訓練への住民の参加促進 甲斐の国防災リーダー養成講座等への参加促進	自主防災組織を対象に防災に関する研修会の実施 甲斐の国防災リーダー養成講座に住民１名参加	防災に関する研修会の実施 甲斐の国防災リーダー養成講座等への参加促進	自主防災組織を対象に防災に関する研修会の実施 甲斐の国防災リーダー養成講座に住民１名参加	防災に関する研修会の実施 甲斐の国防災リーダー養成講座等への参加促進	自主防災組織を対象に防災に関する研修会の実施 甲斐の国防災リーダー養成講座に住民１名参加	防災に関する研修会の実施 甲斐の国防災リーダー養成講座等への参加促進	自主防災組織を対象に防災に関する研修会の実施 甲斐の国防災リーダー養成講座に住民2名参加	防災に関する研修会の実施 甲斐の国防災リーダー養成講座等への参加促進	自主防災組織を対象に防災に関する研修会の実施 甲斐の国防災リーダー養成講座に住民2名参加	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
23	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	浸水する恐れのある施設について、退避場所や退避基準、連絡体制等を検討	浸水する恐れのある施設の抽出 退避場所の候補地の検討	浸水する恐れのある施設を抽出	浸水する恐れのある施設について連絡体制等を検討	浸水する恐れのある施設を抽出	浸水する恐れのある施設について連絡体制等を検討	浸水する恐れのある施設を抽出	浸水する恐れのある施設について連絡体制等を検討	浸水する恐れのある施設を抽出	浸水する恐れのある施設について連絡体制等を検討	浸水する恐れのある施設を抽出	○	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
24	・業務継続計画の策定	業務継続計画の修正	業務継続計画の修正	未実施	業務継続計画の修正	見直し案を調査開始	業務継続計画の修正	見直し案を調査開始	業務継続計画の修正	業務継続計画修正完了	業務継続計画の更新	未実施	▲	▲	▲	▲	○	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

身延町

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：５年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標 実施内容	令和3年度 予定	令和3年度 実績	令和4年度 予定	令和4年度 実施	令和5年度 予定	令和5年度 実施	令和6年度 予定	令和6年度 実施	令和7年度 予定	令和7年度 実施	実施時期 R3	R4	R5	R6	R7	ALL	5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
25	・総合的な土砂管理	―																			
水防：的確な水防活動のための取組																					
◆点検強化																					
26	・重要水防箇所の見直し	―																			
27	・防災計画に基づく水防資機材の配備	配備した機材の定期点検、補充	配備した機材の定期点検 土のうの追加配備	土のう及び土のう用の砂を水防団に追加配備	水防資機材の定期点検・補充 土のうの追加配備	土のう及び土のう用の砂を水防団に追加配備	水防資機材の定期点検・補充 土のうの追加配備	土のう及び土のう用の砂を水防団に追加配備	水防資機材の定期点検・補充 土のうの追加配備	土のう及び土のう用の砂を水防団に追加配備	水防資機材の定期点検・補充 土のうの追加配備	土のう及び土のう用の砂を水防団に追加配備	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
28	・共同点検・合同巡視の実施	河川管理者と連携を図る中、水防危険箇所の巡視を実施	富士川合同巡視に参加し確認	主要河川の水防危険箇所を関係機関と巡視	主要河川の水防危険箇所を関係機関と巡視	未実施	主要河川の水防危険箇所を関係機関と巡視	未実施	主要河川の水防危険箇所を関係機関と巡視	未実施	主要河川の水防危険箇所を関係機関と巡視	富士川合同巡視に参加し確認	●	○	○	○	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
29	・関係機関が連携した実動水防訓練の実施	水防訓練への参加	水防訓練への参加	未実施	水防訓練に参加	県主催水防講習会に参加	水防訓練に参加	県主催水防講習会に参加	水防訓練に参加	県主催水防講習会に参加	水防訓練に参加	未実施	▲	▲	●	●	○	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
◆体制確保																					
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	災害時巡視システムによる被災情報の共有	山梨県総合防災情報システムの活用	山梨県総合防災情報システムの操作研修に参加	山梨県総合防災情報システムを活用した被災情報の共有	山梨県総合防災情報システムの操作研修に参加	山梨県総合防災情報システムを活用した被災情報の共有	山梨県総合防災情報システムの操作研修に参加	山梨県総合防災情報システムを活用した被災情報の共有	山梨県総合防災情報システムの操作研修に参加	山梨県総合防災情報システムを活用した被災情報の共有	山梨県総合防災情報システムの操作研修に参加	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
31	・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	消防団員確保対策の継続実施	様々な施策により消防団員の確保に努める	消防団の処遇改善のため条例改正	様々な施策により消防団の確保に努める	消防団の処遇改善のためサポート事業の促進等	様々な施策により消防団の確保に努める	消防団の処遇改善のためサポート事業の促進等	様々な施策により消防団の確保に努める	消防団の処遇改善のためサポート事業の促進等	様々な施策により消防団の確保に努める	消防団の処遇改善のためサポート事業の促進等	●	●	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
32	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	出水期における水防活動等について水防関係者間で振返りを実施	出水期における水防活動等について水防関係者間で振返りを実施	甲府地方気象台等と令和３年度の振り返りを実施	出水期における水防活動について水防関係者間で振返りを実施	甲府地方気象台等と振り返りを実施	出水期における水防活動について水防関係者間で振返りを実施	甲府地方気象台等と振り返りを実施	出水期における水防活動について水防関係者間で振返りを実施	甲府地方気象台等と振り返りを実施	出水期における水防活動について水防関係者間で振返りを実施	甲府地方気象台等と振り返りを実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
33	・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	防災リーダーの育成と共助の精神に基づく自主防災活動を推進する	峡南地域防災リーダー養成講座に参加	自主防災会を対象とした研修会等に参加	自主防災会を対象とした研修会等への参加を促進	自主防災会を対象とした研修会等に参加	自主防災会を対象とした研修会等への参加を促進	自主防災会を対象とした研修会等に参加	自主防災会を対象とした研修会等への参加を促進	自主防災会を対象とした講習会実施。	自主防災会を対象とした研修会等への参加を促進	自主防災会を対象とした講習会実施。	●	●	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減**等**に関する取組																					
◆実践強化																					
34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	町が管理する排水機場の操作情報の共有	排水機場の操作説明を地元水防団（消防団）に対して実施	未実施	排水機場等の操作説明を水防団に対して実施	未実施	排水機場等の操作説明を水防団に対して実施	未実施	排水機場等の操作説明を水防団に対して実施	未実施	排水機場等の操作説明を水防団に対して実施	未実施	▲	○	○	○	○	○	レベル1：課題を把握	1：他と比べて低い	
35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	―																			
36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	水防講習会に参加	未実施	水防講習会に参加	未実施	水防講習会に参加	未実施	水防講習会に参加	未実施	水防講習会に参加	未実施	▲	○	○	○	○	○	レベル1：課題を把握	1：他と比べて低い	
◆機能保全																					
37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	―																			
38	・排水設備の機能保全	―																			
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																					
◆堤防及び諸施設の整備・機能確保等																					
39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	―																			
40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	―																			
41	・本川と支川の合流部等の対策	―																			
42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	―																			
43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	―																			
44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	―																			
45	・避難場所として活用できる堤防整備（宇坪地区、富士川地区）	―																			
46	・応急的な退避場所の確保	浸水想定より高いエリアを抽出し、避難所や避難経路の見直しの実施 緊急避難場所の検討	浸水が想定される避難所や避難経路の見直し	避難所の想定浸水深を確認	避難所や避難経路の見直し	避難所の想定浸水深を確認	避難所や避難経路の見直し	避難所の想定浸水深を確認	避難所や避難経路の見直し	避難所の想定浸水深を確認	避難所や避難経路の見直し	避難所の想定浸水深を確認	○	▲	▲	▲	▲	☆	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	―																			
48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	72時間以上運転可能な非常用発電設備の設置	72時間以上運転可能な非常用発電設備の設置検討	未実施	72時間以上運転可能な非常用発電設備の設置検討	未実施	72時間以上運転可能な非常用発電設備の設置検討	未実施	72時間以上運転可能な非常用発電設備の設置検討	未実施	72時間以上運転可能な非常用発電設備の設置検討	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル1：課題を把握	3：非常に高い	
◆情報伝達等に係る機器等の整備																					
49	・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	―																			

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

南部町

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実施時期					5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
		実施内容	予定	実績	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	R3	R4	R5	R6	R7			
避難：円滑かつ迅速な避難のための取組																				
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等																				
1	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及びタイムラインに基づく訓練の実施	避難指示発令に着目したチェックリスト・タイムラインに基づく訓練の実施	順次実施	コロナ禍により、予定されていた図上訓練が実施できなかった。	自主防災会等を対象とした図上訓練の実施。	図上訓練における講師派遣の都合がつかず実施できなかった。	自主防災会等を対象とした図上訓練の実施。	図上訓練可能講師なし 洪水対応演習時にホットライン伝達訓練に参加	避難指示発令に着目した訓練の実施	避難指示発令に着目した訓練	避難指示発令に着目した訓練の実施	避難指示発令に着目した訓練	○	○	▲	▲	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
2	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	避難指示発令区域及び、判断基準の確認	出水を踏まえた避難勧告発令の区域及び、判断基準の確認	研修や訓練に参加	研修や訓練に参加	研修や訓練に参加	研修や訓練に参加	研修や訓練に参加	研修や訓練に参加	研修や訓練に参加	研修や訓練に参加	研修や訓練に参加	▲	●	●	●	▲	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
3	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	ダムの放流情報を基にした避難情報の伝達	活用できる情報の把握	ダム放流情報の事前連絡体制あり	放流情報を避難情報に反映	対象事案なし	放流情報を避難情報に反映	放流情報を共有、周知	放流情報を避難情報に反映	放流情報を共有、周知	放流情報を避難情報に反映	放流情報を避難情報に反映	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	実態に合わせて実施時期を変更
4	**・多機関連携型タイムラインの拡充**	多機関係連携型タイムラインの作成	土砂、水害リスクを踏まえた本町の課題の把握	タイムライン検討会に参加	タイムライン検討会に参加	参加なし	タイムライン検討会に参加	開催なし	タイムライン作成を検討	未実施	タイムライン作成を検討	未実施	▲	○	○	○	○	★	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
5	・洪水対応情報伝達演習の実施	洪水対応情報伝達演習の実施	洪水対応情報伝達演習の実施	洪水対応情報伝達演習に参加	洪水対応情報伝達演習に参加	洪水対応情報伝達演習に参加	洪水対応情報伝達演習に参加	洪水対応情報伝達演習に参加	洪水対応情報伝達演習に参加	洪水対応情報伝達演習に参加	洪水対応情報伝達演習に参加	洪水対応情報伝達演習に参加	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
6	・「避難判断基準等検討支援システム」の更新・活用	避難判断基準等検討支援システムを活用した避難基準の再検討	システムのデータ更新	未実施	避難判断基準等検討支援システムの活用	未実施	避難判断基準等検討支援システムの活用	活用する機会がなかった	避難判断基準等検討支援システムの活用	活用する機会がなかった	避難判断基準等検討支援システムの活用	活用する機会がなかった	○	○	○	★	★	★	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
7	・ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供	住民へのハザードマップ活用の周知	関係機関への支援体制の強化	実施済み	ハザードマップの改定は随時実行していく	改訂に係る情報の収集 ハザードマップを活用した防災教育の実施	改訂に係る情報の収集 ハザードマップを活用した防災教室等を実施	改訂に係る情報の収集 ハザードマップを活用した防災教室中止（当日台風対応のため）	改訂に係る情報の収集 ハザードマップを活用した災害リスクの周知	改訂に係る情報の収集 ハザードマップを活用した災害リスクの周知	改訂に係る情報の収集 ハザードマップを活用した災害リスクの周知	改訂に係る情報の収集	●	●	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
8	・適切な土地利用の促進	関係機関にハザードマップの配布	関係機関にハザードマップの配布	ハザードマップの配布	ハザードマップの配布・活用	ハザードマップの配布	ハザードマップの配布・活用	ハザードマップの配布・活用	ハザードマップの配布・活用	ハザードマップの配布・活用	ハザードマップの配布・活用	ハザードマップの配布・活用	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
9	**・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進**	マイタイムラインの作成	住民がマイタイムラインを作成する場の提供	未実施	訓練等の実施	未実施	訓練等の実施	未実施	訓練等の実施	未実施	訓練等の実施	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
10	・災害リスクの現地表示	想定浸水深看板の設置	24カ所設置予定	町内24ヶ所に設置	予定なし								★	★	★	★	★	★	レベル0：認識なし	完了：目標達成	R3年度で設置完了のため
11	**・広域避難体制の構築**	近隣自治体、民間企業などとの災害協定の締結	近隣自治体、民間企業などとの災害協定の締結	広域避難検討会に参加	広域避難検討会に参加	広域避難検討会に参加	広域避難検討会に参加	広域避難検討会に参加	広域避難検討会に参加	広域避難検討会に参加	広域避難検討会に参加	広域避難検討会に参加	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
12	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	要配慮者利用施設の避難計画の促進	要配慮者利用施設の避難計画の促進	要配慮者利用施設17ヶ所全てが計画を策定済	避難計画の訓練促進	訓練を実施	避難計画の訓練促進	電話にて訓練実施の有無を確認。訓練の実施をお願いした。	避難計画の訓練促進	電話にて訓練実施の有無を確認。訓練の実施をお願いした。	避難計画の訓練促進	電話にて訓練実施の有無を確認。訓練の実施をお願いした。	●	●	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	計画の作成は完了
◆防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等																				
13	・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断のための富士川水系情報提供システムの活用	富士川水系情報提供システムの周知	富士川水系情報提供システムの周知	富士川水系情報提供システムを活用	富士川水系情報提供システムを活用	警報発令時の情報収集手段の1つとして活用	富士川水系情報提供システムを活用	警報発令時の情報収集手段の1つとして活用	富士川水系情報提供システムを活用	警報発令時の情報収集手段の1つとして活用	富士川水系情報提供システムを活用	警報発令時の情報収集手段の1つとして活用	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
14	・防災情報の充実や表現の工夫	危険性を理解しやすい災害情報の表現方法の統一化	危険性を理解しやすい災害情報の表現方法の統一化	新たな警戒レベルの区分について、ポスター等を用いて周知。	警戒レベルの周知	掲示等による周知を実施	警戒レベルの周知	掲示等による周知を実施	警戒レベルの周知	掲示等による周知を実施	警戒レベルの周知	掲示等による周知を実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
15	・防災・気象情報等の配信方法の充実	SNSを利用した防災・気象情報の提供	SNSを利用した防災・気象情報の提供	町HPでの情報提供	SNSを利用した防災・気象情報の提供	未実施	SNSを利用した防災・気象情報の提供	未実施	SNSを利用した防災・気象情報の提供	未実施	SNSを利用した防災・気象情報の提供	町公式LINEを利用した防災・気象情報の提供	▲	○	○	○	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
16	・観測体制の充実や予測技術の高度化	簡易水位計の設置	危険個所を確認し検討	未実施	危険個所があれば検討	検討場所なし	危険個所があれば検討	検討箇所なし	危険個所があれば検討	検討箇所なし	危険個所があれば検討	検討箇所なし	○	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	3：非常に高い	
17	・洪水予測や河川水位の状況に関する解説	大雨特別警報切り替え時の予報発表	SNSを利用した情報提供	町HPでの情報提供体制	SNSを利用した情報提供	全戸配布の個別受信機による情報提供体制	全戸配布の個別受信機による情報提供	対象事例なし	全戸配布の個別受信機による情報提供	全戸配布の個別受信機による情報提供	全戸配布の個別受信機による情報提供	全戸配布の個別受信機による情報提供	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
18	・防災施設の機能に関する情報提供の充実	防災施設の機能に関する情報提供の充実	防災施設の機能に関する情報提供の充実	避難所の情報をハザードマップに掲載	防災施設の機能に関する情報提供の充実	ハザードマップ等で周知	防災施設の機能に関する情報提供の充実	防災教室等で周知	防災施設の機能に関する情報提供の充実	ハザードマップ等で周知	防災施設の機能に関する情報提供の充実	ハザードマップ等で周知	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
◆セミナー・防災教育・訓練、計画策定等																				
19	・緊急行動トップセミナーの開催	セミナーへの参加	セミナーへの参加	セミナーの開覧	セミナーへの参加	参加なし	セミナーへの参加	セミナー参加	セミナーへの参加	参加なし	セミナーへの参加	参加なし	▲	○	●	●	●	★	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
20	・防災教育の促進	小中学生を対象とした水災害教育の実施	小中学生を対象とした水災害教育の実施	学校に資料の提供を行い、防災学習を実施した。	小中学生を対象とした水災害教育の実施	小学生に対し防災教室を実施	小中学生を対象とした水災害教育の実施	R5年度の小中学生を対象とした防災教室中止（当日台風対応のため）	小中学生を対象とした水災害教育の実施	未実施	小中学生を対象とした水災害教育の実施	未実施	●	●	○	○	○	★	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
21	**・災害の伝承**	－																		
22	・共助の仕組みの強化	防災リーダーの養成	防災リーダーの養成	防災リーダー養成講座に参加	防災リーダー養成講座に参加	防災リーダー養成講座に参加	防災リーダー養成講座に参加	防災リーダー養成講座に参加	防災リーダー養成講座に参加	防災リーダー養成講座に参加	防災リーダー養成講座に参加	防災リーダー養成講座に参加	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
23	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	浸水する恐れのある施設について、避難場所や退避基準、連絡体制の検討	浸水する恐れのある施設について、避難場所や退避基準、連絡体制の検討	ハザードマップで浸水に対応した避難所を示している。	浸水する恐れのある施設や避難場所の周知	ハザードマップを通して周知	浸水する恐れのある施設や避難場所の周知	ハザードマップの周知	浸水する恐れのある施設や避難場所の周知	ハザードマップの周知	浸水する恐れのある施設や避難場所の周知	ハザードマップの周知	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
24	・業務継続計画の策定	業務継続計画の更新	業務継続計画の更新	業務継続計画の更新	業務継続計画の更新	人員配置等更新	業務継続計画の更新	業務継続計画の更新	業務継続計画の更新	業務継続計画の更新	業務継続計画の更新	業務継続計画の更新	▲	●	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
25	・総合的な土砂管理	－																		

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**南部町**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実施時期					5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
		実施内容	予定	実績	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	R3	R4	R5	R6	R7			
水防：的確な水防活動のための取組																				
◆点検強化																				
26	・重要水防箇所の見直し	定期的な重要箇所の見直し	定期的な重要箇所の見直し	定期的な重要箇所の見直し	定期的な重要箇所の見直し	情報を収集	定期的な重要箇所の見直し	情報を収集	定期的な重要箇所の見直し	情報を収集	定期的な重要箇所の見直し	情報を収集	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
27	・防災計画に基づく水防資機材の配備	防災計画に基づく水防資機材の配備	防災計画に基づく水防資機材の配備	防災計画に基づく水防資機材の配備	防災計画に基づく水防資機材の配備	防災計画に基づく水防資機材の配備	防災計画に基づく水防資機材の配備	防災計画に基づく水防資機材の配備	防災計画に基づく水防資機材の配備	防災計画に基づく水防資機材の配備	防災計画に基づく水防資機材の配備	防災計画に基づく水防資機材の配備	▲	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
28	・共同点検・合同巡視の実施	共同点検の実施・参加	共同点検の実施・参加	共同点検に参加	共同点検の実施・参加	共同点検に参加	共同点検の実施・参加	共同点検に参加	共同点検の実施・参加	共同点検に参加	共同点検の実施・参加	共同点検に参加	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
29	・関係機関が連携した実動水防訓練の実施	関係機関が連携した実動水防訓練の実施	関係機関が連携した実動水防訓練の実施	山梨県警察水害等対応訓練を見学	関係機関が連携した実動水防訓練の実施	6月に水防訓練に参加	関係機関が連携した実動水防訓練の実施・参加	6月に水防訓練に参加	関係機関が連携した実動水防訓練の実施・参加	6月に水防訓練に参加	関係機関が連携した実動水防訓練の実施・参加	6月に水防訓練に参加	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
◆体制確保																				
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	災害時巡視システムによる被災状況の共有	災害時巡視システムによる被災状況の共有	未実施	利用の検討	未実施	利用の検討	未実施	利用の検討	未実施	利用の検討	未実施	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
31	・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	消防団員確保対策の継続実施	消防団員確保対策の継続実施	機能別消防団員を確保等	消防団員確保対策の継続実施	機能別消防団員を確保等	消防団員確保対策の継続実施	機能別団員を確保等	消防団員確保対策の継続実施	機能別団員を確保等	消防団員確保対策の継続実施	機能別団員を確保等	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
32	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	出水期における水防活動について水防関係間で振り返りを実施	出水期における水防活動について水防関係間で振り返りを実施	未実施	出水期における水防活動について水防関係間で振り返りを実施	未実施	出水期における水防活動について水防関係間で振り返りを実施	未実施	出水期における水防活動について水防関係間で振り返りを実施	未実施	出水期における水防活動について水防関係間で振り返りを実施	未実施	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
33	・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	防災リーダーの育成と、共助の精神に基づく自主防災活動を推進	防災リーダー養成講座を引き続き実施	防災リーダー養成講座を実施	防災リーダー養成講座を実施	自主防災会に防災リーダー養成講座に参加を依頼	自主防災会に防災リーダー養成講座に参加を依頼。1名参加。	自主防災会に防災リーダー養成講座に参加を依頼。2名参加。	自主防災会に防災リーダー養成講座に参加を依頼	自主防災会に防災リーダー養成講座に参加を依頼。2名参加。	自主防災会に防災リーダー養成講座に参加を依頼	自主防災会に防災リーダー養成講座に参加を依頼。3名参加。	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減**等**に関する取組																				
◆実践強化																				
34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	町が管轄する樋門・樋管の操作情報の共有	町が管轄する樋門・樋管の操作情報の共有	毎月点検・報告を行っている	樋門・樋管の操作情報の共有	操作研修に参加	樋門・樋管の操作情報の共有	操作研修に参加	樋門・樋管の操作情報の共有	操作研修に参加	樋門・樋管の操作情報の共有	樋門・樋管の操作情報の共有	▲	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	排水施設・排水資機材の運用方法の改善	引き続き実施	未実施	排水施設・排水資機材の運用方法の改善	未実施	排水施設・排水資機材の運用方法の改善	未実施	排水施設・排水資機材の運用方法の改善	未実施	排水施設・排水資機材の運用方法の改善	未実施	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	1：他と比べて低い	
36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	定期的なポンプ操作訓練を実施し、習熟を図る	引き続き実施	水防団による訓練の実施	水防団による訓練の実施	水防団による訓練の実施	水防団による訓練の実施	水防団による訓練の実施	水防団による訓練の実施	水防団による訓練の実施	水防団による訓練の実施	水防団による訓練の実施	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
◆機能保全																				
37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	―	氾濫水を河道に戻す排水機能を確保するための霞堤の機能保全	未実施（霞堤なし）	予定なし															
38	・排水設備の機能保全	自家発電設備を屋上に移設	引き続き検討	分庁舎は実施済み	本庁舎検討	未実施	本庁舎検討	検討なし	本庁舎検討	本庁舎検討	本庁舎検討	本庁舎検討	▲	○	○	○	★	レベル1：課題を把握	1：他と比べて低い	
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																				
◆堤防及び踏施設の整備・機能確保等																				
39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	流下能力対策としての護岸の整備	引き続き検討	未実施（町管理ではないため）	引き続き検討し、危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	3：非常に高い	
40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	侵食洗堀対策として築堤・護岸の整備	引き続き検討	未実施（町管理ではないため）	引き続き検討し、危険性がある箇所については要望等を行う	県に要望	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	○	●	○	○	○	レベル0：認識なし	3：非常に高い	
41	・本川と支川の合流部等の対策	越水や危険性がある堤防強化対策の検討	引き続き検討	未実施（町管理ではないため）	引き続き検討し、危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	3：非常に高い	
42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	人命リスクの高い危険個所についての対策	引き続き検討	未実施（町管理ではないため）	引き続き検討し、危険性がある箇所については要望等を行う	県に要望	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	○	●	○	○	○	レベル0：認識なし	3：非常に高い	
43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	危険個所の把握	引き続き検討し、危険性がある箇所については要望等を行う	未実施（町管理ではないため）	引き続き検討し、危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	3：非常に高い	
44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	危険個所の把握	引き続き検討し、危険性がある箇所については要望等を行う	未実施（町管理ではないため）	引き続き検討し、危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	3：非常に高い	
45	・避難場所として活用できる堤防整備（宇坪地区、富士川地区）	危険個所の把握	引き続き検討し、危険性がある箇所については要望等を行う	未実施（町管理ではないため）	引き続き検討し、危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	危険性がある箇所については要望等を行う	要望なし	○	○	○	○	○	レベル0：認識なし	3：非常に高い	
46	・応急的な退避場所の確保	該当箇所の把握	候補地があれば現地を確認し検討	未実施	候補地があれば現地を確認し検討	候補地なし	候補地があれば現地を確認し検討	候補地なし	候補地があれば現地を確認し検討	候補地なし	候補地があれば現地を確認し検討	候補地なし	○	○	○	○	☆	レベル0：認識なし	3：非常に高い	
47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	―																		南部町に霞堤がないため
48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	燃料タンク保管庫の増設	分庁舎に実施予定	分庁舎に設置完了	予定なし		―	―	―	―	―		★	★	★	★	☆			
◆情報伝達等に係る機器等の整備																				
49	・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	ドローンを整備し、河川管理・災害調査に活用	該当部署と協議	未実施	該当部署と協議	情報収集及び検討中	該当部署と協議・検討	情報収集中	該当部署と協議・検討	情報収集中	該当部署と協議・検討	情報収集中	○	▲	▲	▲	▲			

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**富士宮市**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

富士宮市

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：５年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**富士市**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**富士市**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目																								
○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）																								
	No.	取組項目（赤文字：R7重点実施取組）	5年の目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実施時期					5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
			実施内容	予定	実績	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	R3	R4	R5	R6	R7					
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減**等**に関する取組																								
◆実践強化																								
	34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	―																					
	35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	―																					
	36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	引き続き、関係機関と実施する	講習会への参加	未実施	講習会への参加	6/14に操作講習会へ参加した。 （主催：国交省沼津国道事務所）	講習会への参加	国交省主催の講習会に参加した。 R5.10.18国交省静岡国道事務所ほか	講習会への参加する。	R6.5.27　災害対応車両操作訓練に参加 R6.7.24　富士川水防講習会に参加	講習会に参加する	R7.5.28　災害対応車両操作訓練に参加	▲	▲	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
◆機能保全																								
	37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	―																					
	38	・排水設備の機能保全	―																					
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																								
◆堤防及び諸施設の整備・機能確保等																								
	39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	―																					
	40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	―																					
	41	・本川と支川の合流部等の対策	―																					
	42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	―																					
	43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	―																					
	44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	―																					
	45	・避難場所として活用できる堤防整備（宇珂地区、富士川地区）	―																					
	46	・応急的な退避場所の確保	―																					
	47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	―																					
	48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	―																					
◆情報伝達等に係る機器等の整備																								
	49	・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	―																					

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

静岡市

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：５年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標 実施内容	令和3年度 予定	令和3年度 実績	令和4年度 予定	令和4年度 実績	令和5年度 予定	令和5年度 実績	令和6年度 予定	令和6年度 実績	令和7年度 予定	令和7年度 実績	実施時期 R3	R4	R5	R6	R7	ALL	5かの取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
避難：円滑かつ迅速な避難のための取組																					
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等																					
1	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及びタイムラインに基づく訓練の実施	・避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し ・避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し、訓練実施のための支援	・タイムライン運用時に毎回見直しを実施	タイムライン運用の機会がなかったため、未実施	・避難情報の発表に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し ・避難情報の発表に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し、訓練実施のための支援	タイムライン運用の機会がなかったため、未実施 ・洪水対応演習時、ホットライン伝達訓練に参加	避難情報の発表に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し	・タイムラインの見直しを実施	・タイムラインの見直しを実施	・タイムラインの見直しを実施	・必要に応じて、タイムラインの見直しを実施	・タイムラインの見直しを実施	○	○	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
2	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	・災害対策基本法の改正に伴う見直しを実施	新たな避難情報を踏まえ、避難情報発表の判断基準マニュアルを修正	避難情報発表の判断基準等の確認	R4年５月の災害対策基本法改正に伴い内閣府作成の「避難情報に関するガイドライン」が更新された。このことに伴い、本市の「避難情報判断・伝達マニュアル」の内容を見直し、更新を行った。	避難情報発表の判断基準等の確認	・タイムラインの見直しを実施	・タイムラインの見直しを実施	・タイムラインの見直しを実施	・必要に応じて、タイムラインの見直しを実施	・避難情報判断・伝達マニュアルの修正に着手	▲	●	●	●	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
3	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	–																			
4	**・多機関連携型タイムラインの拡充**	・多機関タイムライン検討会への参加	・多機関タイムライン検討会への参加	R3.10～11月にかけてWeb で行われた勉強会に参加	多機関タイムライン検討会への参加	検討会が開催されなかったため、未実施			・必要性について検討	未実施	・必要性について検討	未実施	●	○	○	○	○	★	レベル1：課題を把握	2：どちらでもよい	
5	・洪水対応情報伝達演習の実施	・洪水対応情報伝達演習の実施	・洪水対応情報伝達演習への参加	R3.5月に実施	洪水対応情報伝達演習への参加	R4年５月に実施	洪水対応情報伝達演習への参加	・R5.6 月に洪水対応情報伝達演習に参加	・洪水対応情報伝達演習への参加	・R6.5月に洪水対応情報伝達演習に参加	・洪水対応情報伝達演習の実施	・R7.5月に洪水対応情報伝達演習に参加	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
6	・「避難判断基準等検討支援システム」の更新・活用	–																			
7	・ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供	・中小河川や内水の浸水想定区域図等、ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実 ・ハザードマップポータルサイトの活用	・中小河川や内水の浸水想定区域図等、ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実 ・ハザードマップポータルサイトの活用	・内水の浸水想定区域図については、HPに掲載済 ・中小河川については、区域図の公表待ち	中小河川の浸水想定区域図について、住民に周知	R4年６月に公表された中小河川の浸水想定区域図について市HPで周知した。	中小河川の浸水想定区域図について、住民に周知	中小河川の浸水想定区域図について、県・市のHPで住民に周知	住民周知を継続	・洪水予報河川・水位周知河川・中小河川の浸水想定区域図について、県・市のHPで住民に周知するとともに市のGISで公開を実施。	住民周知を継続	・雨水出水浸水想定区域、高潮浸水想定区域について、市のHPで住民に周知するとともに、市のGISで公開を実施。	▲	▲	●	●	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
8	・適切な土地利用の促進	・不動産業者に対しハザードマップを配布	・不動産業者に対しハザードマップを周知	宅建業協会の組合員に対し、市作成のハザードマップを周知	不動産業者に対しハザードマップを周知	市HPでハザードマップに関するページを複数掲載しているが、その中で不動産業者向けのスペースを設け周知を行っている。（中小河川についても、周知済み）	不動産業者に対しハザードマップを周知	市HPでハザードマップに関するページを複数掲載しているが、その中で不動産業者向けのスペースを設け周知を行っている。（中小河川についても、周知済み）	事業者への周知を継続	市HPでハザードマップに関するページを複数掲載しているが、その中で不動産業者向けのスペースを設け周知を行っている。（中小河川についても、周知済み）	事業者への周知を継続	市HPでハザードマップに関するページを複数掲載しているが、その中で不動産業者向けのスペースを設け、中小規模河川も含めて周知を行っている。	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
9	**・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進**	・ワークショップなど住民がマイハザードマップ、マイタイムライン等を作成する場の提供	・HPを用いたマイタイムライン等の作成要領の周知	HPにタイムラインの作成要領を掲載するとともに、出前講座等で作成を支援	ワークショップなど住民がマイハザードマップ、マイタイムライン等を作成する場の提供	・マイ・タイムラインについては、出前講座等の機会に周知するとともに、住民自らが作成する機会としてワークショップを開催している。また、ワークショップに参加できない住民のため、市HPで作成方法を公開し、広く周知を行っている。 ・県と共同で「わたしの避難計画」を作成し、住民に配付するとともに、作成説明会を開催し、住民自らが計画を作成する機会を設けた。	ワークショップなど住民がわたしの避難計画や、マイタイムライン等を作成する場の提供	・マイ・タイムラインについては、出前講座等の機会に周知するとともに、住民自らが作成する機会としてワークショップを開催している。また、ワークショップに参加できない住民のため、市HPで作成方法を公開し、広く周知を行っている。 ・県と共同で「わたしの避難計画」を作成し、住民に配付するとともに、作成説明会を開催し、住民自らが計画を作成する機会を設けた。	ワークショップなど住民がわたしの避難計画や、マイタイムライン等を作成する場の提供	・マイ・タイムラインについては、出前講座等の機会に周知するとともに、住民自らが作成する機会としてワークショップを開催している。また、ワークショップに参加できない住民のため、市HPで作成方法を公開し、広く周知を行っている。 ・県と共同で「わたしの避難計画」を作成し、住民に配付するとともに、作成説明会を開催し、住民自らが計画を作成する機会を設けた。	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
10	・災害リスクの現地表示	・避難場所の災害種別の表示の整備	・順次対応	順次対応中	・避難場所の災害種別の表示の整備	順次対応中	避難場所の災害種別の表示の整備	順次対応中	避難場所の災害種別の表示の整備	順次対応中	避難場所の災害種別の表示の整備	順次対応中	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	2：どちらでもよい	
11	**・広域避難体制の構築**	–																			
12	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・要配慮者利用施設の避難計画の作成促進 ・避難情報等を活用した要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練の実施支援	・避難確保計画未提出施設に対する催促 ・情報伝達訓練の実施	R3.9月に避難確保計画の提出率100％を達成	来年度、新たに対象となる施設に対して、避難確保計画の作成を促進していく	R4年９月末に避難確保計画の提出率100％を達成	新たに対象となる施設に対して、避難確保計画の作成を促進していく	R5年12月末に避難確保計画の提出率100％を達成	新たに対象となる施設に対して、避難確保計画の作成を促進していく	R6年11月末に避難確保計画の提出率100％を達成	新たに対象となる施設に対して、避難確保計画の作成を促進していく	新たに対象となる施設に対して、避難確保計画の作成を依頼中	●	●	●	●	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
◆防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等																					
13	・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断のための富士川水系情報提供システムの活用	–																			
14	・防災情報の充実や表現の工夫	・表現内容の単純化	・災害対策基本法の改正に伴う見直しを実施	新たな避難情報について、HPやチラシで住民への周知を行った	表現内容の単純化	避難情報や警戒レベルについて出前講座等の機会に積極的に周知した。		避難情報や警戒レベルについて出前講座等の機会に積極的に周知した。	住民周知を継続	緊急速報メールについて、受信端末の自動音声読み上げ機能を考慮し、読み上げにくい地名をひらがな表記に変更した。	住民周知を継続	緊急速報メールにおける読み上げにくい地名のひらがな表記を継続して実施するとともに、引き続き住民周知を行った。	▲	●	●	●	★	★	レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
15	・防災・気象情報等の配信方法の充実	・緊急速報メールによる洪水情報の提供 ・SNSを利用した防災・気象情報の配信	・緊急速報メールによる洪水情報の提供 ・SNSを利用した防災・気象情報の配信	出水期に大雨等の情報を公式LINEで配信	出水期に大雨の情報を公式LINEやTwitterで配信した。	・緊急速報メールによる洪水情報の提供 ・SNSを利用した防災・気象情報の配信 ・ポータルサイトの運用開始	出水期に大雨の情報を公式LINEで配信した。 ・ポータルサイトで災害情報を配信	・緊急速報メールによる洪水情報の提供 ・SNSを利用した防災・気象情報の配信 ・災害情報総合サイトの運用開始	市民向けの災害情報提供サイト「静岡市防災ナビ」の運用を開始した。	「静岡市防災ナビ」の継続運用	「静岡市防災ナビ」を継続して運用するとともに、市民に対しての周知広報活動を実施した。	▲	●	●	●	★	★	レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
16	・観測体制の充実や予測技術の高度化	–																			
17	・洪水予測や河川水位の状況に関する解説	・住民へ水害の切迫性が効果的に伝わるように解説を行う ・住民へ、HP等を通じ、主要河川の水位情報の取得の仕方を説明する	・住民へ水害の切迫性が効果的に伝わるように解説を行う ・住民へ、HP等を通じ、主要河川の水位情報の取得の仕方を説明する	新たな避難情報について、HPやチラシで住民への周知を行った	・住民へ水害の切迫性が効果的に伝わるように解説を行う ・住民へ、HP等を通じ、主要河川の水位情報の取得の仕方を説明する	・出前講座等の機会に各種防災情報の取得方法について解説し、周知をしている。 ・防災情報の取得ツールに関するチラシを作成し、本市に転入してくる方に配付している。	・住民へ水害の切迫性が効果的に伝わるように解説を行う ・住民へ、HP等を通じ、主要河川の水位情報の取得の仕方を説明する	・出前講座等の機会に各種防災情報の取得方法について解説し、周知をしている。 ・防災情報の取得ツールに関するチラシを作成し、本市に転入してくる方に配付している。	・住民へ水害の切迫性が効果的に伝わるように解説を行う ・住民へ、HP等を通じ、主要河川の水位情報の取得の仕方を説明する	・出前講座等の機会に各種防災情報の取得方法について解説し、周知をしている。 ・防災情報の取得ツールに関するチラシを作成し、本市に転入してくる方に配付している。	・住民へ水害の切迫性が効果的に伝わるように解説を行う ・住民へ、HP等を通じ、主要河川の水位情報の取得の仕方を説明する	・出前講座等の機会に各種防災情報の取得方法について解説し、周知をしている。 ・防災情報の取得ツールに関するチラシを作成し、本市に転入してくる方に配付している。	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
18	・防災施設の機能に関する情報提供の充実	・避難所と避難場所の違いを周知 ・堤防やダム等の施設の能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性の周知	・避難所と避難場所の違いを周知 ・堤防やダム等の施設の能力を超過する規模の災害が発生した際の危険性の周知	避難所と避難場所の違いについて、HP等で周知	・避難所と避難場所の違いを周知 ・津波避難施設に関する情報を周知	出前講座や市ＨＰで周知した。	・避難所と避難場所の違いを周知 ・津波避難施設に関する情報を周知	出前講座や市ＨＰで周知した。	・避難所と避難場所の違いを周知 ・津波避難施設に関する情報を周知	避難所や避難場所、津波避難施設の役割をHPを通じて周知を図った。	住民周知を継続	出前講座等の機会や市HPを通じて避難所や避難場所、津波避難施設の役割を周知している。	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
◆セミナー・防災教育・訓練、計画策定等																					
19	・緊急行動トップセミナーの開催	・トップセミナーへの参加	・トップセミナーへの参加	未開催のため、未実施	・トップセミナーへの参加	未開催のため、未実施	・トップセミナーへの参加	欠席	・トップセミナーへの参加	欠席	・トップセミナーへの参加	欠席	○	○	○	○	○	○	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
20	・防災教育の促進	・住民向け出前講座の実施 ・学校防災教育の実施	・住民向け出前講座の実施 ・学校防災教育の実施	定期的に実施	・住民向け出前講座の実施 ・学校防災教育の実施	Ｒ５年１月末時点で138回の出前講座を実施	・住民向け出前講座の実施 ・学校防災教育の実施	R6年3月末時点で129回の出前講座を実施	・住民向け出前講座の実施 ・学校防災教育の実施	R7年1月末時点で144回の出前講座を実施	・住民向け出前講座の実施 ・学校防災教育の実施	R7.12末時点で、113回の出前講座を実施した。	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
21	**・災害の伝承**	・国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進 ・伝承碑が表示された地理院地図の活用	・伝承碑が表示された地理院地図の活用	国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進	国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進	・国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進 ・伝承碑が表示された地理院地図の活用	・伝承碑が表示された地理院地図の活用	・伝承碑が表示された地理院地図の活用	・伝承碑が表示された地理院地図の活用	・伝承碑が表示された地理院地図の活用	・伝承碑が表示された地理院地図の活用	・伝承碑が表示された地理院地図の活用	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	1：他と比べて低い	
22	・共助の仕組みの強化	・自主防災会、避難施設管理者、医師会等と市職員による会議の開催（75地区）	・自主防災会、避難施設管理者、医師会等と市職員による会議の開催（75地区）	各地区において、順次開催	自主防災会、避難施設管理者、医師会等と市職員による会議の開催（75地区）	各地区において順次開催	自主防災会、避難施設管理者、医師会等と市職員による会議の開催（75地区）	各地区において順次開催	自主防災会、避難施設管理者、医師会等と市職員による会議の開催（75地区）	各地区において順次開催	自主防災会、避難施設管理者、医師会等と市職員による会議の開催（75地区）	各地区において順次開催している。	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
23	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	–																			
24	・業務継続計画の策定	・業務継続計画の策定	・業務継続計画の定期的な見直し	未実施	風水害に対応した業務継続計画の策定の検討	未実施	風水害に対応した業務継続計画の策定の検討	庁内関係部署と風水害に対応した業務継続計画の策定の検討	風水害に対応した業務継続計画の策定の検討	庁内関係部署と風水害に対応した業務継続計画の策定の検討	風水害に対応した業務継続計画の策定の検討	風水害に対応した業務継続計画の策定の検討	○	○	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	2：どちらでもよい	
25	・総合的な土砂管理	–																			
水防：的確な水防活動のための取組																					
◆点検強化																					
26	・重要水防箇所の見直し	–																			
27	・防災計画に基づく水防資機材の配備	防災計画に基づく水防資機材の配備	防災計画に基づく水防資機材の配備	配置済み	防災計画に基づく水防資機材の配備	配置済み	防災計画に基づく水防資機材の配備	配置済み	防災計画に基づく水防資機材の配備	配置済み	防災計画に基づく水防資機材の配備	配置済み	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
28	・共同点検・合同巡視の実施	参加予定	参加予定	未開催のため、未実施	共同点検・合同巡視への参加	未開催のため、未実施	共同点検・合同巡視への参加	共同点検・合同巡視への参加	共同点検・合同巡視への参加	共同点検・合同巡視への参加	共同点検・合同巡視への参加	共同点検・合同巡視への参加	○	○	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
29	・関係機関が連携した実動水防訓練の実施	参加予定	参加予定	R3.6月に水防訓練を実施	関係機関が連携した水防訓練への参加	Ｒ４年６月に水防訓練を実施	関係機関が連携した水防訓練への参加 洪水対応演習のホットラインに参加	災害対応により中止	関係機関が連携した水防訓練への参加	令和６年６月２日水防演習実施	関係機関が連携した水防訓練への参加	令和７年６月１日水防演習実施	▲	●	○	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
◆体制確保																					
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	–																			
31	・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	随時実施	随時実施	水防団員募集チラシを作成し、住民に対し配布	水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保	・水防団員募集に関するページをHPに掲載した。 ・水防団の活動について広報紙に掲載し、周知を行った。	水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保	・水防団員募集に関するページをHPに掲載した。 ・水防団の活動について広報紙に掲載し、周知を行った。	水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保	・水防団員募集に関するページをHPに掲載した。 ・水防団の活動について広報紙に掲載し、周知を行った。 ・地域のイベントに参加し、ポスター、リーフレット等を使用し、募集活動を行った	水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保	・水防団員募集に関するページをHPに掲載した。 ・水防団の活動について広報紙に掲載し、周知を行った。 ・地域のイベントに参加し、ポスター、リーフレット等を使用し、募集活動を行った	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**静岡市**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：５年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目	No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実施時期 R3	R4	R5	R6	R7	ALL	5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）			実施内容	予定	実績	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施									
	32	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	・静岡地域大規模氾濫減災協議会、富士川流域減災協議会、関係連絡会等への参加・運営 ・水防協議会の開催・水防計画の見直し ・地域住民も参加した重要水防箇所の点検	・静岡地域大規模氾濫減災協議会、富士川流域減災協議会、関係連絡会等への参加・運営 ・水防協議会の開催・水防計画の見直し ・地域住民も参加した重要水防箇所の点検	・協議会への参加については実施済み ・水防協議会の開催、水防計画の見直しについては２年に１度行うため、来年度実施予定	・静岡地域大規模氾濫減災協議会、富士川流域減災協議会、関係連絡会等への参加・運営 ・水防協議会の開催・水防計画の見直し	・協議会への参加については実施済み ・水防協議会については、２月15日に実施予定	・静岡地域大規模氾濫減災協議会、富士川流域減災協議会、関係連絡会等への参加 ・水防協議会の開催・水防計画の見直し	・協議会への参加 ・水防協議会については、３月に書面会議を開催	・静岡地域大規模氾濫減災協議会、富士川流域減災協議会、関係連絡会等への参加 ・水防協議会の開催・水防計画の見直し	・静岡地域大規模氾濫減災協議会、富士川流域減災協議会、関係連絡会等への参加 ・水防計画と地域防災計画を一本化し見直しを実施	・静岡地域大規模氾濫減災協議会、富士川流域減災協議会、関係連絡会等への参加 ・防災会議の開催・地域防災計画の見直し	・静岡地域大規模氾濫減災協議会、富士川流域減災協議会、関係連絡会等への参加 ・防災会議の開催・地域防災計画の見直しを実施	▲	▲	●	●	●	★	レベル３：全て実施済	３：非常に高い	
	33	・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	随時実施	随時実施	自主防災組織を対象とした講演会において、水害に関する情報を提供	自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	自主防災組織を対象とした講演会を実施するにあたり、被災経験者や防災に関する専門家を講師に招き、共助や事前の備えの重要性について解説してもらうことで、自主防災組織の育成を行っている。	自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	自主防災組織を対象とした講演会を実施するにあたり、被災経験者や防災に関する専門家を講師に招き、共助や事前の備えの重要性について解説してもらうことで、自主防災組織の育成を行っている。	自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	自主防災組織のリーダー向けに行う研修の中で、座学に加え消防職員による実技や起震車を活用した体験等を実施し、自主防災組織の育成を行っている。	自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	地域防災訓練を通じて、災害時の行動を実技により習得するとともに、防災資機材の購入や防災倉庫の設置等を補助することにより、自主防災組織の育成を行っている。	▲	●	●	●	●	★	レベル３：全て実施済	３：非常に高い	
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減**等**に関する取組																						
◆実践強化																						
	34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	－																			
	35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	－																			
	36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	引き続き実施	静岡河川事務所の講習に参加	講習に参加	静岡河川事務所の講習に参加	新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会が中止となったため、未実施	静岡河川事務所の講習に参加	欠席	静岡河川事務所の講習に参加	静岡河川事務所の講習に参加	静岡河川事務所の講習に参加	静岡河川事務所の講習に参加	▲	●	●	●	●	★	レベル３：全て実施済	３：非常に高い	
◆機能保全																						
	37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	－																			
	38	・排水設備の機能保全	－																			
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																						
◆堤防及び諸施設の整備・機能確保等																						
	39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	－																			
	40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	－																			
	41	・本川と支川の合流部等の対策	・ハザードマップ配布による住民周知	・HP等でのハザードマップの周知を実施	HP等でのハザードマップを周知	ハザードマップ配布による住民周知	ハザードマップの市ＨＰでの周知に加え、説明会の開催等で「わたしの避難計画」の作成を推進した。	ハザードマップ配布による住民周知	ハザードマップの市ＨＰでの周知に加え、説明会の開催等で「わたしの避難計画」の作成を推進した。	ハザードマップ配布による住民周知	ハザードマップの市ＨＰでの周知に加え、説明会の開催等で「わたしの避難計画」の作成を推進した。	ハザードマップ配布による住民周知	ハザードマップの市ＨＰでの周知に加え、転入者に対するハザードマップの周知チラシを配布している。	▲	●	●	●	●	★	レベル３：全て実施済	２：どちらでもよい	
	42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	－																			
	43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	－																			
	44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	－																			
	45	・避難場所として活用できる堤防整備（宇坪地区、富士川地区）	－																			
	46	・応急的な退避場所の確保	・緊急避難場所の指定見直し	・緊急避難場所の指定見直し	見直しを行った	・緊急避難場所の指定見直し	順次見直しを実施	緊急避難場所の指定見直し	順次見直しを実施	緊急避難場所の指定見直し	順次見直しを実施	緊急避難場所の指定見直し	順次見直しを実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル３：全て実施済	２：どちらでもよい	
	47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	－																			
	48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	－																			
◆情報伝達等に係る機器等の整備																						
	49	・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	－																			

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

東日本旅客鉄道株式会社　八王子支社

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：５年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実施時期						5カ年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
		実施内容	予定	実績	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	R3	R4	R5	R6	R7	ALL			
避難：円滑かつ迅速な避難のための取組																					
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等																					
1	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及びタイムラインに基づく訓練の実施	－																			
2	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	－																			
3	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	－																			
4	**・多機関連携型タイムラインの拡充**	－																			
5	・洪水対応情報伝達演習の実施	－																			
6	・「避難判断基準等検討支援システム」の更新・活用	－																			
7	・ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供	－																			
8	・適切な土地利用の促進	－																			
9	**・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進**	－																			
10	・災害リスクの現地表示	－																			
11	**・広域避難体制の構築**	大規模災害における帰宅困難者の対応に関する協定締結に向けて取組む（山梨市とは締結済）	関係自治体との連携強化に向けた取組み	山梨交通強靭化プロジェクトと災害情報連携について意見交換を実施	関係自治体との連携強化に向けた取組み	甲州市・山梨市・笛吹市が実施しているシェイクアウト訓練（地震発生時に身を守る行動）に参加。	甲州市・山梨市共のシェイクアウト訓練に塩山駅も参加する。	甲州市・山梨市の防災訓練はなかった。	甲州市、山梨市共に、防災訓練の計画はないが、シェイクアウト訓練については実施するとの事であり塩山駅も参加する。	甲州市・山梨市の防災訓練はなかった。	甲州市、山梨市共にシェイクアウト訓練に塩山駅も参加する。	甲州市・山梨市の防災訓練はなかった。	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル1：課題を把握	2：どちらでもよい	
12	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	－																			
◆防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等																					
13	・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断のための富士川水系情報提供システムの活用	－																			
14	・防災情報の充実や表現の工夫	－																			
15	・防災・気象情報等の配信方法の充実	－																			
16	・観測体制の充実や予測技術の高度化	－																			
17	・洪水予測や河川水位の状況に関する解説	－																			
18	・防災施設の機能に関する情報提供の充実	－																			
◆セミナー・防災教育・訓練、計画策定等																					
19	・緊急行動トップセミナーの開催	－																			
20	・防災教育の促進	－																			
21	**・災害の伝承**	－																			
22	・共助の仕組みの強化	－																			
23	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	－																			
24	・業務継続計画の策定	－																			
25	・総合的な土砂管理	－																			
水防：的確な水防活動のための取組																					
◆点検強化																					
26	・重要水防箇所の見直し	－																			
27	・防災計画に基づく水防資機材の配備	－																			
28	・共同点検・合同巡視の実施	－																			
29	・関係機関が連携した実動水防訓練の実施	旅客救済訓練時の関係自治体の参加呼びかけ	現車を使用した訓練を計画	6/3～4に荒川氾濫を想定し対策本部運営を含め現車を使用した車両疎開訓練を実施（自社内）	現車を使用した訓練を計画	水害を想定し、6月2日から3日の夜間に実際の列車を使用した訓練を実施	令和5年度も、実際の現車を使用した訓練を実施予定	6/1～6/2の夜間に甲府駅電留線から甲府駅及び竜王駅への疎開訓練を実施した。	2024年度は5/16～5/17にかけて実施予定である。	5/16～5/17の夜間に甲府駅電留線から甲府駅への疎開訓練を実施した。	2025年度は第1四半期の日中帯に訓練を実施予定。	6/16に甲府駅電留線から甲府駅への車両疎開訓練を実施した。	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
◆体制確保																					
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	－																			
31	・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	－																			
32	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	※要請に基づき個別対応	－	－	－	－	－	未実施	未実施	未実施	予定なし	未実施	○	○	○	○	○	○	レベル1：課題を把握	2：どちらでもよい	
33	・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	－																			
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減**等**に関する取組																					
◆実践強化																					
34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	－																			
35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	－																			
36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	－																			
◆機能保全																					
37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	－																			
38	・排水設備の機能保全	－																			
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																					
◆堤防及び諸施設の整備・機能確保等																					
39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	－																			
40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	－																			
41	・本川と支川の合流部等の対策	－																			
42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	－																			
43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	－																			
44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	－																			
45	・避難場所として活用できる堤防整備（宇坪地区、富士川地区）	－																			
46	・応急的な退避場所の確保	－																			
47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	－																			
48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	－																			
◆情報伝達等に係る機器等の整備																					
49	・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	－																			

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

日本貨物鉄道株式会社

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実施時期					5カ年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
		実施内容	予定	実績	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	R3	R4	R5	R6	R7			
避難：円滑かつ迅速な避難のための取組																				
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等																				
1	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及びタイムラインに基づく訓練の実施	—																		
2	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	—																		
3	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	—																		
4	**・多機関連携型タイムラインの拡充**	・貨物駅の社員や利用者（トラック事業者等）の避難誘導、貨物列車の運転休止の情報提供、貨物車両の退避等のタイミングを整理したタイムライン（事前防災行動計画）を作成する。	・貨物駅の社員や利用者（トラック事業者等）の避難誘導を行うにあたって、関係機関との連携を確立し、必要な情報の把握や課題を整理する。	連携すべき関係機関を抽出中	関係機関との連携の確立を目指す	貨物列車の運休情報の提供は行っているが、タイムラインは今後調整していく。	関係機関と連携し、タイムラインの作成を目指す。	貨物駅の社員に避難箇所を周知している。また、貨物列車の運転休止の情報提供については、インターネット等によりトラック事業者等に情報を発信している。タイムラインについては今後の課題。	タイムラインの検討	貨物駅の社員に避難箇所を周知している。また、貨物列車の運転休止の情報提供については、インターネット等によりトラック事業者等に情報を発信している。タイムラインについては今後の課題。	タイムラインの検討	貨物駅の社員に避難箇所を周知している。また、貨物列車の運転休止の情報提供については、インターネット等によりトラック事業者等に情報を発信している。タイムラインについては、インターネット等により、貨物車両の運転休止の情報提供を発信している。タイムラインについては今後の課題。 浸水想定が50cmであることも踏まえ、必要に応じ直上避難することとした。	▲	▲	▲	●	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
5	・洪水対応情報伝達演習の実施	—																		
6	・「避難判断基準等検討支援システム」の更新・活用	—																		
7	・ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供	—																		
8	・適切な土地利用の促進	—																		
9	**・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進**	—																		
10	・災害リスクの現地表示	・貨物駅内において、洪水浸水想定区域図を掲示するなど、浸水に対するリスクの表示を行う。	・浸水のリスクの可能性がある貨物駅での想定最大浸水深や過去の水害の発生状況を確認する。	富士駅（貨物）の洪水浸水想定の確認を行った。	浸水に対するリスクの表示方を検討	駅内に洪水浸水の掲示をしている。	浸水に対するリスクの表示方を検討	事務所内に洪水浸水区域を掲出し、誰でも分かるようにしている。	—	事務所内に洪水浸水区域を掲出し、誰でも分かるようにしている。	—	事務所内に洪水浸水区域を掲出し、誰でも分かるようにしている。	▲	○	●	●	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
11	**・広域避難体制の構築**	・関係機関と連携し、帰宅困難者等が貨物駅を一時的な待機場所として使用できるか検討する。	・浸水被害発生時の避難誘導や待機場所等について関係機関と打合せを進める。	避難誘導や待機場所等の検討は未実施	避難誘導や待機場所等の検討を進める	貨物駅構内はフォークリフト等の移動があり待避箇所としては難しいが、今後も検討は行っていく。	避難誘導や待機場所等の検討を進める	検討したが列車・車両の進来やフォークリフト作業等危険が多いことから避難箇所としては難しいと判断。	—	検討したが列車・車両の進来やフォークリフト作業等危険が多いことから避難箇所としては難しいと判断。	—	検討したが列車・車両の進来やフォークリフト作業等危険が多いことから避難箇所としては難しいと判断。	○	○	●	●	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
12	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	—																		
◆防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等																				
13	・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断のための富士川水系情報提供システムの活用	—																		
14	・防災情報の充実や表現の工夫	—																		
15	・防災・気象情報等の配信方法の充実	・関係自治体からの避難情報などの防災・気象情報を貨物駅の社員や利用者等（トラック事業者）へ提供する。水害リスクラインの活用も検討する。	・関係自治体からの避難情報などの防災・気象情報を把握する。水害リスクラインの活用も検討する。	自治体からの防災情報や気象情報を活用中	水害リスクラインの活用も検討	自治体等の水害ラインでの情報を収集している。	水害リスクラインの活用も検討	ウエザーニュース社からの情報提供を受けることになっており、社員等に提供している。	—	ウエザーニュース社からの情報提供を受けることになっており、社員等に提供している。	—	ウエザーニュース社からの情報提供を受けることになっており、社員等に提供している。	▲	○	●	●	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
16	・観測体制の充実や予測技術の高度化	—																		
17	・洪水予測や河川水位の状況に関する解説	—																		
18	・防災施設の機能に関する情報提供の充実	・浸水対策用具（土のう等）の使い方や効果を情報提供する。	・浸水対策用具（土のう等）を準備する。	浸水対策用具の準備は未実施	浸水対策用具の準備を進める	土のうの整備を行い、定期的に点検している。	浸水対策用具の準備を進める	防災訓練時に周知している。	—	防災訓練時に周知している。	—	防災訓練時に周知している。	○	○	●	●	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
◆セミナー・防災教育・訓練、計画策定等																				
19	・緊急行動トップセミナーの開催	—																		
20	・防災教育の促進	—																		
21	**・災害の伝承**	—																		
22	・共助の仕組みの強化	・関係する自治体と協力し、大規模氾濫の発生を想定した避難誘導訓練を貨物駅の社員や利用者等（トラック事業者）を含めて実施する。	・関係する自治体と協力し、大規模氾濫の発生を想定した避難誘導訓練の検討を行う。	連携すべき関係機関の抽出中	関係機関との連携を進める	氾濫時の避難誘導箇所を明示した。	関係機関との連携を進める	防災訓練時に関係者と合同で実施している。	—	防災訓練時に関係者と合同で実施している。	—	防災訓練時に関係者と合同で実施している。	▲	○	●	●	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
23	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	・貨物駅構内の浸水を想定し、避難基準や連絡体制等を検討する。	・貨物駅構内の浸水を想定し、避難基準や連絡体制等を検討する。	富士駅（貨物）の洪水浸水想定の確認を行った。	避難基準や連絡体制等を検討	避難基準や連絡体制表は今後作成していく。	避難基準や連絡体制表は作成していく。	利用運送事業者を含め連絡体制を整備している。	—	利用運送事業者を含め連絡体制を整備している。	—	利用運送事業者を含め連絡体制を整備している。	▲	▲	●	●	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
24	・業務継続計画の策定	・水害に対するBCP（事業継続計画）を策定し、車両の退避や社員の避難の基準について記載する。	・車両の退避や社員の避難の基準について検討する。	避難の基準の検討は未実施	車両の退避や社員の避難の基準を検討	車両の退避や社員の避難の基準を検討	車両の退避や社員の避難の基準を検討	BCPについては検討	BCPについて検討	BCPについては検討	BCPについて検討	社員の安否確認を行うこととしている。	○	▲	▲	●	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
25	・総合的な土砂管理	—																		
水防：的確な水防活動のための取組																				
◆点検強化																				
26	・重要水防箇所の見直し	—																		
27	・防災計画に基づく水防資機材の配備	・浸水防止対策に必要と考えられる資材等を配備するため、必要な資材の適正な数量を定めるとともに入手計画を立てる。 ・浸水防止のための対策用具（土のう）等を備蓄する。	・浸水防止対策に必要な資材等について検討する。	浸水対策用具の検討は未実施	浸水防止対策に必要な資材等について検討する。	浸水防止対策に必要な資材等について検討する。	浸水防止対策に必要な資材等について検討する。	土嚢を120個整備している。	—	土嚢を120個整備している。	—	土嚢を120個整備している。	○	▲	●	●	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
28	・共同点検・合同巡視の実施	—																		
29	・関係機関が連携した実動水防訓練の実施	・関係する自治体と協力し、大規模氾濫の発生を想定した避難誘導訓練を貨物駅の社員や利用者等（トラック事業者）を含めて実施する。	・関係する自治体と協力し、大規模氾濫の発生を想定した避難誘導訓練の検討を行う。	避難誘導訓練の検討は未実施	避難誘導訓練の検討を進める	避難誘導訓練の検討を進める	避難誘導訓練の検討を進める	避難箇所（第一小学校）の確認をw行った。	—	避難箇所（第一小学校）の確認を行った。	—	避難箇所（第一小学校）へ実際に避難する訓練を行った。	○	▲	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	完了：目標達成	
◆体制確保																				
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	—																		
31	・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	—																		
32	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	・貨物駅社員と水防関係者間の連携を強化する。	・貨物駅社員と水防関係者間の連携を強化するため、必要に応じて打合せや情報交換等を行う。	水防関係者との打合せ等は未実施	必要に応じて、水防関係者との打合せや情報交換等を検討	必要に応じて、水防関係者との打合せや情報交換等を検討	必要に応じて、水防関係者との打合せや情報交換等を検討	協議会等を通じて情報収集を行っている。	—	協議会等を通じて情報収集を行っている。	—	協議会等を通じて情報収集を行っている。	○	▲	●	●	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
33	・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	—																		
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減等に関する取組																				
◆実践強化																				
34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	—																		
35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	—																		
36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	—																		
◆機能保全																				
37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	—																		
38	・排水設備の機能保全	—																		
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																				
◆堤防及び措施設の整備・機能確保等																				
39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	—																		
40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	—																		
41	・本川と支川の合流部等の対策	—																		
42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	—																		
43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	—																		
44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	—																		
45	・避難場所として活用できる堤防整備（宇坪地区、富士川地区）	—																		
46	・応急的な退避場所の確保	—																		
47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	—																		
48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	・洪水時の貨物駅の機能確保のための対策を進める。 ・非常用の発電機等の準備を検討する。	・洪水時の貨物駅の機能確保のための対策を進める。 ・非常用の発電機等の準備を検討する。	機能確保のための対策は未実施	洪水時の貨物駅の機能確保のための対策を検討	未実施	洪水時の貨物駅の機能確保のための対策を検討	近隣の拠点となる貨物駅に発電機を整備している。	—	近隣の拠点となる貨物駅に発電機を整備している。	—	近隣の拠点となる貨物駅に発電機を整備している。	○	▲	●	●	★	レベル3：全て実施済	完了：目標達成	
◆情報伝達等に係る機器等の整備																				
49	・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	—																		

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**山梨県**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実施時期					5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
		実施内容	予定	実績	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	R3	R4	R5	R6	R7			
避難：円滑かつ迅速な避難のための取組																				
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等																				
1	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及びタイムラインに基づく訓練の実施	・市町に対する情報提供、助言	・市町に対する情報提供、助言	洪水予報河川・水位周知河川沿川の市町村について作成支援を実施	引き続き実施	洪水予報河川・水位周知河川沿川の市町村について作成支援を実施	引き続き実施	洪水予報河川・水位周知河川沿川の市町村について作成支援を実施	引き続き実施	市町村担当者を対象に、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成および避難訓練の実施等について説明会を実施	引き続き実施	浸水想定区域内の要配慮者利用施設（県立青洲高校）において、町担当者および施設利用者を対象とした県政出張講座の機会を活用し、洪水発生時における円滑かつ迅速な避難確保を図るため、避難訓練の実施等について説明	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
2	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	・市町に対する情報提供、助言	・市町に対する情報提供、助言	避難指示の発令基準の見直し支援として、洪水対応訓練(R3.5.12)を実施	引き続き実施	－	－						▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
3	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	－																		
4	**・多機関連携型タイムラインの拡充**	・多機関連携型タイムライン検討会への参加	・多機関連携型タイムライン検討会への参加	多機関連携型タイムラインの勉強会(R3.10.25)に参加	引き続き実施	R4年度は未実施	引き続き実施	R5年度は未実施	引き続き実施	R6年度は未実施	引き続き実施	国土交通省と連携した洪水対応演習を実施し、ホットライン等の連絡の確認を実施	●	○	○	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
5	・洪水対応情報伝達演習の実施	・洪水対応情報伝達演習の実施	・令和３年5月に甲府河川国道事務所の洪水対応情報伝達演習に参加予定	洪水対応情報伝達演習(R3.5.12)を実施	引き続き実施	洪水対応訓練(R4.5.12)を実施	引き続き実施	洪水対応訓練(R5.5.10)を実施	引き続き実施	洪水対応訓練(R6.5.9)を実施	引き続き実施	洪水対応演習(R7.5.14)を実施	●	●	★	★	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
6	・「避難判断基準等検討支援システム」の更新・活用	－																		
7	・ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供	・水害、土砂災害リスク等を考慮したハザードマップの作成支援として、水害、土砂災害リスクに関する情報提供 ・国の財政措置に関する情報提供、助言	・鎌田川、貫川、戸川の浸水想定区域図のデータ提供 ・市町へのヒアリングを実施し情報提供・助言	・鎌田川、貫川、戸川の浸水想定区域図のデータ提供 ・市町へのヒアリングを実施し情報提供・助言	引き続き実施	市町へのヒアリングを実施し情報提供、助言	土砂災害ハザードマップ：丹波山村 洪水ハザードマップ：甲府市、中央市、富士川町、昭和町	市町へのヒアリングを実施し情報提供、助言	土砂災害ハザードマップ：南アルプス市 洪水ハザードマップ：甲府市、南アルプス市	市町村担当者を対象に、水害・土砂災害リスク情報に関する情報提供と国および県の財政支援について説明会を実施	土砂災害ハザードマップ：山梨市 洪水ハザードマップ：甲府市、山梨市、中央市	土砂災害ハザードマップ：山梨市 洪水ハザードマップ：甲府市、山梨市	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
8	・適切な土地利用の促進	・不動産関係団体への水害リスクに関する情報の解説を支援	・不動産関係団体の講習会等で水害リスクについて解説	市町村のハザードマップ作成状況を不動産関係団体に情報提供	引き続き実施	市町村のハザードマップ作成状況を不動産関係団体へ情報提供	引き続き実施	市町村のハザードマップ作成状況を不動産関係団体へ情報提供	引き続き実施	洪水浸水想定区域の指定状況およびハザードマップの作成状況を不動産関係団体へ情報提供	引き続き実施	洪水浸水想定区域の指定状況およびハザードマップの作成状況を不動産関係団体へ情報提供	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
9	**・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進**	・市町に対する情報提供、助言	・市町に対する情報提供、助言	県政出張講座等で水害・土砂災害リスクに関する情報提供	引き続き実施	県政出張講座等で水害・土砂災害リスクに関する情報提供	引き続き実施	県政出張講座等で水害・土砂災害リスクに関する情報提供	引き続き実施	市町村担当者説明会において情報提供	引き続き実施	県政出張講座等で水害・土砂災害リスクに関する情報提供	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
10	・災害リスクの現地表示	・国の財政措置に関する情報提供、助言	・市町へのヒアリングを実施し情報提供、助言	・市町へのヒアリングを実施し情報提供、助言	引き続き実施	市町へのヒアリングを実施し情報提供、助言	引き続き実施	市町へのヒアリングを実施し情報提供、助言	引き続き実施	市町村担当者説明会において、わがまちハザードマップに関する財政措置を含めた情報提供	引き続き実施	市町へのヒアリングを実施し情報提供、助言	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
11	**・広域避難体制の構築**	広域避難計画の策定支援	広域避難計画の策定支援	広域避難検討会を３回開催	引き続き実施	8月に広域避難検討会を実施	引き続き実施	・広域避難検討会の実施（R5.12.26） ・避難所収容人数の見直し	引き続き実施	・広域避難検討会の実施（R6.5.31） ・広域避難運営広域避難施設・開設避難マニュアルひな形作成	引き続き実施	・広域避難検討会の実施（R7.5.29） ・広域避難に関する専門家による講演を実施（R7.5.29）	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
12	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	計画作成支援	計画作成支援	市町村訪問　20自治体	引き続き実施	市町村に対する情報提供・助言	引き続き実施	・市町村に対する情報提供・助言	引き続き実施	市町村担当者を対象に、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成および避難訓練の実施等について説明会を実施	引き続き実施	・要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練を実施	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
◆防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等																				
13	・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断のための富士川水系情報提供システムの活用	－																		
14	・防災情報の充実や表現の工夫	・警戒レベルの見直しに伴うシステム改修 ・警戒レベルの周知	・警戒レベルの見直しに伴うシステム改修 ・警戒レベルの周知	・警戒レベルの見直しに伴うシステム及び防災ポータルの改修 ・警戒レベルの周知	分かりやすい表現等の検討	市町村研修を通じ、警戒レベルを付記した避難情報発令の徹底	引き続き、わかりやすい表現等を検討	・市町村研修を通じ、警戒レベルを付記した避難情報発令の徹底	引き続き、わかりやすい表現等を検討	・市町村研修を通じ、警戒レベルを付記した避難情報発令の徹底	引き続き、わかりやすい表現等を検討	・市町村研修を通じ、迅速な情報発信や補足情報を付記したわかりやすい情報発信を徹底	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
15	・防災・気象情報等の配信方法の充実	・緊急速報メールのほか、配信手段の多様化を検討	・新たな配信手段の検討	防災ポータルやツイッターによる情報配信の実施	新たな配信手段の検討	・防災ポータルや防災ツイッターによる情報配信の実施 ・総合防災情報システムからの緊急速報メール配信機能に楽天モバイルを追加	引き続き、新たな配信手段や効果的な方法を検討	・防災ポータルや防災X（旧ツイッター）による情報配信の実施	引き続き新たな配信手段や効果的な方法を検討	・防災ポータルや防災X（旧ツイッター）による情報配信の実施	引き続き新たな配信手段や効果的な方法を検討	・防災ポータルや防災X（旧ツイッター）による情報配信の実施	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
16	・観測体制の充実や予測技術の高度化	・危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラの増設	・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの整備	危機管理型水位計および簡易型監視カメラの整備	引き続き実施	危機管理型水位計および簡易型監視カメラの整備	引き続き実施	危機管理型水位計および簡易型監視カメラの整備	引き続き実施	危機管理型水位計および簡易型監視カメラの整備	引き続き実施	危機管理型水位計および簡易型監視カメラの整備	●	▲	▲	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
17	・洪水予測や河川水位の状況に関する解説	・報道機関と連携したよりわかりやすい情報の提供	・報道機関と連携したよりわかりやすい情報の提供	危機管理型水位計および簡易型監視カメラの整備	分かりやすい情報提供の検討	洪水予測システムの改修	分かりやすい情報提供の検討	洪水予測システムの改修	分かりやすい情報提供の検討	水位到達情報の発表様式に警戒レベルの表示を追加	引き続き実施	洪水時に県の河川監視CCTVカメラ映像を報道機関３社へ配信する覚書を締結し、テレビ放送等への映像提供	●	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
18	・防災施設の機能に関する情報提供の充実	・堤防やダム等の施設に係る機能や避難の必要性について住民への説明	・県政出張講座や施設見学会等で情報提供	県政出張講座や施設見学で防災にかかる教育等の実施	引き続き実施	県政出張講座や施設見学で防災にかかる教育等の実施	引き続き実施	県政出張講座や施設見学で防災にかかる教育等の実施	引き続き実施	県政出張講座や施設見学で防災にかかる教育等の実施	引き続き実施	県政出張講座や施設見学で防災にかかる教育等の実施	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
◆セミナー・防災教育・訓練、計画策定等																				
19	・緊急行動トップセミナーの開催	－																		
20	・防災教育の促進	・教育機関への講師派遣	・教育機関への講師派遣	県HPにおける小中学生向けのテキストの掲出	引き続き実施	小中学生向けテキストの作成 小中学生向け防災教室の実施	小中学生向け防災教室の実施	・小中学生向け防災教室の実施	引き続き実施	・小中学生向け防災教室の実施	引き続き実施	・防災教育に関するシンポジウムの参加 ・小中学生等を対象とした水災害教育の支援を検討中	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
21	**・災害の伝承**	－																		
22	・共助の仕組みの強化	・住民参加型の避難訓練の支援 ・地域防災リーダの要請に係る講座の実施	・住民参加型の避難訓練の支援 ・地域防災リーダの要請に係る講座の実施	地域防災リーダー養成講座を9回開催し、計201名が参加	引き続き実施	地域防災リーダー養成に係る講座の実施	引き続き実施	・地域防災リーダー養成に係る講座の実施	引き続き実施	・地域防災リーダー養成に係る講座の実施	引き続き実施	・地域防災リーダー育成講習会を毎年実施	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
23	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	－																		
24	・業務継続計画の策定	・業務継続計画の見直し	・業務継続計画の見直し	H25.3策定 H28.4改訂 H29.11改訂 H30.11改訂 R2.1改訂 R3.2改訂 R4.1改訂	引き続き実施	R4.1改訂 R5.1改訂	引き続き実施	・R5年12月改定	引き続き実施	・業務継続計画の見直し	引き続き実施	・業務継続計画の見直し	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
25	・総合的な土砂管理	－																		
水防：的確な水防活動のための取組																				
◆点検強化																				
26	・重要水防箇所の見直し	・重要水防箇所の見直し	・見直し作業を実施	重要水防区域合同パトロールの実施	見直し作業の検討	見直し作業を実施	見直し作業の検討	見直し作業を実施	見直し作業の検討	見直し作業を実施	引き続き実施	見直し作業を実施	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
27	・防災計画に基づく水防資機材の配備	・水防資機材の補充計画を立て、計画的な補充を行う	・計画的に補充を行う	計画的に補充を実施	引き続き実施	計画的に補充を実施	引き続き実施	計画的に補充を実施	引き続き実施	計画的に補充を実施	引き続き実施	計画的に補充を実施	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
28	・共同点検・合同巡視の実施	・水防連絡会等による水防管理団体等との共同点検の実施	・共同点検の実施	重要水防区域合同パトロールの実施	共同点検の実施検討	重要水防区域合同パトロールの実施	共同点検の実施検討	重要水防区域合同パトロールの実施	共同点検の実施検討	R6年度は未実施	共同点検の実施検討	出水前に共同点検と合同巡視を実施（R7.6.3、6.5、6.9）	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**山梨県**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：５年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		実施時期						5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
		実施内容	予定	実績	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	R3	R4	R5	R6	R7	ALL			
29	・関係機関が連携した実動水防訓練の実施	・5月の水防月間中に水防訓練を実施	・R3年5月に実施予定	重要水防区域合同パトロールの実施	R4年5月に水防訓練を大月市で実施予定	R4年5月に水防訓練を大月市で実施	R5年5月に水防訓練を甲斐市で実施予定	R5年5月に水防訓練を甲斐市で実施	R6年5月に水防訓練を富士川町で実施予定	R6年5月に水防訓練を富士川町で実施	R７年5月に水防訓練を富士河口湖町で実施予定	R７年5月に水防訓練を富士河口湖町で実施	●	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
◆体制確保																					
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	－																			
31	・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	・消防団員の確保支援	・市町村が実施する消防団員の活動環境の整備及び加入促進の支援	市町村間の取り組み状況の情報共有	引き続き実施	市町村間の取り組み状況の情報共有	引き続き実施	市町村間の取り組み状況の情報共有	引き続き実施	R6年度は未実施	引き続き実施	市町間の取り組み状況の情報共有	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
32	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	・出水時の水防活動状況を調査し、必要に応じて関係者間の協議の場を設ける	・減災対策協議会で情報共有	減災対策協議会で情報共有	引き続き実施	減災対策協議会で情報共有	引き続き実施	減災対策協議会で情報共有	引き続き実施	減災対策協議会で情報共有	引き続き実施	減災対策協議会で情報共有	●	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
33	・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	・防災知識の普及啓発を推進するために、地域防災リーダー向け研修の支援	・防災知識の普及啓発を推進するために、地域防災リーダー向け研修の支援	令和3年10月8日～10月31日までの間、4日間の平日コース・休日コースの2コースを開催 両コース合計で102名が参加	引き続き実施	地域防災リーダー向け研修の実施	引き続き実施	・地域防災リーダー向け研修の実施	引き続き実施	・地域防災リーダー向け研修の実施	引き続き実施	・防災リーダー養成講座の開催を計画中	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減**等**に関する取組																					
◆実践強化																					
34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	・市町に対する情報提供、助言	・市町に対する情報提供、助言	改修中の間門川について検討中	R4年度中に間門川の改修が完了し、捜査情報を共有する体制が確立される予定	地元市に操作情報を共有し、間門川排水機場の運用を開始	引き続き実施	地元市に操作情報を共有し、間門川排水機場の運用を開始	引き続き実施	市町に対し排水機場、樋門、水門の操作情報の共有	引き続き実施	市町に対し排水機場、樋門、水門の操作情報の共有	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	・市町に対する情報提供、助言	・市町に対する情報提供、助言	市町の取り組みに対して技術的支援・助言を実施	引き続き実施	市町の取り組みに対して技術的支援・助言を実施	引き続き実施	市町の取り組みに対して技術的支援・助言を実施	引き続き実施	市町の取り組みに対して技術的支援・助言を実施	引き続き実施	市町の取り組みに対して技術的支援・助言を実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	・市町に対する情報提供、助言	・市町に対する情報提供、助言	実績なし	引き続き実施	実績なし	引き続き実施	実績なし	引き続き実施	市町に対する講習会の情報提供	引き続き実施	山梨県水防訓練の終了後、国土交通省の排水ポンプ車を使用した操作講習会が行われ、県および町の防災担当者が参加	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
◆機能保全																					
37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	・市町に対する情報提供、助言	・市町に対する情報提供、助言	市町の取り組みに対して技術的支援・助言を実施	引き続き実施	市町の取り組みに対して技術的支援・助言を実施	引き続き実施	市町の取り組みに対して技術的支援・助言を実施	引き続き実施	市町の要請を受けた際に情報提供・助言を実施	引き続き実施	市町の要請を受けた際に情報提供・助言を実施	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
38	・排水設備の機能保全	・市町に対する情報提供、助言	・市町に対する情報提供、助言	市町の取り組みに対して技術的支援・助言を実施	引き続き実施	市町の取り組みに対して技術的支援・助言を実施	引き続き実施	市町の取り組みに対して技術的支援・助言を実施	引き続き実施	市町の要請を受けた際に情報提供・助言を実施	引き続き実施	市町の要請を受けた際に情報提供・助言を実施	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																					
◆堤防及び諸施設の整備・機能確保等																					
39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	洪水能力向上対策、浸透・侵食対策を実施予定	洪水能力向上対策、浸透・侵食対策を実施予定	洪水能力向上対策、浸透・侵食対策を実施中	引き続き実施	洪水能力向上対策、浸透・浸食対策を実施中	引き続き実施	洪水能力向上対策、浸透・浸食対策を実施中	引き続き実施	洪水能力向上対策、浸透・浸食対策を実施中	引き続き実施	洪水能力向上対策、浸透・浸食対策を実施中	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	－																			
41	・本川と支川の合流部等の対策	本川との合流部付近では、背水を考慮した改修を実施（鎌田川）	本川との合流部付近では、背水を考慮した改修を実施	本川との合流部付近では、背水を考慮した改修を実施中（鎌田川）	引き続き実施	本川との合流部付近では、背水を考慮した改修を実施中（鎌田川）	引き続き実施	本川との合流部付近では、背水を考慮した改修を実施中（鎌田川）	引き続き実施	本川との合流部付近では、背水を考慮した改修を実施中（鎌田川）	引き続き実施	本川との合流部付近では、背水を考慮した改修を実施中（鎌田川）	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	河川整備計画に基づき、重要区間から順次整備を進める	河川整備計画に基づき、重要区間から順次整備を進める	河川整備計画に基づき実施中	引き続き実施	河川整備計画に基づき実施中	引き続き実施	河川整備計画に基づき実施中	引き続き実施	河川整備計画に基づき実施中	引き続き実施	河川整備計画に基づき実施中	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	－																			
44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	－																			
45	・避難場所として活用できる堤防整備（宇坪地区、富士川地区）	－																			
46	・応急的な退避場所の確保	・市町に対する情報提供、助言	・市町に対する情報提供、助言	市町の取り組みに対して技術的支援・助言を実施	引き続き実施	市町に対する情報提供、助言	引き続き実施	市町に対する情報提供、助言	引き続き実施	市町に対する情報提供、助言	引き続き実施	市町に対する情報提供、助言	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	－																			
48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	－																			
◆情報伝達等に係る機器等の整備																					
49	・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	・地域特性に合った河川管理システムの構築に関する技術的検討を行う	・他県の事例収集を行う	ドローンの災害調査への活用	引き続き実施	ドローンの災害調査への活用	引き続き実施	ドローンの災害調査への活用	引き続き実施	ドローン等の新技術を活用し、河川管理施設の点検を実施	引き続き実施	ドローン等の新技術を活用し、災害調査および河川管理施設の点検を実施	●	▲	▲	▲	▲	☆	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**静岡県**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**静岡県**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

| 大項目 | | |

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

甲府地方気象台

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目

○概ね5年で実施する取組（令和7年度の実施状況集計）

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標 実施内容	令和3年度 予定	令和3年度 実績	令和4年度 予定	令和4年度 実施	令和5年度 予定	令和5年度 実施	令和6年度 予定	令和6年度 実施	令和7年度 予定	令和7年度 実施	実施時期 R3	R4	R5	R6	R7	ALL	5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
避難：円滑かつ迅速な避難のための取組																					
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等																					
1	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及びタイムラインに基づく訓練の実施	・要請に基づくタイムラインの作成支援	・要請に基づくタイムラインの作成支援	・自治体からの要請なし	・要請に基づくタイムラインの作成支援	要請なし未実施	・要請に基づくタイムラインの作成支援	要請なし	・要請に基づくタイムラインの作成支援	要請なし	・要請に基づくタイムラインの作成支援	要請なし	○	○	○	○	○	○	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	令和7年度の内容を入力
2	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	–																			
3	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	–																			
4	**・多機関連携型タイムラインの拡充**	・要請に基づくタイムラインの作成支援	・要請に基づくタイムラインの作成支援			要請なし未実施	・要請に基づくタイムラインの作成支援	2023.6.26、県、市町村防災担当者へ防災情報の改善と、流域タイムラインの概要と河川防災情報について、Web説明実施	・要請に基づくタイムラインの作成支援	要請なし	・要請に基づくタイムラインの作成支援	要請なし	○	○	●	○	○	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	令和6年度の入力誤りを修正 令和7年度の内容を入力
5	・洪水対応情報伝達演習の実施	・毎年出水期前に、甲府河川国道事務所と共同実施	・毎年出水期前に、甲府河川国道事務所と共同実施	・5/12 甲府河川国道事務所と共同実施	・毎年出水期前に、甲府河川国道事務所と共同実施	令和4年6月8日、6月20日実施	・毎年出水期前に、甲府河川国道事務所と共同実施	2023.5.10、甲府河川国道事務所と富士川（釜無川を含む）及び山梨県中北建設事務所と荒川、中北建設事務所峡北支所と塩川の洪水予報演習を実施	・毎年出水期前に、甲府河川国道事務所と共同実施	2024.5.9、甲府河川国道事務所と富士川（釜無川を含む）及び山梨県中北建設事務所と荒川、中北建設事務所峡北支所と塩川の洪水予報演習を実施	・毎年出水期前に、甲府河川国道事務所と共同実施	甲府河川国道事務所と富士川（釜無川を含む）洪水予報演習実施 山梨県中北建設事務所と荒川、中北建設事務所峡北支所と塩川の洪水予報演習を実施	●	●	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	令和7年度の内容を入力
6	・「避難判断基準等検討支援システム」の更新・活用	–																			
7	・ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供	–																			
8	・適切な土地利用の促進	–																			
9	**・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進**	–																			
10	・災害リスクの見地表示	–																			
11	**・広域避難体制の構築**	–																			
12	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・要請に基づく作成支援	要請に基き引き続き支援	・自治体からの要請なし	要請に基き引き続き支援	要請なし未実施	要請に基き引き続き支援	要請なし	要請に基き引き続き支援	要請なし	要請に基き引き続き支援	要請なし	○	○	○	○	○	○	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	令和7年度の内容を入力
◆防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等																					
13	・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断のための富士川水系情報提供システムの活用	–																			
14	・防災情報の充実や表現の工夫	防災情報提供システム、気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施	防災情報提供システム、気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施	気象台（気象庁）ホームページによる防災情報提供実施	気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施	・令和4年6月1日、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ。 ・令和4年6月13日、指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表。 ・令和4年6月30日、土砂キキクル、洪水キキクルの危険レベルに合わせた変更。 ・令和4年6月30日、大雨特別警報(浸水害)の指標の改善。 ・令和5年2月16日、水害リスクラインと洪水キキクルの統合表示。	気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施	気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を実施	気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施	2024.5.23 洪水キキクルの「流域雨量指数の予測値」へ河川（釜無川、塩川、荒川、笛吹川、尾白川、大柳川）を追加登録	気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施	・気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施 ・R8年度の防災情報の見直しに向けた調整等作業を実施	●	●	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	令和7年度の内容を入力
15	・防災・気象情報等の配信方法の充実	防災情報提供システム、気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を実施	防災情報提供システム、気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施 SNSを利用した気象台の地域防災支援に関する取り組みについての配信を実施。	防災情報提供システム、気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を実施 SNSに気象台の地域防災支援に関する情報配信を実施。	気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施 SNSを利用した気象台の地域防災支援に関する取り組みについての配信を実施。	・防災情報提供システム、気象庁HP、甲府地方気象台HPにて、防災情報を常時提供。 ・甲府地方気象台Twitterへ早期天候情報等を掲載。 ・甲府地方気象台youtubeへ甲府砂防事務所の協力をいただき大雨時の砂防堰堤の動画等を掲載。	気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施 SNSを利用した気象台の地域防災支援に関する取り組みについての配信を実施	気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施 SNSを利用した気象台の地域防災支援に関する取り組みについての配信を実施	気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施 SNSを利用した気象台の地域防災支援に関する取り組みについての配信を実施	・気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施 ・Web会議を利用して大雨説明会を実施。また、大雨時にweb会議を常時接続として、随時気象解説	気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施 SNSを利用した気象台の地域防災支援に関する取り組みについての配信を実施	・気象台（気象庁）ホームページによる情報提供を引き続き実施 SNSを利用した気象台の地域防災支援に関する取り組みについて情報発信 ・Web会議を利用し台風説明会を実施。	●	●	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	令和7年度の内容を入力
16	・観測体制の充実や予測技術の高度化	–																			
17	・洪水予測や河川水位の状況に関する解説	–																			
18	・防災施設の機能に関する情報提供の充実	–																			
◆セミナー・防災教育・訓練、計画策定等																					
19	・緊急行動トップセミナーの開催	–																			
20	・防災教育の促進	防災に関する出前講座を実施 防災知識の普及啓発を推進するために、地域防災リーダー向け研修の支援。 気象防災WSなど自治体防災担当者向けの研修支援。	防災に関する出前講座を実施 防災知識の普及啓発を推進するために、地域防災リーダー向け研修の支援。 気象防災WSなど自治体防災担当者向けの研修支援。 学校が行う防災教育への支援	防災に関する出前講座を実施 地域防災リーダー向け研修において防災講義実施（甲府市、甲斐市、南アルプス市、中央市、昭和町、富士川町、身延町、南部町、早川町、市川三郷町、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、中央市、道志村、西桂町、忍野村、鳴沢村、富士河口湖町、小菅村、丹波山村） 自治体防災担当者向けの気象防災WSを実施。 学校が行う防災教育への支援実施（学校防災指針の改定、防災講演）	防災に関する出前講座を実施 防災知識の普及啓発を推進するために、地域防災リーダー向け研修の支援。 気象防災WSなど自治体防災担当者向けの研修支援。 学校が行う防災教育への支援	・地域防災リーダー研修会へ講師派遣→11回派遣 ・防災に関する出前講座→18回実施 ・気象防災WS開催→4回実施 ・学校の防災教育支援→3回実施	防災に関する出前講座を実施 防災知識の普及啓発を推進するために、地域防災リーダー向け研修の支援。 気象防災WSなど自治体防災担当者向けの研修支援。 学校が行う防災教育への支援	・甲斐の国防災リーダー養成講座に講師を派遣した。 ・甲府市、甲斐市、上野原市防災リーダー養成講座に講師を派遣した。 ・2023.7.24県庁にて気象庁WS（土砂編）、2024.3.1峡南地域県民センターにて、気象庁WS（中小河川編）を利用した防災研修を実施。	防災に関する出前講座を実施 防災知識の普及啓発を推進するために、地域防災リーダー向け研修の支援。 気象防災WSなど自治体防災担当者向けの研修支援。 学校が行う防災教育への支援	・「気象台のトリセツ」を作成し、自治体防災担当職員への勉強会を11回開催 ・2024.6.6県庁、2024.9.24峡南地域県民センターにて、気象庁防災ワークショップを実施 ・各地で開催された地域防災リーダー養成講座に8回ほど講師を派遣した。	防災に関する出前講座を実施 防災知識の普及啓発を推進するために、地域防災リーダー向け研修の支援。 気象防災WSなど自治体防災担当者向けの研修支援。 学校が行う防災教育への支援	・各地で開催された地域防災リーダー養成講座へ講師を派遣 ・防災教育を実施する各学校の先生を対象に出前講座を実施	●	●	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	令和7年度の内容を入力
21	**・災害の伝承**	–																			
22	・共助の仕組みの強化	–																			
23	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	–																			
24	・業務継続計画の策定	–																			
25	・総合的な土砂管理	–																			
水防：的確な水防活動のための取組																					
◆点検強化																					
26	・重要水防箇所の見直し	–																			
27	・防災計画に基づく水防資機材の配備	–																			
28	・共同点検・合同巡視の実施	–																			
29	・関係機関が連携した実動水防訓練の実施	–																			
◆体制確保																					
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	–																			
31	・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	–																			
32	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	–																			
33	・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	–																			
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減**等**に関する取組																					
◆実践強化																					
34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	–																			
35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	–																			
36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	–																			
◆機能保全																					
37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	–																			
38	・排水設備の機能保全	–																			
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																					
◆堤防及び護岸施設の整備・機能確保																					
39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	–																			
40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	–																			
41	・本川と支川の合流部等の対策	–																			
42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	–																			
43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	–																			
44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	–																			
45	・避難場所として活用できる堤防整備（宇坪地区、富士川地区）	–																			
46	・応急的な退避場所の確保	–																			
47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	–																			
48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	–																			
◆情報伝達等に係る機器等の整備																					
49	・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	–																			

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）

国土交通省

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標 実施内容	令和3年度 予定	令和3年度 実施	令和4年度 予定	令和4年度 実施	令和5年度 予定	令和5年度 実施	令和6年度 予定	令和6年度 実施	令和7年度 予定	令和7年度 実施	実施時期 R3	R4	R5	R6	R7	ALL	5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
避難：円滑かつ迅速な避難のための取組																					
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等																					
1	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難指示の発令に着目したチェックリスト・タイムラインの見直し及びタイムラインに基づく訓練の実施	・自治体洪水資料の見直しを行う場を設ける ・自治体と連携し、タイムラインを活用した洪水対応訓練を実施 ・自治体タイムラインの検討支援	・自治体洪水資料の見直しを行う場として洪水対応演習の実施 ・自治体タイムラインの検討支援	▲	・笛吹市と山梨市で自治体タイムライン検討ワークショップの運営を支援（1月13日、2月7日）	・自治体洪水資料の見直しを行う場として洪水対応演習の実施	・事務所タイムライン（素案）を用いてウォークスルー訓練を実施（7月6日） ・出水対応の実効性向上のため状況予測型図上訓練を実施（8月25日）	・自治体洪水資料の見直しを行う場として洪水対応演習の実施	R5年度用自治体洪水対応資料の作成を実施	R6年度用自治体洪水対応資料の作成を実施	R6年度用自治体洪水対応資料の作成を実施	R6年度用自治体洪水対応資料の作成を実施	R7年度用自治体洪水対応資料の作成を実施	R7年度用自治体洪水対応資料の作成を実施	▲	●	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
2	・避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認	・洪水対応訓練の中で、避難指示の発令基準について見直すべき課題を明確にする ・自治体洪水対応資料の再認識してもらうために協議会等で周知する	・避難勧告の発令基準の見直し支援として、洪水対応演習を実施し、見直すべき課題を明確にする	●	・洪水対応演習におけるホットラインの実施を通じて、自治体の避難情報の発令基準確認のきっかけとした（5月12日） ・避難情報に関するガイドラインの改定の周知(多機関連携型タイムライン勉強会)	・避難指示の発令基準の見直し支援として、洪水対応訓練を実施し、見直すべき課題を明確にする	・洪水対応演習におけるホットラインの実施を通じて、自治体の避難情報の発令基準確認のきっかけとした（6月6日）	・避難指示の発令基準の見直し支援として、洪水対応訓練を実施し、見直すべき課題を明確にする	・洪水対応演習にて自治体洪水資料の見直しを行い、協力いただける自治体に対してホットライン伝達訓練を行った。	・避難指示の発令基準の見直し支援として、洪水対応訓練を実施し、見直すべき課題を明確にする	受け持ち区間のごとのホットライン伝達を洪水対応演習で実施した。	テレビ会議（Teams）を使ったホットライン伝達を実施し、見直すべき課題を明確にする。	訓練、演習の中で災害時のホットライン等連絡項目の確認を行っている。＜富士砂防事務所＞ ・洪水対応演習において、テレビ会議（Teams）を使ったホットライン伝達演習を実施	●	●	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
3	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	・ダムの事前放流の状況に関する情報を提供	・ダム管理者との事前調整	▲	・ダム洪水調節機能協議会を開催（9月16日書面開催）	・ダム洪水調節機能協議会にてダム管理者と情報提供について調整	・ダム洪水調節機能協議会を開催	・ダム洪水調節機能協議会にてダム管理者と情報提供について調整	・ダム洪水調節機能協議会を開催	・ダム洪水調節機能協議会にてダム管理者と情報提供について調整	・ダム洪水調節機能協議会を開催	・ダム洪水調節機能協議会にてダム管理者と情報提供について調整	今年度未実施	▲	▲	▲	▲	○	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
4	**・多機関連携型タイムラインの拡充**	・報道、公共交通機関等が参画した多機関連携タイムラインの作成支援としてタイムライン勉強会・検討会の場を設ける ・関係機関に対して富士川流域の地域特性や水害リスクを提供する	・関係機関に対して富士川流域の地域特性や水害リスクを提供する多機関連携型タイムライン作成に向けた勉強会を開催 ・タイムライン検討会の場を設ける	▲	・富士川水害タイムライン勉強会を10月4日～15日の期間で動画配信で実施。	・関係機関に対して富士川流域の地域特性や水害リスクを提供する多機関連携型タイムライン作成に向けた勉強会を開催 ・タイムライン検討会の場を設ける	・交通機関へ避難の実態や今後の課題についてヒアリングを実施（3月14日）	・タイムライン検討会に向けた調整を行う。	出水時の連絡体制に向けて検討を実施した。	出水時のホットライン等の連絡体制の確認を実施	・洪水対応演習を実施し、ホットライン等の連絡の確認を実施した。	出水時のホットライン等の連絡体制の確認を実施	・R7洪水対応演習を実施し、ホットライン等の連絡の確認を実施した。	▲	▲	▲	▲	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
5	・洪水対応情報伝達演習の実施	・毎年出水期前に洪水対応演習を実施	・5/12に洪水対応演習を実施	●	・洪水対応演習を実施し、体制や対応の流れを確認（5月12日）	・5月13日に洪水対応演習を実施	・洪水対応演習を実施し、体制や対応の流れを確認（6月6日）	・洪水対応演習を実施	・洪水対応演習を実施し、ホットライン等の情報伝達訓練を実施した。	・洪水対応演習を実施	・洪水対応演習を実施し、ホットライン等の情報伝達訓練を実施した。	・洪水対応演習を実施	・洪水対応演習を実施 ・国土交通省内での噴火時緊急調査連携体制演習の実施＜富士砂防事務所＞	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
6	・「避難判断基準等検討支援システム」の更新・活用	・「避難判断基準検討支援システム」の更新支援 ・「避難判断基準検討支援システム」の活用促進	（必要に応じて更新）	▲	・運用を継続	・必要に応じて更新	・運用を継続	・必要に応じて更新	・目的を達成したため運用を終了した。	—	—	—	—	▲	▲	★	★	★	レベル3：全て実施済	1：他と比べて低い	
7	・ハザードマップの作成、活用、周知による災害リスクの提供	・ハザードマップの作成支援、周知による、水害・土砂災害等のリスクを情報提供	・幹事会でハザードマップの作成事例を紹介 ・必要に応じ支援	▲	・幹事会でハザードマップの作成事例を紹介	・幹事会でハザードマップの作成事例を紹介 ・必要に応じ支援	・多段階浸水想定図の作成	・多段階浸水想定図の公表、周知	公開・周知を継続	・多段階浸水想定図の公表、周知	公開・周知を継続	・多段階浸水想定図の公表、周知	公開・周知を継続	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
8	・適切な土地利用の促進	・多段的な外力規模によるリスクマップの作成と活用	・多段的な外力規模によるリスクマップの作成	▲	・流域治水推進のための水災害リスク情報（リスクマップ）の作成	・流域治水推進のための水災害リスク情報（リスクマップ）の周知 ・都市計画法及び都市再生特別措置法の改正について協議会で周知	・多段階浸水想定図の作成	・多段階浸水想定図の公表、周知	公開・周知を継続	・多段階浸水想定図の公表、周知	公開・周知を継続	・多段階浸水想定図の公表、周知	多段階の浸水想定図、水害リスクマップの公開・周知を継続	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	1：他と比べて低い	
9	**・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進**	・マイ・タイムラインの作成支援として、防災担当者向けに作成ツールを体験する防災担当者研修を実施 ・マイ・タイムラインのトリガー情報となる情報の一元化	・情報提供システムにて、トリガー情報の集約 ・防災担当者向けに作成ツールを体験する防災担当者研修を実施	▲	・富士川水系情報提供システムにて気象・河川情報など、トリガーとなる情報の集約、提供	・富士川水系情報提供システムにて、トリガー情報の集約 ・マイ・タイムライン検討ツール等を体験する防災担当者研修を実施	・マイタイムライン作成支援システム（案）の構築 ・山梨大学、NPO法人へのヒアリングを実施（3月2日）	・マイ・タイムライン検討ツール等を体験する防災担当者研修を実施	・マイ・タイムライン作成支援ツール等を活用した防災に関する講習会を山梨市で実施した	・マイ・タイムライン作成支援ツールを公表する。	県河川の取り込みを行い、公表に向けて引き続き実施	・マイ・タイムライン作成支援ツールを公表する。	・マイ・タイムライン作成支援ツールを公表する。 ・希望者に向けて作成支援ツールの説明会を実施	▲	▲	▲	▲	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
10	・災害リスクの現地表示	・まるごとまちごとハザードマップの作成支援として、実施効果や有効性について協議会の場を活用し共有。 ・本省より、手引き・取扱ポイントが配布された場合、協議会において共有。	・まるごとまちごとハザードマップの作成支援として、実施効果や有効性について協議会の場を活用し共有。	●	・まるごとまちごとハザードマップの作成支援として浸水想定区域データを提供	・まるごとまちごとハザードマップの作成支援として浸水想定区域データを提供	・まるごとまちごとハザードマップの作成支援として浸水想定区域データを提供	・まるごとまちごとハザードマップの作成支援として浸水想定区域データを提供	・まるごとまちごとハザードマップの作成支援として浸水想定区域データを提供	・まるごとまちごとハザードマップの作成支援として浸水想定区域データを提供	・まるごとまちごとハザードマップの作成支援として浸水想定区域データを提供中	・まるごとまちごとハザードマップの作成支援として浸水想定区域データを提供	・まるごとまちごとハザードマップの作成支援として浸水想定区域データを提供中	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
11	**・広域避難体制の構築**	・広域避難計画の策定支援の実施。必要に応じて協議会等で共有する。	・必要応じて支援し、協議会等での共有	▲	・山梨県検討会に参加し、広域避難の基準検討を支援／多機関連携型タイムラインの必要性を解説	・広域避難体制確立のための「多機関連携型タイムライン検討会」を開催	・山梨県の広域避難シミュレーション訓練へ参加（3月16日）	・広域避難シミュレーション訓練に参加	・広域避難シミュレーション訓練に参加	・広域避難シミュレーション訓練に参加	・広域避難シミュレーション訓練に参加	・広域避難シミュレーション訓練に参加	—	▲	●	●	●	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
12	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成、訓練の進捗が遅れている自治体へ支援	—	▲	—	・避難確保計画作成を支援するツールの作成と試行	・協議会、幹事会で避難計画作成、訓練実施を促進	・避難確保計画作成を支援するツールの作成と試行	・マイ・タイムライン作成支援ツール内で要配慮者を考慮した内容とした。	・マイ・タイムライン作成支援ツールを公表する。	県河川の取り込みを行い、公表に向けて引き続き実施	・マイ・タイムライン作成支援ツールを公表する。	・マイ・タイムライン作成支援ツールを公表した。	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
◆防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等																					
13	・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断のための富士川水系情報提供システムの活用	・活用促進のため、事務所HPやTwitterでの周知 ・危機管理型水位計、管型河川監視カメラの追加表示	・事務所HPに情報提供システムのバナーを表示 ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの追加表示	▲	・自治体タイムライン検討WSで浸水範囲を情報提供システムで確認できることを周知 ・危機管理型水位計水位、簡易型河川監視カメラを配信できるよう富士川水系情報提供システムを改良	・テレメータ水位が表示できるように改良	・テレメータ水位が表示できるように改良	・テレメータ水位が表示できるように改良	テレメータ水位が表示できるように検討を実施	富士川情報提供システムの改善を実施する	改善について検討	富士川情報提供システムの改善を実施する	富士川情報提供システムの改善を実施し、幹事会において周知した	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
14	・防災情報の充実や表現の工夫	・警戒レベルに応じたわかりやすい表現での情報提供 ・リアリティーのあるカメラ画像を情報提供システムやTwitterで配信	・リアリティーのあるカメラ画像を情報提供システムやTwitter等で配信	▲	・危機管理型水位計水位、簡易型河川監視カメラを配信できるよう富士川水系情報提供システムを改良	・洪水予報や警戒レベルに関する解説をTwitterで配信	・洪水予報や警戒レベルに関する解説をTwitterで配信	・洪水予報や警戒レベルに関する解説をTwitterで配信	・洪水予報や警戒レベルに関する解説をTwitterで配信	・洪水予報や警戒レベルに関する解説をTwitterで配信	・洪水予報や警戒レベルに関する解説をTwitterで配信	・洪水予報や警戒レベルに関する解説をTwitterで配信	・HPにてCCTV映像の配信 ・Xにて土石流観測時の情報発信＜富士砂防事務所＞	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
15	・防災・気象情報等の配信方法の充実	・マイ・タイムライン取組推進に資する富士川水系情報提供システムの拡充 ・出水時に河川情報をTwitterで配信	・公共交通機関、ライフライン等の情報配信先を富士川水系情報提供システム（リンク集）に集約 ・簡易型河川監視カメラ画像等を活用したリアリティーのある河川情報の提供	▲	・危機管理型水位計水位、簡易型河川監視カメラを配信できるよう富士川水系情報提供システムを改良	・マイ・タイムライン、多機関連携型タイムラインの取組推進に資する富士川水系情報提供システムの拡充 ・河川情報をTwitterで配信	・マイタイムライン作成支援システム（案）の構築	・マイ・タイムライン、多機関連携型タイムラインの取組推進に資する富士川水系情報提供システムの拡充 ・河川情報をTwitterで配信	・マイ・タイムライン作成支援ツールの改良を実施	・マイ・タイムライン作成支援ツールを公表する。	県河川の取り込みを行い、公表に向けて引き続き実施	・マイ・タイムライン作成支援ツールを公表する。	・マイ・タイムライン作成支援ツールを公表した ・出水時に河川情報をX（Twitter）において、台風情報等を配信	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
16	・観測体制の充実や予測技術の高度化	・橋門等の内外水位監視体制の充実（危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの追加設置） ・危機管理型水位計等の監視データに基づく洪水予測の高精度化 ・浸水や停電のおそれがある水文観測所や既存河川監視カメラ等において、浸水・停電対策を実施（継続）	・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの追加設置 ・浸水や停電のおそれがある水文観測所や既存河川監視カメラ等において、浸水・停電対策を実施	▲	・カメラ画像の映像蓄積装置の更新	・R3出水期から６時間先までの水位予測情報の提供開始について周知 ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの追加設置	・６時間先までの水位予測情報の提供開始について周知	・６時間先までの水位予測情報の提供開始について周知 ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの追加設置	公開・周知を継続	・６時間先までの水位予測情報の提供開始について周知 ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの追加設置	公開・周知を継続	・６時間先までの水位予測情報の提供開始について周知 ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの追加設置	・CCTVの設置 ・土石流発生検知システムの検討＜富士砂防事務所＞	▲	●	●	●	▲	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
17	・洪水予測や河川水位の状況に関する解説	・状況の切迫性が効果的に伝わる解説となるよう、解説のタイミングとその内容等について検討し、リアルタイムの状況をテレビやラジオ等のメディアで解説 ・避難の切迫性等が首長や住民に確実に伝わる洪水予報文の改善	・水防関係機関、報道機関等を対象として、「洪水予報業務」等の説明を実施（多機関連携型タイムライン勉強会） ・大雨特別警報の解除(警報への切替)後の洪水に関する注意喚起	▲	・水防関係機関、報道機関等を対象として、「洪水予報業務」等の説明を実施（多機関連携型タイムライン勉強会）	・出水期に大雨特別警報の解除(警報への切替)後の洪水に関する注意喚起や、洪水予報や警戒レベルに関する解説をTwitterで配信	・出水期に大雨特別警報の解除(警報への切替)後の洪水に関する注意喚起や、洪水予報や警戒レベルに関する解説をTwitterで配信	・出水期に大雨特別警報の解除(警報への切替)後の洪水に関する注意喚起や、洪水予報や警戒レベルに関する解説をTwitterで配信	・出水期に大雨特別警報の解除(警報への切替)後の洪水に関する注意喚起や、洪水予報や警戒レベルに関する解説をTwitterで配信	洪水予報等に関する解説を説明会等で実施する。	洪水予報等に関する解説を説明会等で実施した。	新たな洪水予報文の変更箇所の周知	・改良された洪水予警報作成支援システムの活用 ・新たな防災気象情報の変更に向けた準備	▲	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
18	・防災施設の機能に関する情報提供の充実	・堤防、排水機場等の施設に係る機能や避難の必要性について住民へ周知	・堤防、排水機場等の施設に係る機能や避難の必要性について住民への説明会を開催。	▲	・感染症拡大防止の観点から水防講習会を実施できなかったため未実施	・堤防、排水機場等の施設に係る機能や避難の必要性について周知	・水防講習会を実施	・堤防、排水機場等の施設に係る機能や避難の必要性について周知	・水防講習会を実施	・堤防、排水機場等の施設に係る機能や避難の必要性について周知	・水防講習会を実施	・堤防、排水機場等の施設に係る機能や避難の必要性について周知	・HPに防災に関する情報を集約したページを作成し公表している＜富士砂防事務所＞	▲	▲	▲	▲	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
◆セミナー・防災教育・訓練、計画策定等																					
19	・緊急行動トップセミナーの開催	—																			
20	・防災教育の促進	・学校等への土砂災害に関する出前講座の実施 ・小中学校を対象とした防災学習教材の提供 ・地域の防災リーダーの育成支援	・高校への土砂災害に関する出前講座実施（富士川砂防事務所） ・小中学校を対象とした防災学習教材の提供	●	・必要に応じて小中学校を対象とした防災学習教材の提供 ・6/30に青洞高校への土砂災害に関する出前講座実施＜富士川砂防事務所＞	・必要に応じて小中学校を対象とした防災学習教材の提供 ・6/24に出前講座予定＜富士川砂防事務所＞ ・学校等への土砂災害に関する出前講座の実施＜富士砂防事務所＞	・必要に応じて小中学校を対象とした防災学習教材の提供（逃げキット）の作成 ・学校等への土砂災害に関する出前講座の実施＜富士砂防事務所＞	・必要に応じて小中学校を対象とした防災学習教材の提供 ・学校等への土砂災害に関する出前講座の実施＜富士砂防事務所＞	青洞高校へ土砂災害に関する出前講座の実施＜富士川砂防事務所＞	必要に応じて学校等への土砂災害に関する出前講座を実施＜富士川砂防事務所＞	土砂災害に関する出前講座の実施＜富士川砂防事務所＞	必要に応じて学校等への土砂災害に関する出前講座を実施＜富士川砂防事務所＞	土砂災害に関する出前講座の実施＜富士川砂防事務所＞ ・必要に応じて学校等への土砂災害に関する出前講座を実施＜富士砂防事務所＞ ・小学校への出前講座を実施	●	●	●	●	●	★	レベル4：見直しや訓練実施中	3：非常に高い	
21	**・災害の伝承**	・過去に発生した自然災害について、災害の模様や被害状況等が記載された「自然災害伝承碑」の設置促進 ・国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進 ・伝承碑が表示された地理院地図の活用	・北杜市、韮崎市、南アルプス市へ設置状況、手順を確認 ・先行事例について幹事会等で情報提供	▲	・国土地理院への登録候補となる伝承碑の整理 ・登録先行事例について幹事会等で情報提供	・国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進 ・伝承碑が表示された地理院地図の活用	・継続して実施	・国土地理院へ伝承碑の登録申請を行い地理院地図へ掲載を推進 ・伝承碑が表示された地理院地図の活用	流域内の水害に関する伝承碑について整理し、各自治体へ地理院地図への登録依頼を実施	—	—	—	・HPに防災に関する情報を集約したページを作成し公表している＜富士砂防事務所＞	▲	▲	★	★	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
22	・共助の仕組みの強化	—																			
23	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	・浸水する恐れのある施設について、退避場所や退避基準、連絡体制等を検討	・浸水する恐れのある重要施設、防災拠点を抽出し、リスクマップに整理（多機関連携型タイムライン）	▲	・多機関連携型タイムラインの検討会参加機関の重要施設（ライフライン、交通機関等）を抽出し、浸水する恐れのある施設について整理	・多機関連携型タイムラインの検討会参加機関の重要施設（ライフライン、交通機関等）を抽出し、浸水する恐れのある施設について情報提供を行う	・多機関連携型タイムラインの参加機関を検討	・多機関連携型タイムラインの検討会に向けた調整を行う	・多機関連携型タイムラインの参加機関を検討	・マイ・タイムライン作成支援ツールを公表する。	マイタイムライン作成ツールの公表に向けて、公表時期等検討していく	・マイ・タイムライン作成支援ツールを公表する。	・富士市、富士宮市防災訓練へリエゾンを派遣し情報伝達の円滑化に努めている＜富士砂防事務所＞ ・マイ・タイムライン作成支援ツールや多段階浸水想定図等でリスク情報を表示した。	▲	▲	▲	▲	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
24	・業務継続計画の策定	・随時見直しを行う	・必要に応じて見直しを実施	●	・見直しを実施	業務継続計画の見直しを実施	・見直しを実施	業務継続計画の見直しを実施	・見直しを実施	業務継続計画の見直しを実施	・見直しを実施	業務継続計画の見直しを実施	見直しについて検討中＜富士砂防事務所＞	●	▲	●	●	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高	
25	・総合的な土砂管理	・計画的な砂防環境等の整備の推進	・随時実施	▲	・計画的な砂防環境等の整備の推進 ＜富士川砂防事務所＞ ・流木対策として砂防環境のスリット化＜富士砂防事務所＞	・随時実施 ＜富士川砂防事務所＞ ＜富士砂防事務所＞	・随時実施 ＜富士川砂防事務所＞ ＜富士砂防事務所＞	・随時実施 ＜富士川砂防事務所＞ ＜富士砂防事務所＞	砂防環境の整備＜富士川砂防事務所＞	砂防環境の整備＜富士川砂防事務所＞	砂防環境の整備＜富士川砂防事務所＞	砂防環境の整備＜富士川砂防事務所＞	砂防環境の整備＜富士川砂防事務所＞▲ 砂防施設の整備を進めている＜富士砂防事務所＞●	▲	▲	▲	▲	●	★	レベル2：課題を解消中	3：非常に高い	
水防：的確な水防活動のための取組																					
◆点検強化																					

○概ね5年で実施する取組（令和7年度までの実施状況表）　**国土交通省**

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

各年度の評価　★：5年の目標の達成　●：予定の達成　▲：実施中（着手）　○：未実施

赤字：5年の実績を確認し、事務局案として評価マークを変更したもの

大項目

中項目

No.	取組項目（赤文字：重点実施取組）	5年の目標 実施内容	令和3年度 予定	令和3年度 実施	令和4年度 予定	令和4年度 実施	令和5年度 予定	令和5年度 実施	令和6年度 予定	令和6年度 実施	令和7年度 予定	令和7年度 実施	実施時期 R3	R4	R5	R6	R7	ALL	5か年の取組評価	継続実施の優先度	追記・修正・削除の理由
26	・重要水防箇所の見直し	・毎年、出水期前に重要水防箇所を見直して周知	・引き続き実施	●・見直しを実施（R3.2月）	重要水防箇所の見直し	・見直しを実施（R4）	重要水防箇所の見直し	・引き続き実施	重要水防箇所の見直し	・引き続き実施	重要水防箇所の見直し	・引き続き実施	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
27	・防災計画に基づく水防資機材の配備	・防災計画に基づく水防資機材の配備	・防災計画に基づく水防資機材の配備	▲・防災計画に基づく水防資機材の配備を実施	防災計画に基づく水防資機材の配備を実施	・必要に応じて見直しを実施	防災計画に基づく水防資機材の配備を実施	・必要に応じて見直しを実施	防災計画に基づく水防資機材の配備を実施	・必要に応じて見直しを実施	防災計画に基づく水防資機材の配備を実施	・必要に応じて見直しを実施	▲	▲	▲	▲	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
28	・共同点検・合同巡視の実施	・毎年、出水前に共同点検と合同巡視を実施	・引き続き実施	●・出水前に共同点検と合同巡視を実施（R3,6,3）	出水前に共同点検と合同巡視を実施	・引き続き実施	出水前に共同点検と合同巡視を実施	・引き続き実施	出水前に共同点検と合同巡視を実施	未実施。	出水前に共同点検と合同巡視を実施	出水前に共同点検と合同巡視を実施	●	●	●	●	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
29	・関係機関が連携した実動水防訓練の実施	・毎年出水前に流域自治体と共に水防訓練会を実施 ・住民等が参加する水防訓練の実施（コロナ禍の実施状況に応じて動画配信等工夫）	・水防訓練会を開催	▲・令和3年度は感染症拡大防止のため未実施 ・大規模土砂災害を対象とした合同演習を実施＜富士砂防事務所＞	・感染症拡大防止の観点から、水防訓練会の動画配信などを検討 ・大規模土砂災害を対象とした合同演習を実施＜富士砂防事務所＞	・富士川下流危機管理対応打合せ ・富士市、富士宮市へのリエゾン派遣演習＜富士砂防事務所＞	・富士川下流危機管理対応打合せ ・富士市、富士宮市へのリエゾン派遣演習＜富士砂防事務所＞	早川町、山梨県、甲府地方気象台との合同土砂災害対応訓練の実施＜富士川砂防事務所＞	・富士川下流危機管理対応打合せ ・富士市、富士宮市へのリエゾン派遣演習＜富士砂防事務所＞	・状況付与型図上訓練を実施（ホットライン演習では身延町参加）	・富士川下流危機管理対応打合せ ・富士市、富士宮市へのリエゾン派遣演習＜富士砂防事務所＞	富士市、富士宮市へのリエゾン派遣演習＜富士砂防事務所＞ 自治体と水防訓練会を実施した。	▲	▲	▲	▲	●	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
◆体制確保																					
30	・災害時巡視システムによる被災情報の共有	－																			
31	・水防活動の担い手となる水防団（消防団）員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	－																			
32	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	・連絡体制について水防連絡会等で確認 ・出水期における水防活動等について水防関係者間で振返りを実施	・引き続き実施	▲・水防連絡会を実施し、連絡体制等を確認（書面開催）	・連絡体制について水防連絡会等で確認 ・出水期における水防活動等について水防関係者間で振返りを実施	・水防連絡会を実施し、連絡体制等を確認（書面開催）	・連絡体制について水防連絡会等で確認 ・出水期における水防活動等について水防関係者間で振返りを実施	・水防連絡会を実施し、連絡体制等を確認（書面開催）	・連絡体制について水防連絡会等で確認 ・出水期における水防活動等について水防関係者間で振返りを実施	・水防連絡会を実施し、連絡体制等を確認	・連絡体制について水防連絡会等で確認 ・出水期における水防活動等について水防関係者間で振返りを実施	・連絡体制について水防連絡会等で確認 ・出水期における水防活動等について水防関係者間で振返りを実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	3：非常に高い	
33	・自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進	－																			
排水：氾濫水の排水、浸水被害軽減**等**に関する取組																					
◆実践強化																					
34	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有 ・排水作業準備計画を基にシミュレーション訓練の実施 ・出動要請方法等の周知	・排水作業準備計画を基にシミュレーション訓練の実施 ・出動要請方法等の周知	▲・出動要請方法等の周知	・排水作業準備計画を基にシミュレーション訓練の実施する予定	・出動要請方法等の周知	・排水作業準備計画を基にシミュレーション訓練の実施する予定	・出動要請方法等の周知	・排水作業準備計画を基にシミュレーション訓練の実施する予定	・出動要請方法等の周知	・排水作業準備計画を基にシミュレーション訓練の実施する予定	・排水作業準備計画を基にシミュレーション訓練の実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
35	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善	・排水作業準備計画の更新	・随時実施	▲・随時実施	・随時実施	・随時実施	・随時実施	・随時実施	・随時実施	・笛吹川柏排水機場において、遠隔監視設備の更新と、遠隔で操作できるシステムの導入（R5,6の２ヵ年）	・笛吹川柏排水機場において、遠隔監視設備の更新と、遠隔で操作できるシステムの導入を引き続き実施	・施設の信頼性向上のため、釜無川横川排水樋管ゲート設備更新	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
36	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	・年1回以上排水ポンプ車等の操作訓練及び講習会の実施	・操作講習会を実施	▲・操作講習会を実施	・操作講習会を実施	・操作講習会を実施	・操作講習会を実施	・操作講習会を実施	・操作講習会を実施	・操作講習会を実施	・操作講習会を実施	・操作講習会を実施	▲	▲	▲	▲	▲	★	レベル3：全て実施済	2：どちらでもよい	
◆機能保全																					
37	・氾濫水を河道に戻す、排水機能を確保するための霞堤の機能保全	・霞堤の機能確保	・機能確保方法の検討	▲機能確保方法の検討（準備）	・期待出来る効果や、施設周辺の土地利用状況などの把握	機能確保方法の検討（準備）	・期待出来る効果や、施設周辺の土地利用状況などの把握	・期待出来る効果や、施設周辺の土地利用状況などの把握	機能確保方法の検討（準備）	－	機能確保方法の検討（準備）	・霞堤の機能の整備と保全を進めている	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル2：課題を解消中	2：どちらでもよい	
38	・排水設備の機能保全	・浸水による機能停止リスクが高い排水機場について、排水機能停止リスク低減策を実施 ・既設ポンプの機能維持	・浸水による機能停止リスクが高い排水機場について、排水機能停止リスク低減策を実施 ・機能維持は継続的に実施	▲・機能維持として点検など維持管理を実施	・浸水による機能停止リスクが高い排水機場について、排水機能停止リスク低減策を実施 ・機能維持は継続的に実施	・機能維持として点検など維持管理を実施	・浸水による機能停止リスクが高い排水機場について、排水機能停止リスク低減策を実施 ・機能維持は継続的に実施	・浸水による機能停止リスクが高い排水機場について、排水機能停止リスク低減策を実施 ・機能維持は継続的に実施	・機能維持として点検など維持管理を実施	・機能維持として点検など維持管理を実施	・機能維持として点検など維持管理を実施	・機能維持として点検など維持管理を実施 ・機能維持は継続的に実施	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル2：課題を解消中	1：他と比べて低い	
基盤：河川管理施設等の整備等に関する事項（基盤等ハード整備に関する事項）																					
◆堤防及び諸施設の整備・機能確保等																					
39	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備	・無堤箇所の築堤、護岸整備の実施	・切石・手打沢地区の護岸整備を実施予定	▲切石・手打沢地区の護岸整備を実施	切石・手打沢地区の護岸整備を引き続き実施	・切石・手打沢地区の護岸整備を実施	切石・手打沢地区の護岸整備を引き続き実施	・切石・手打沢地区の護岸整備を実施	切石・手打沢地区の護岸整備を引き続き実施	切石・手打沢地区の護岸整備を引き続き実施	切石・手打沢地区の護岸整備を引き続き実施	切石・手打沢地区の護岸整備を引き続き実施	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル2：課題を解消中	1：他と比べて低い	
40	・侵食洗堀対策としての築堤・護岸の整備	・笛吹川高田地区において、洗掘対策の護岸整備を実施予定	・笛吹川高田地区において、洗掘対策の護岸整備を実施予定	▲笛吹川高田地区において、洗掘対策の護岸整備を実施	笛吹川高田地区において、洗掘対策の護岸整備を引き続き実施	・富士川笛吹区、笛吹市一宮町田中地区において洗掘対策の護岸整備を実施	笛吹川高田地区において、洗掘対策の護岸整備を引き続き実施	・笛吹川高田地区の護岸整備を実施	釜無川下今井地区において、洗掘対策の護岸整備を実施	釜無川下今井地区において、洗掘対策の護岸整備を実施	笛吹川大野地区において、洗掘対策の護岸整備を実施	流路工整備を進めている＜富士砂防事務所＞	▲	▲	▲	▲	●	☆	レベル3：全て実施済	1：他と比べて低い	
41	・本川と支川の合流部等の対策	・堤防決壊が発生した場合に湛水深が深く、特に多数の人命被害等が生じる恐れのある区間についてリスク情報等を共有する、水害リスク勉強会の実施	・人命被害等が生じる恐れのある区間についてリスク情報等を共有する	▲・流域治水推進のための水災害リスク情報（リスクマップ）の作成	・人命被害等が生じる恐れのある区間についてリスク情報等を共有する	・流域治水推進のための水災害リスク情報（リスクマップ）の作成	・人命被害等が生じる恐れのある区間についてリスク情報等を共有する	・流域治水推進のための水災害リスク情報（リスクマップ）の作成	・人命被害等が生じる恐れのある区間についてリスク情報等を共有する	・流域治水推進のための水災害リスク情報（リスクマップ）の作成	・人命被害等が生じる恐れのある区間についてリスク情報等を共有する	・流域治水推進のための水災害リスク情報（リスクマップ）の作成	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル3：全て実施済	1：他と比べて低い	
42	・多数の家屋や重要施設等の保全対策	・協議会等において、氾濫による危険性が特に高い区間についてリスク情報を共有する、水害リスク勉強会の実施	・氾濫による危険性が特に高い区間についてリスク情報を共有する	▲・流域治水推進のための水災害リスク情報（リスクマップ）の作成	・氾濫による危険性が特に高い区間についてリスク情報を共有する	・流域治水推進のための水災害リスク情報（リスクマップ）の作成	・氾濫による危険性が特に高い区間についてリスク情報を共有する	・流域治水推進のための水災害リスク情報（リスクマップ）の作成	・氾濫による危険性が特に高い区間についてリスク情報を共有する	・流域治水推進のための水災害リスク情報（リスクマップ）の作成	・氾濫による危険性が特に高い区間についてリスク情報を共有する	砂防施設の整備を進めている＜富士砂防事務所＞	▲	▲	▲	▲	●	☆	レベル3：全て実施済	1：他と比べて低い	
43	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)	－																			
44	・当面堤防整備が出来ない区間の裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）	－																			
45	・避難場所として活用できる堤防整備（宇坪地区、富士川地区）	・避難場所として活用できる堤防の整備（宇坪地区）	・避難場所として活用できる堤防の整備（宇坪地区）	▲・堤防の整備を実施	・引き続き避難場所として活用できる堤防の整備	・堤防の整備を実施	・引き続き避難場所として活用できる堤防の整備	・堤防の整備を実施	・引き続き避難場所として活用できる堤防の整備	・堤防の整備を実施	・引き続き避難場所として活用できる堤防の整備	・引き続き避難場所として活用できる堤防の整備中	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル2：課題を解消中	1：他と比べて低い	
46	・応急的な退避場所の確保	・協議会等において、応急的な避難場所の必要性について検討を実施。	・洪水等の浸水想定エリアと重複する道路（直轄国道・高速道路）区間のうち、浸水想定より道路の方が高い道路区間を抽出。	▲・洪水等の浸水想定エリアと重複する道路（直轄国道・高速道路）区間のうち、浸水想定より道路の方が高い道路区間を抽出。	・要望のある箇所から優先順位を設定	・洪水等の浸水想定エリアと重複する道路（直轄国道・高速道路）区間のうち、浸水想定より道路の方が高い道路区間を抽出。	・要望のある箇所から優先順位を設定	・洪水等の浸水想定エリアと重複する道路（直轄国道・高速道路）区間のうち、浸水想定より道路の方が高い道路区間を抽出。	・要望のある箇所から優先順位を設定	協議会等で情報共有した	協議会等で情報共有する	・協議会等で道路単価区間の一時避難場所の活用等整備事例を共有	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル2：課題を解消中	2：どちらでもよい	
47	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	・水防活動で必要な緊急用資機材の備蓄、資材の搬出入やヘリコプターの離発着のための防災ステーションの整備（木島地区）	・木島地区防災ステーションの資材備蓄ヤードの護岸の整備	▲・富士川流域全体の防災施設整備計画書（案）を策定し、５つの河川防災ステーションのうち、木島地区（下流）を整備中	・引き続き木島地区河川防災ステーションの整備 ・富士川中流部の整備を進めるべく、河川防災ステーション整備計画を立案・申請予定	・木島地区河川防災ステーションの資材備蓄ヤードの基礎盛土を実施	・引き続き木島地区河川防災ステーションの整備 ・富士川中流部の整備を進めるべく、河川防災ステーション整備計画を立案・申請予定	引き続き、木島地区河川防災ステーションの資材備蓄ヤードの基礎盛土を実施	・引き続き木島地区河川防災ステーションの整備 ・富士川中流部の整備を進めるべく、河川防災ステーション整備計画を立案・申請予定	引き続き、木島地区河川防災ステーションの資材備蓄ヤードの備蓄材準備を実施	・引き続き木島地区河川防災ステーションの整備 ・富士川中流部の整備を進めるべく、河川防災ステーション整備計画を立案・申請予定	・引き続き木島地区河川防災ステーションの整備	▲	▲	▲	▲	▲	☆	レベル2：課題を解消中	2：どちらでもよい	
48	・洪水時の庁舎等の機能確保のための対策（耐水化、非常用発電等の整備）の充実	－																			
◆情報伝達等に係る機器等の整備																					
49	・河川管理の高度化の検討 ・早期復興を支援する事前の準備	・洪水発生中や洪水後における災害状況の迅速な把握 ・関係機関への共有	・出水時にドローンを活用した災害現場等調査の実施	○出水がなかったため未実施	・出水時にドローンを活用した災害現場等調査の実施	出水がなかったため未実施	・出水時にドローンを活用した災害現場等調査の実施	出水がなかったため未実施	・出水時にドローンを活用した災害現場等調査の実施	出水がなかったため未実施	・出水時にドローンを活用した災害現場等調査の実施	・レーザースキャナーを使った河川測量の実施	○	○	○	○	▲	☆	レベル2：課題を解消中	2：どちらでもよい	